



高知大学 2018 大学案内

人文社会科学部

教育学部

理工学部

医学部

農林海洋科学部

地域協働学部

土佐さきがけプログラム

今、ここでしかできない学び



高知大学
Kochi University

まだ見ぬ自分と出会う旅。



高知大学 学長

脇 宏

高知大学を目指している受験生の皆さん、私たち教職員一同は、皆さんの入学を心からお待ちしております。

高知大学は、地域を創生することで日本を再生しようとするリーダー候補生を育成します。今、この国が求めているリーダー候補生は、自律的・能動的に学び、広い視野と顕微的解析力を併せ持つ鳥瞰力をもって課題を発見し、危機を好機chanceと捉え、失敗を恐れず失敗から大切なことを学ぶことでステップアップ、すなわち自己改革changeと挑戦challengeを継続し、仲間との協働collaborationで課題を解決する行動力とその成果createを社会に還元する意欲、そして内省的批判力を備えた若者です。

土佐の風土は、そのような人材を育む要素を備えております。南に太平洋を臨み、空は冬も青く、海は碧く水平線は丸みを帯び、壮大な気宇を涵養する風土が維新の志士を多数輩出したように、大きな碧波は皆さんの胸を打ち、心を揺さぶることでしょう。

高知大学で皆さん自身とこの社会の未来図を描き、それを具現化するために、私たちと共に学び成長しましょう。

歴史深い高知大学



旧制高知高等学校の学生(高知城にて)

旧制高知高等学校や高知師範学校、高知青年師範学校を前身とする高知大学は、平成15年に旧高知医科大学と統合、平成16年に法人化し、現在の高知大学となっています。

長い歴史と伝統を誇り、自由・闊達・情熱の教育風土から幾多の優れた人材を輩出してきました。

高知大学で学ぶ

時代を一步さきどりする「学び」へ

時流に惑わされず、一步先を考え、展望し、行動をおこす力を育むための、人文科学と社会科学に基づく新たな「学び」へ。

▶ 人文社会科学部
11ページへ

すべての"先生になりたい人"のために

保育園・幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の先生。
教育学部は先生になりたい人を全力で応援します。

▶ 教育学部
17ページへ

基礎理学から工学的な応用まで学ぶ

平成29年4月にスタートした新しい「理工学部」では、理学をベースに実用を重視する工学も学ぶことができます。

▶ 理工学部
23ページへ

地域に、世界に役立つ人になる

参加型臨床実習を充実化するとともに、地域医療と先端医療開発研究の現場でアクティブラーニングの環境を進化させています。

▶ 医学部
29ページへ

農学×海洋科学＝壮大なスケールで学ぶ!

陸域を中心とするフィールドに、海洋、海底のフィールドがパワーアップして加わり、さらにスケールの大きな学びが実現しました!

▶ 農林海洋科学部
35ページへ

「地域協働型産業人材」の育成

多様で複雑な地域の課題を発見・分析・統合し、産業分野や領域の壁を越えて、人や組織の協働を創出できる人材を目指します。

▶ 地域協働学部
41ページへ

関連する分野を領域横断的に学ぶ!

平成24年から始まった土佐さきがけプログラム。学部の枠を越えた教育プログラムで学んだ卒業生が国内外へ飛び立ち始めました。

▶ 土佐さきがけプログラム
45ページへ

INDEX

学びの構造 05
共通教育 07

▶ 各学部の情報や特徴は?

学部紹介
人文社会科学部 11
教育学部 17
理工学部 23
医学部 29
農林海洋科学部 35
地域協働学部 41
土佐さきがけプログラム 45
卒業論文テーマ例 49
教員紹介 51

▶ もっと学びたい時は?

大学院 57
国際交流 59

▶ 地域との連携

地域連携推進センター 62

▶ 学びの設備や環境は?

教育研究施設 63

▶ 大学生活について詳しく知りたい!

キャンパスライフ
学生生活 67
サークル活動 69
朝倉キャンパス 71
岡豊キャンパス 73
物部キャンパス 75
高知の紹介 77
生活費 78
入学科・授業料・奨学金制度 79

▶ 就職に関する情報

就職活動支援 81

▶ 入試に関する情報

入試データ 85
入試Q&A 89
オープンキャンパス 90

※学生の学年表記は、平成28年度時点です

学びのフィールド

Learning Environment

あなたが学ぶのは、
大学の中だけではない

山、川、海と循環する豊かな自然。他者を歓迎する温かく開放的な人々の気質。それが高知というフィールドの特徴です。高知大学では、キャンパスを拠点として様々な学びの現場(=自然環境や地域での暮らし、産業の最前線など)に飛び出し、人生でこの時にしかできない出会いや体験を皆さんに経験してほしいと考えています。大学での学びは、与えられるものではなく自ら掴みとるもの。そのための“仕掛け”をたくさん用意しています。



社会と連携した生きた学びは、地域や産業の抱える問題だけでなく、あなた自身の課題や将来について考え見つけ直す機会になるはずです。

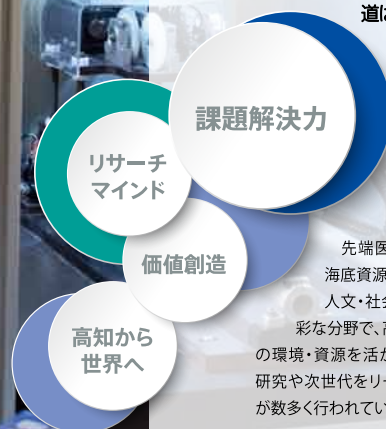
人間として

先端研究

Advanced Research

研究活動を通じて、
将来への土台を築く

大学で最先端の研究に取り組むことはとても大切ですが、最先端の知識はすぐに過去の知識になる運命にあります。ではなぜ大学で、これほどまで真剣に学問を探究するのでしょうか？
重要なのは「何を学んだか」ではなく、「どのように学んだか」、「学びの過程でどのような能力を身につけたか」です。そして将来その力を社会で活かす時に必要な、使命感や倫理観、学び続ける姿勢も研究活動の中で培われます。
道は、その先に
続いている
のです。



先端医療学、海洋・海底資源学、生命科学、人文・社会科学など多彩な分野で、高知大学独自の環境・資源を活かした国際的研究や次世代をリードする研究が数多く行われています。

防災

Disaster Risk Reduction



生きる力を引き出し 高める

キャンパスにあふれる瑞々しい笑顔。学生たちの心身の健康と命は、最優先で守るべきかけがえのないものです。高知大学では耐震化や安否確認システムなどの整備はもちろん、様々な訓練を重ね、学生教職員と地域の防災力を高めています。キーワードは「想像力」。いざという時を想像できるか、人の置かれた状況や気持ちを思いやることができるかは危機管理の根幹であり、人間としての基礎力です。生きるための“底力”を引き出しています。



連携

想像力

実践

命をつなぐ

地質学や地盤工学などの理工学分野から、地域コミュニティや防災教育などを扱う人文社会・教育学分野、災害・救急医療を担う医学分野まで、充実した専門教育が防災力を支えます。

成長する

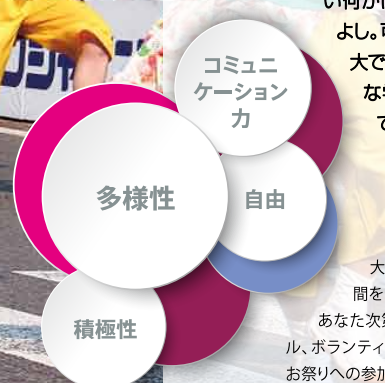
交流

Community Outreach



大いに学び、 大いに楽しむ

高知大学は地方大学でありながら、学生の4分の3が県外出身者。また独自のフィールドや国際的研究施設を有することから海外からの留学生や研究者も多く、さらに地域に開かれた大学として、企業人から地域住民まで様々な人がキャンパスを利用しています。高知大学に入学すると、あなたの世界は大きく広がり、深まることでしょ。交流の輪を広げるもよし、新しい何かに挑戦するもよし。可能性は無限大です。ぜひ、豊かな学びを実現してください。



コミュニケーション力

多様性

自由

積極性

大学という場、時間をどう過ごすかは、あなた次第。学業、サークル、ボランティア、地域活動やお祭りへの参加・・・あなたらしい“何か”をここで見つけてください。

学びの構造

1年

2年

3年

4年

※医学部医学科は6年

共通教育

■初年次科目

大学基礎論
学問基礎論
大学英語入門
英会話
情報処理
課題探求実践セミナー

■教養科目

人文分野
社会分野
生命・医療分野
自然分野
外国語分野
キャリア形成支援分野

学びのポイント

人間と世界についてしっかりとした考え方をつくり上げ、自律的な能力の基盤を形成します。講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、実践の中で自分の幅を広げながら、専門教育へのプロセスを踏んでいきます。

どんな力を身につけるのか

論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる力や、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる力を育みます。

専門教育

分野のキーワード

- 人文科学
- 社会科学
- 異文化間理解
- グローバル社会
- 現代社会
- 社会制度

P.11

- 幼児教育と乳幼児保育
- 発達や障害に応じた教育支援
- 教育学、心理学の理論と実践
- 各教科の高度な内容理解と指導法
- 芸術、スポーツの高度な実技と指導法
- 障害のある子どもへの高度な教育支援

P.17

- 科学の基礎法則
- 数学的思考力・英語力・情報処理能力
- コンピュータ、情報理論
- 資源、エネルギー、レアメタル
- 生物の多様性、環境、生命現象、古生物
- 防災、南海地震、地球掘削

P.23

- 生命と健康を守る
- 身体、精神の苦しみを和らげる
- 病気、負傷などに対する治療を行う
- 身体機能の改善を助ける
- 健康への悪影響、病気を減らす
- 病気、身体、生命の仕組みを解明する

P.29

- 人と自然が共生する社会へ
- 生命の源、水と森を守る
- 海に資源の可能性を探る
- 食から始まる健全な暮らしと環境
- 化学で生命活動を解き明かす
- 循環型・持続型の地球社会を目指す

P.35

- 地域協働による地域産業振興
- 高知のうみ・やま・むら・まちがフィールド
- 大学での学びと地域での実践の往復
- 6次産業化による農山漁村の発展
- コミュニティビジネスによる地域生活の維持
- 官民協働による地域政策

P.41

- 化学、環境、資源
- 語学力と異文化理解で国際貢献
- 生命と環境を守る社会のリーダー
- スポーツ科学で地域に貢献する

P.45

学科/課程/コース

人文科学コース

人文社会科学科 国際社会コース

社会科学コース

幼児教育コース
教育科学コース

学校教育教員
養成課程

国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育・技術教育・家庭科教育の各コース

科学技術教育コース
特別支援教育コース

数学物理学科

数学コース
物理科学コース

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

医学科

看護学科

農林資源環境
科学科

暖地農学領域
自然環境学領域
森林科学領域
生産環境管理学領域

農芸化学科

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース
海底資源環境学コース
海洋生命科学コース

地域協働学科

グリーンサイエンス人材育成コース(化学スペシャリスト育成コース)

国際人材育成コース

生命・環境人材育成コース

スポーツ人材育成コース

人文社会科学部

教育学部

理工学部

医学部

農林海洋科学部

地域協働学部

土佐さきがけ
プログラム

卒業

どんな力を身につけるのか

- 幅広い教養
 - 人文・社会科学に関する専門的知識
 - 国際化への対応に求められる知識や語学力
 - 現代社会並びに地域社会に対する深い洞察力
 - 教養や知識に裏付けされた主体的判断力
 - 「知」を総動員した問題解決へ向けての姿勢
-
- 幼児教育および乳幼児保育における高度な専門性と研究・実践力
 - 多様で複雑な教育課題を読み解き、よりよい未来を切り開く力
 - 各教科についての豊かな知識と教育実践力
 - 音楽・美術・体育の高度な実技能力と指導力
 - 知的好奇心と探究心を高め、科学的思考・技術に結実させる力
 - 子どもの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力
-
- 基礎的専門的数学教育による論理的思考能力
 - 主体的な学びによる課題探求能力・問題解決能力
 - 創造力、行動力、柔軟思考と考え抜く力
 - 自然現象を数理的に記述し、分析する能力
 - 多様な生物の諸現象とその歴史を正しく理解する力
 - 野外調査能力、自然観察力、多くの情報を総合して判断する力
-
- 医師・看護師などの基礎知識、基本技能
 - 患者さんや家族に共感し、意思を通じ合う能力
 - 医療スタッフとともに医療を行う協働能力
 - 自ら問題を見出し、解決に向かう意思と能力
 - 生命、個人を尊重する倫理観、使命感
 - 使命を達成するための自己管理能力
-
- 現場体験に基づいた“ものづくり”の力
 - 生態系をミクロから地球規模まで総合的に理解する力
 - 環境との調和のもと資源の生産・利用を考えていく力
 - 生命のメカニズムを知り、実用技術に結びつける力
 - 自然環境と人をつなぐ技術やシステムを創造する力
 - 食料・人口・資源問題の調和的解決方法を探る力
-
- 複雑で多様な地域の特性を理解する力
 - 地域資源を開発・活用するための企画を立案する力
 - 人や組織の協働を作り出し、その活動を促進する力
-
- 環境・資源問題を解決できる世界レベルの知識や技術力
 - 高い国際コミュニケーション力と相互理解を目指す力
 - 生命科学と環境保全に役立つ研究力と教育力
 - スポーツの科学的諸知識と高い競技力、指導力

進路

進学 → P.57

就職 → P.81

大学院（総合人間自然科学研究科）

修士課程

- 人文社会科学
- 教育学
- 理学
- 医科学
- 看護学
- 農学

専門職学位課程

- 教職実践高度化専攻（仮称）
[教職大学院]

博士課程

- 応用自然科学
- 医学
- 黒潮圏総合科学

学びのポイント

専門分野はもちろん、近接分野や異分野も修得できる領域横断型の学びで、専門性を深めると同時に、幅広い素養や視点を養います。

愛媛大学大学院 連合農学研究科

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、高知大学、香川大学の農学研究科が連合し、協力して開設した後期3年だけの博士課程です。

修士課程

- グリーンサイエンス人材育成コース（化学スペシャリスト育成コース）

主な職業イメージ

新聞社、テレビ局、中学校教員（国語、英語、社会）、高等学校教員（国語、英語、公民、地歴、商業）、日本語教員、公務員、銀行、保険業、旅行代理店、航空、流通、教育関連、情報通信業、サービス業など

小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、保育士、公務員、教育関連の企業、文化施設・スポーツ施設・福祉厚生施設の指導員、衣食住・情報関連の企業など

教育・学習支援業、情報通信業、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、金融業、保険業、卸売業、小売業、公務員、教員、運輸業、郵便業など

医学科：病院・診療所などの医師、医学・生命科学の研究者・教育者
看護学科：看護師、保健師、助産師、看護学の研究者・教育者
共通：国、地方自治体、団体、企業、国際機関等の専門職など

試験研究機関、公務員、教員、民間企業（食品、バイオ、医薬品、種苗、農薬、農業機械、魚介類養殖、木材、測量、設計、土木、水処理、情報、環境アセスメント）、各種コンサルタント（環境科学・土木建設系など）、各種団体（農・林・水産系）、JICA、青年海外協力隊など

県・市町村職員、地場産業社員、商工会等職員、グラフィックデザイナー、金融機関社員、NPO職員、社会福祉協議会職員、地域おこし協力隊、地域資源活用ビジネスの起業家、地産外商農家、コミュニティデザイナー、マスコミなど

民間企業開発部門、公的研究機関

国際的な企業・団体

行政や企業の研究・技術・教育者

スポーツ振興に関わる指導者や審判員

共通教育 General Education

目指すのは自律型人材

今、社会は「自律型人材」を求めています。

「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。

自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらす、意欲は「行動力」へとつながっていきます。

高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう独自の共通教育を導入し、学生の育ちをサポートしています。

教育課程の全体像

共通教育は「初年次科目」「教養科目」の2つの科目群で構成されています。共通教育で自律的な力を育みながら、それを基盤に各学部における「専門科目」を学修していきます。

共通教育とは

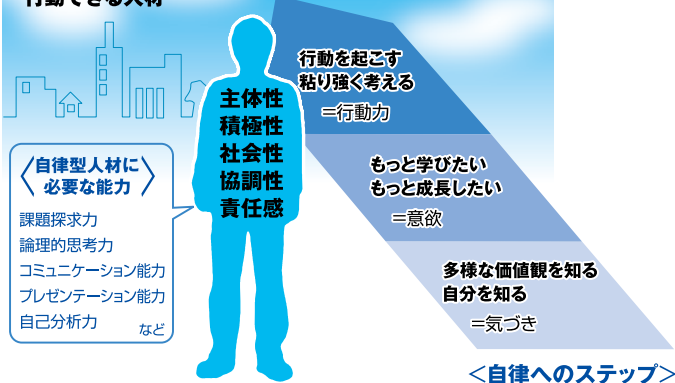
共通教育は、各学部における高度な専門的学習の基礎を身につけるとともに、人生や生活を豊かにするための幅広い教養を身につけたり、自らのキャリア形成を行うための支援を受ける場であり、高知大学で学ぶ全ての学生にとって重要なカリキュラムとして位置づけられています。

大学では、必ず履修しなければならないと指定されている授業(必修科目)以外は、それぞれの設定する学びの目標に沿って自由に選択できます。



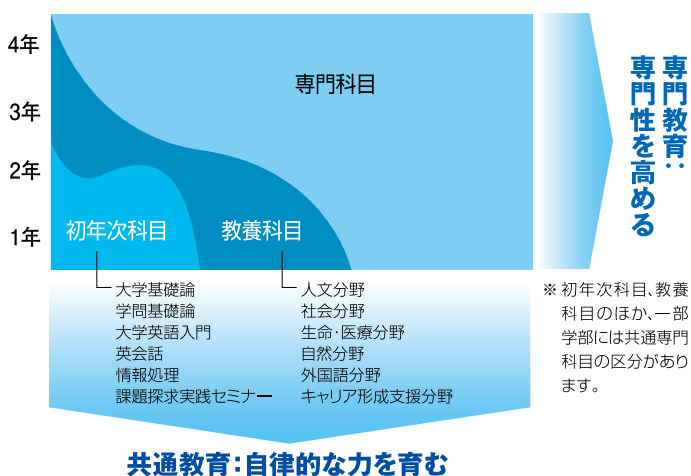
■ 高知大学の考える自律型人材

社会や組織など他者との関係性の中で自ら考え、判断し、行動できる人材



<自律へのステップ>

■ 4年間の履修の流れ



※ 初年次科目、教養科目のほか、一部学部には共通専門科目の区分があります。

▶ 初年次科目

初年次科目は、「大学基礎論」、「学問基礎論」、「大学英語入門」、「英会話」、「情報処理」、「課題探求実践セミナー」の6科目で構成されています。これらの科目は、学習の目的や意義を明確にし、学習を進めるための基本的知識や技法を身につけ、自ら考え、自ら表現し、問題を発見し探求できる基礎的能力を獲得するために設けられたもので、高知大学の学生全員が必修です。

Step. 1 学びの転換をはかる。 — 与えられる学びから、掴みとる学びへ 大学基礎論

大学基礎論は、入学後すぐの1年生第1学期に開講される授業です。その最大の目的は、「学ぶ姿勢を学ぶ」こと。「大学で学ぶ意義は?」「学ぶ目的は?」といった学びの動機を学生自身が再確認し、「教わる」から「掴みとる」へと学びの姿勢を転換します。

また、卒業時に達成していきたい目標を考え、自らの学びを振り返ることにより、これからの大学生活における学びの統合を促進します。

Step. 2 社会と関わり、自律性に目覚める。

課題探求実践セミナー

人は、自分以外の他者と関わることで変わります。そこで、できるだけ多くの他者と交わる機会を設け、学生に“気づき”のチャンスを提供しようというのがこの授業。様々なかたちで社会と関わり合う「実践」と、振り返りのための「事後学習」を繰り返し、自律的な自分へと近づいていきます。



Step. 3 自律的な学びの土台を築く。

学問基礎論

1年生第2学期に開講される学問基礎論は、各学部で展開される専門教育の基礎をイントロデュースし、自律的な学びへの土台を築く役割を担います。学問基礎論のプログラムは各学科や各コースによって異なりますが、共通しているのは学生たちの「自発的な思考プロセス」を尊重するという点。教員側から教えたり誘導したりという介入は行わず、学問の本質やその楽しさを体感することに重点を置いています。



▶ 教養科目

教養科目は、幅広い学問分野に触れるとともに、現代的なトピックスにも目を向け、人間として、社会人として豊かな教養が育つように人文分野、社会分野、生命・医療分野、自然分野、外国語分野、キャリア形成支援分野の6分野で編成されています。履修については、特定の分野に偏ることのないよう選択履修としています。

Extra 夏休みは海外で英語学習&異文化体験!

キャリア形成支援分野 グローバルコミュニケーション

海外における英語学習および異文化体験を通して、語学力の向上ならびに国際感覚の涵養を目指す科目です。まず事前学習で訪問国の社会、文化、歴史等について学びます。海外実習ではホームステイしながら語学学校に通います。帰国後は、事後学習としてプレゼンテーション、レポート提出を含めた報告会を行います。平成29年度は8月下旬から5週間ほどオーストラリアクイーンズランド州ブリスベンに滞在し、高知大学の協定校であるクイーンズランド大学の語学学校に通う予定です。

事前学習 訪問国の社会、文化、歴史等について事前調査し、英語で発表します。また海外実習、事後学習で必要とされる効果的な英語プレゼンテーションの手法についても学びます。

海外実習 平日の午前中は、語学学校に通いながら英会話、文法、語彙力強化などコミュニケーションスキルを磨くための授業を受けます。また現地の大学生を対象に日本文化や高知を紹介するプレゼンテーションの機会もあります。平日午後や週末は、宿題をしたり、クラスメートや滞在先の家族と異文化交流をしながら実践的コミュニケーション力を鍛えます。

事後学習 海外渡航期間中を振り返り、滞在経験や学びについて英語でプレゼンテーションを行い、報告書を作成します。



オーストラリアの雄大な自然に触れて



クイーンズランド大学



コアラとの楽しい出会い



語学学校授業風景

学びを支える様々な制度や取組

高知大学では、個々の学生の学びをしっかりとサポートし、高い意欲と能力を備えた人材として社会に送り出すため、様々な支援や取組を行っています。

アドバイザー教員制度

入学から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつきます。アドバイザー教員は本学の専任教員が担当し、在学中の学習計画や履修指導はもちろん、進学、就職、生活、健康といった大学生活全般における相談役として助言や指導を行います。

リメディアル教育

リメディアル教育とは、大学教育を受けるために必要な基礎学力を補うことを目的に行われる「補習教育」のことです。



リメディアル教育(入学前教育)

▶ 入学前教育

一部の学部等では、推薦・AO入試による入学生を対象に、大学の授業にスムーズに移行できるよう、考える力や問題を発見する力を養うための入学前教育を実施しています。

▶ 大学生として必要な基礎学力を補うための教育

初年次科目の「大学英語入門」と「英会話」では最初の授業にブレースメントテストを実施し、習熟度に応じたクラス編成・授業を実施しています。また教養科目自然分野では理数系分野の「微分・積分学」「物理学」「化学」「生物学」「地球科学」などにおいて、その分野を高校で十分に学習できなかった学生を対象とする通年開講の基礎授業を実施しています。

オフィスアワー

学生からの質問や相談に教員が応じるための時間がオフィスアワーです。アドバイザー教員や授業担当教員のオフィスアワーをシラバスなどで確認し、予約を入れて質問や相談に行きます。



授業での質問や疑問に思うことがあれば、アドバイザー教員以外の教員のもとにも気軽にに行けるシステムです。

ティーチング・アシスタント

共通教育・専門教育の実験や演習の科目では、きめ細かい指導により学生の理解をサポートするため、優秀な大学院生が授業の補助業務を行っています。



ティーチング・アシスタント講習会

他大学との単位互換

協定が結ばれている他の大学であらかじめ定められている科目を履修し単位を修得した場合は、本学の単位として認定を受けることができます。

早期卒業

本学に3年間在学し、卒業の要件として所属する学部の定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる場合は、本人の申請により早期卒業が認められます。(医学部・地域協働学部を除きます)

特別修学支援室

「高知大学で学びたい全ての学生のために」をキャッチフレーズに、誰もが学びの楽しさ、喜びを感じるキャンパスづくりを目指しています。特別修学支援室は、身体や感覚機能にハンディキャップを持つ学生への支援、授業や実習などで困っている学生へのサポートをしています。



キャンパスライフ支援ルーム「からふるパレット」 学生スタッフも活躍中!

身体の病気や障がいがあってもキャンパスで安心して過ごせるように、バリアフリー環境の整備などを行っています。聴覚障がいのある方のために、講義や講演などの内容を文字情報に要約するノートテイクボランティア養成講座や、学部、学年に関係なく学生が集い、語り合う場“からふるパレットカフェ”を定期的に開催しています。

▶ パソコンノートテイク講習会を開催しました。聴覚障がいのある学生へのサポートができるように学生と学んでいます。





もうひとつの学びの場

学生の課外活動

自律的な力が育まれるのは授業ではありません。学生が自主的に行っている活動も、成長につながる貴重な機会。そこで高知大学では、学生の課外活動についてもサポート体制を充実させ、活動を推奨しています。

学生と社会をつなぐリエゾンオフィス コラボレーション・サポート・パーク

高知大学には、学生に自発的な活動実践の場を提供し、その活動を教員とスタッフが支援していく仕組みがあります。地域や企業、地域の人々との様々な出会いを通し成長していく学生を応援しています。



学生の「何かしたい」をかたちに コラボ考房プロジェクト

「自分の持っているアイデアで、高知をもっと元気にしたい!」、「やってみたいことがあるけれど、何から始めていいかわからない」など、様々な思いを持っている学生団体の活動をサポートする仕組みがコラボ考房プロジェクトです。1年間、支援教員とコラパ〜スタッフが、企画のブラッシュアップやチーム作りのサポートなどを行います。



企画を整理し形にしていくためには、幾度もハードルを越えなければなりません。充実した経験ができるよう、教員、スタッフが学生たちを応援しています。

人との関わりを意識したインターンシップ SBI (人間関係形成インターンシップ)

SBIとは、Society Based Internshipの略称。「社会に出るときに、どんな能力が必要なのか」「自分にその能力があるのかな」「それを身につけるために、学生時代に何をしたらいいのかな」そんな疑問や不安を感じている学生におすすめなのがこのプログラム。学生3人一組のチームで3週間、企業でインターンシップを行います。



「学生チーム」「受入企業組織」「社会(取引企業やお客様)」という3層の人間関係の中で、様々な人と接することで、社会で求められている能力や自分の将来について考えます。

いろんな地域をのぞいてみよう えんむすび隊

高知県内各地を訪ねるワンディーツアーを行っています。地域のすばらしさや、地域の抱える問題に触れることで、社会との関わりを考え行動を起こすきっかけとなることを目指しています。

- ▶ 実施例
 - 本山町吉延地区 田んぼアート田植え体験
 - 須崎市 伝統の七夕飾り“わら馬”づくり
 - いの町伊野地区 まち歩きツアーのブラッシュアップなど

Voice 参加者の声

えんむすび隊の活動は1日から参加OKで、自分の希望次第でいろいろな体験ができます。何度も参加して感じたことは、地域によって長所や短所が違って魅力的。だからこそ地方はおもしろい!地域活性化のために自分に何ができるのか、机の上では学べなかった大切なことを教わった気がします。



小学校区でパトロール、地域のコミュニティ活動に参加 高知子ども守り隊「守るんジャー」

主な活動

▶ パトロールと見守り活動

大学近くの朝倉小学校と朝倉第二小学校の通学路を月替わりでパトロールしています。学生は自分が行ける曜日を事前に選んでシフトを組み、平日に活動を行っています。子どもたちの笑顔が見られるだけでなく、注意の仕方など関わり方の勉強にもなっています。

▶ 地域のコミュニティに参加

見守り活動をしながらいえてきたのは、地域とつながる大切さ。子どもは家庭、学校、そして地域の中で育れます。私たち大学生も地域の一員として清掃活動や地域の行事やお祭りに参加し、コミュニティを元気にする一端を担えたらと思っています。

2005年、下校中の児童が狙われる事件が多発したことを受け、子どもの命を事件・事故から守ろうと発足。大学近くの小学校の通学路をパトロールし、下校中の児童の安全を見守っている。



Voice 代表の声

難波 賢太 教育学部3年

様々な学部の子どもが好きな学生が参加しています。子どもたちや地域の方々との交流を深めることができ、楽しく活動しています。

◀ 2011年にSYDボランティア奨励賞 文部科学大臣賞受賞

人文科学と社会科学を織り混ぜた新たな学びのしくみ

人文社会科学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

学科・コース

人文社会科学科

人文科学コース

国際社会コース

社会科学コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



人文社会科学部

人文学部は人文社会科学部へ

グローバル化の進展をはじめとする社会の変化により、近年の社会は、総合的・専門的知識を持った人材だけでなく、従来の分野の枠組みを越えた柔軟な発想力を兼ね備えた人材を強く求めています。

そのため人文学部は、学科の“垣根”を取り払い、新たな理念「人文社会科学(領域)の教養の涵養」を基軸に教育課程を一体化する組織改編を行い、1学科体制の下、「人文社会科学(領域)」の教養を軸としてグローバルかつローカルな課題に取り組み、社会の変化に柔軟に対応できる新たな人材の養成を行います。

～平成27年度

人文学部

人間文化学科

国際社会
コミュニケーション学科

社会経済学科

平成28年度～

人文社会科学部

人文社会科学科

人文科学コース

哲学・思想プログラム、心理学プログラム、歴史・地理学プログラム、日本語・日本文学プログラム、英米文学プログラム

国際社会コース

言語・コミュニケーションプログラム、総合文化プログラム、グローバル社会プログラム、ヨーロッパ地域プログラム、南北アメリカ地域プログラム、アジア・オセアニア地域プログラム

社会科学コース

経済理論プログラム、経済政策プログラム、経営・会計プログラム、法律・政治プログラム



▶ 人文社会科学科人文科学コース2年生第1学期の時間割例(日本語・日本文学プログラム)

	月	火	水	木	金
1時限		中等国語科指導法I	生徒指導	教育相談	
2時限		日本語学概論I	中国語中級I		
3時限	専門英語I	中国文学概論I		中国古典文学論I	日本語論I
4時限	特別活動指導法	日本近代文学講読I		基礎演習	日本古代中世文学史
5時限		日本古典文学論I		日本文学概論I	

▶ 人文社会科学部ホームページ

<http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>



先輩にきく

多様な視点、考え方を学ぶ場

奈良 有夏 人文学部人間文化学科3年(京都府立菟道高校出身)

よさこいの本場・高知で踊った
1年生の夏は、格別の思い出。
勉強だけでなく、いろんな体験で
人は成長します!



大学進学にあたり、私は絶対一人暮らしのできる大学に行こうと決めていました。自立することで人間的に成長できると考えたからです。高知は人に優しい街。学生も地域の一員として迎えてくれる温かさがあります。

大学生活は、いろいろなことが高校までとは違います。授業なら、例えば国語。高校では「模範解答」がありますが、大学で先生が示すのは「こういう視点で見たらこういう読み方ができるよ」という一つの例示であり、それが唯一絶対ではありません。多様なものの見方ができることを教わる場、思考力を鍛える場が大学です。

そういう深い学びを最も実践できるのが、ゼミです。人文社会科学部では、2年生第1学期から本格的なゼミの入り口にあたる「基礎ゼミ」があり、興味のあるいろいろな専門分野を学ぶことができます。私の場合は、2年生で日本文学と中国文学の4つのゼミを経験し、3年生の今は日本の近代文学のゼミをとっています。高知大学は一つのゼミの人数も比較的少人数なので、先生と学生の距離が近い上、貴重な先生の蔵書なども貸してもらえたりして、とても学びやすい環境があります。



高知大学チーム「粹恋(すいれん)」でよさこいにも参加

大学での時間は、本当に自由。意欲があればどこまでも突き詰めて挑戦できる面白さを、みなさんも高知大学で体験してください。

教員にきく

学びの“協奏曲”で、社会に求められる人材を

吉尾 寛 人文社会科学部長

私たちが生きる現代社会は、様々な問題が複合し、影響し合っています。例えば、人の幸せを考える時に経済だけで判断するのではなく、地域の文化的特色やそれに根差した価値観とあわせて真の幸福感を追求する。あるいは、国際紛争やテロの問題に向き合う時、国際政治だけでなく宗教やそれに基づく倫理観などをあわせて考える。このように、一つの専門だけでは解決できない問題に向き合うため、近年、学術の世界でも人文科学と社会科学に互いに“橋をかける”人文社会科学(領域)への関心が高まっています。

高知大学人文社会科学部は、こういった社会の要請や学術界の動向にいち早く反応し、誕生しました。人文科学・社会科学双方の視点を学ぶプラットフォーム科目や、3コース15プログラムが表現する学際的な学びで、専門性(＝独奏する力)と広い視野や柔軟な発想力(＝合奏する力)を持った人材の育成を目指します。あなたもこの学びの協奏曲に参加し、自分の可能性を大きく広げてみませんか?



カリキュラム例

人文科学コース	国際社会コース	社会科学コース
講義科目80科目、演習・実習・実験科目70科目と豊富に取り揃えています。	講義科目80科目、演習・実習科目60科目を超えており、広い教養と実践的スキルを養えます。	講義科目50科目、演習科目70科目と充実しています。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 哲学・思想プログラム: 西洋近代思想・倫理学・宗教論 ■ 心理学プログラム: 認知発達心理学・認知心理学・社会心理学・感情心理学 ■ 歴史・地理学プログラム: 日本中世史・日本近世史・日本近代史・東洋古代中世史・東洋近世近代史・西洋社会史・人文地理学・自然地理学・考古学 ■ 日本語・日本文学プログラム: 現代日本語論・日本語史・日本古代文学・日本中世文学・日本近代文学 ■ 英米文学プログラム: イギリス文学・アメリカ文学・映像メディア論・言語意味論・言語文法論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 言語・コミュニケーションプログラム: 第二言語習得論、日米異文化間コミュニケーション論、英語オーラルコミュニケーション、英語パブリックコミュニケーション ■ 総合文化プログラム: 英米文化史、比較文化論(日欧・日本社会・日米英・日独・日仏・日中)、言語文化論(アメリカ・イギリス・フランス・中国等) ■ グローバル社会プログラム: 越境社会論、国際関係論、世界経済論、経済発展論、文化人類学 ■ ヨーロッパ地域プログラム: ヨーロッパ社会文化論、英語読解研究、フランス語オーラルコミュニケーション、日欧異文化間コミュニケーション論、比較日独文化論、社会思想史 ■ 南北アメリカ地域プログラム: 南北アメリカ関係論、南北アメリカ特殊講義、ラテンアメリカ経済社会論、アメリカ言語文化論演習、英語読解研究、スペイン語中級 ■ アジア・オセアニア地域プログラム: アジア経済社会論、日本語教授法、東南アジア社会文化論、メディア論演習、日本文化表現論演習、中国語オーラルコミュニケーション、中国経済社会論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済理論プログラム: ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、金融論、労働経済論、自然資源の経済学、経済史、組織の経済学 ■ 経済政策プログラム: 地方財政論、日本経済論、国際経済論、社会保障論、福祉経済論、農業経済論、産業立地論、国際水産開発論 ■ 経営・会計プログラム: 経営管理論、人事管理論、競争戦略論、簿記原理、会計学原理、流通論、経営史、マーケティング論 ■ 法律・政治プログラム: 憲法、民法、商法、行政法、政治過程論、経済法、刑法、経済刑法

人文社会科学科 Department of Humanities and Social Sciences

3つの特徴 ➡ プラットフォーム科目、コース・プログラム制、ダブルコア・マルチコア

プラットフォーム科目では、グローバル社会と地域社会がどのような課題に直面しているのか、その課題がどのようなものなのかを理解していきます。人文科学と社会科学の双方の視点を関連付けて課題解決の糸口を学びます。

コース・プログラム制は、人文科学コース、国際社会コース、社会科学コースの各コースに、専門分野・学問的視点に基づいて合計15プログラムを設けています。2年生から関心に沿ったプログラムを選択し、学びの“コア”を体系的に形成します。

ダブルコアとマルチコアとは、複数のプログラムを体系的に学べるしくみです。入学したコースに置かれたプログラムのなかから2つのプログラムを履修することをダブルコア、入学したコースとは異なるコースからもプログラムを選択し履修することをマルチコアと呼びます。複数の学びの“コア”を形成しようとする学生の希望にも応えます。



4年間の流れ	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業論文
人文科学コース		各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
国際社会コース	共通教育科目	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
社会科学コース	共通教育科目	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
少人数ゼミナール	大学基礎論 課題探求実践ゼミナール 学問基礎論	ゼミナールⅠ、Ⅱ (基礎演習)	ゼミナールⅢ、Ⅳ (専門演習)	ゼミナールⅤ、Ⅵ (卒論演習)	
プラットフォーム科目	基礎科目 (1・2年次履修)	外国語科目 (2年次～履修)	発展科目 (2～4年次履修)		

人文科学コース Humanities Course

さまざまな「知」のあり方に触れて、分析力と問題解決能力を養う

学びの特色

人文科学コースでは、哲学・思想、心理学、歴史・地理学、日本語・日本文学、英米文学の5つのプログラムで、人文科学の各領域の専門知識を体系的に学んでいきます。人間や人間がつくり出す文化・社会に対する深い関心を持ち、様々な「知」のあり方に深く、幅広く触れて、柔軟に物事を見る目を養いながら、文献資料やデータを分析する力、文書を作成する力を習得し、問題解決能力を高めていきます。

5つのプログラム

哲学・思想プログラム 歴史に現われた主要な哲学者の思想を吟味・解釈することを通して、わたしたち人間に固有な問題とは何かを探求します。したがって、定評ある古典を読み解いていくことが研究の第一歩です。さらに、そのようにして培った思索の力を、現代の複雑な問題に応用して人間の可能性を拓けていきます。	心理学プログラム 心理学とは「心」を科学的な方法を用いて明らかにし、実際の場面に適用する学問です。本プログラムでも「心」を研究するための様々な実験方法や調査方法を学びます。また、いろいろな観点から研究する心理学には多くの領域があり、基礎から各領域の知識を積み上げることで認定心理士の資格が取得できます。	歴史・地理学プログラム 歴史学および地理学を専攻するためのプログラムです。歴史学では、様々な史資料に基づき、日本そして世界に視野を広げて歴史研究に取り組みます。地理学では、文献調査と現地調査をともに重視することで、真の意味での「地域と関わる学問」に取り組みます。
日本語・日本文学プログラム 古代から現代に至る、日本の様々な時代の文学作品を学ぶことができます。作者の思想や時代背景なども踏まえて、作品や作家について研究していきます。また、文法・語彙・発音など、日本語(方言も含む)そのものを対象とする日本語学の勉強・研究もできます。	英米文学プログラム 英米を中心とする英語圏の文学作品を原文で読みながら、言語・文化、歴史、人種、民族など様々な観点から検討を加え、その過程で批評精神を養成し、最終的に自己や世界を複眼的・相対的に捉えることを目指します。英語圏の文学作品を素材に文学研究を行う意義と魅力を味わってもらいます。	



国際社会コース International Studies Course

分野×地域を軸に、グローバル社会で国境を越えて連携できる力を養う

学びの特色

本コースでは、多元化・複雑化するグローバル社会を見据え、国内外の様々な「壁」を乗り越えて羽ばたくことのできる「グローバル市民」を育てます。学びの核は、少人数ゼミナールとセットの《分野×地域の6つのプログラム》と、国内外での《フィールド・スタディ》です。様々な外国語の運用能力アップはもちろん、専門知識に裏打ちされた深い洞察力と複眼的な思考力を身につけることで、言語コミュニケーションや異文化/自文化、グローバル社会の問題を主体的に考察・判断できるようになります。

6つのプログラム

<p>言語・コミュニケーションプログラム</p> <p>言語・コミュニケーションプログラムでは、言語学およびコミュニケーション論の基本的な理論を学びます。同時に、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの具体的な言語や地域にフォーカスした形で発展的な科目を学びます。また学部開設の日本語教員養成課程の関連科目も組み込まれています。</p>	<p>総合文化プログラム</p> <p>総合文化プログラムでは、環境・大衆・交流・越境など多様な視点で文化を論じる科目を基盤としています。あわせて、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域を対象に社会と文化のあり方を考える発展的な科目も学んでいきます。文化と不可分なメディアに関する科目も、このプログラムの重要な一環です。</p>	<p>グローバル社会プログラム</p> <p>グローバル社会プログラムでは、現代のグローバル社会のあり方に社会科学の様々な領域からアプローチします。国際関係論や世界経済論、文化人類学に加えて、隣接コースの経済学や政治学の科目もあわせて社会科学の基盤を学んでいきます。さらにヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域の政治・経済・社会についても学びます。</p>
<p>ヨーロッパ地域プログラム</p> <p>ヨーロッパ地域プログラムでは、上の3つの分野から、ヨーロッパ地域に関わる科目を横断的に学びます。英語・ドイツ語・フランス語等の言語系科目を基盤とし、ヨーロッパ地域の言語やコミュニケーション、多様な文化、政治・経済・社会について学ぶことで、この地域のあり方を多面的に捉え、探求します。</p>	<p>南北アメリカ地域プログラム</p> <p>南北アメリカ地域プログラムは、南北アメリカ地域を分野横断的に捉えようとするものです。英語系科目に加え、スペイン語系科目も基盤として学ぶことができます。さらに、英語圏に関わる言語理論やコミュニケーション論、文化、社会、経済、そして南北アメリカ関係について学びます。</p>	<p>アジア・オセアニア地域プログラム</p> <p>アジア・オセアニア地域プログラムでは、実質的な共通語としての英語に加え、中国語の科目を基盤として学びます。そして中国・日本・東南アジア諸国を中心に、その言語・文化・社会・経済についての様々な科目を通じて、変動する地域の姿に多角的に迫ります。またこのプログラムには、日本語教員養成課程の科目も、多く組み込まれています。</p>



社会科学コース Social Sciences Course

経済学、経営学、会計学、法律・政治学を通して調査力・分析力を養う

学びの特色

グローバル化する社会においては、貧困や失業、犯罪の増加や景気の後退、労働環境の悪化、民族問題など様々な問題が存在しています。これらの問題を発見・解決するためには複眼的な思考方法が必要となります。本コースでは経済学・経営学・会計学・法学・政治学の専門知識を4つのプログラムを通じて体系的に学習します。様々な学問領域の考え方を学習することで、物事を複眼的・多角的に捉えて考える力を養い、社会における諸問題に対処するための制度をデザインできる人材の育成を目指しています。

4つのプログラム

<p>経済理論プログラム</p> <p>経済理論プログラムでは、ミクロ経済学、マクロ経済学、組織の経済学、金融論、ゲーム理論といった専門科目を学習し、そこで獲得した知識を様々な現実問題へと応用していきます。これにより物事を論理的に考えるための思考力と、複雑な社会問題に対して適切な対処策を考察・提言する能力を養います。</p>	<p>経営・会計プログラム</p> <p>経営・会計プログラムでは、継続的な企業活動を可能とする企業内の仕組みを考えるとともに、企業外からの規制や関連する集団との関係性の維持のために必要な要因について理論的・実践的に学びます。経営学や会計学の理論について学び、専門性を高めるとともに、問題を解決できる能力を養います。</p>
<p>経済政策プログラム</p> <p>経済政策プログラムでは、財政や福祉、地域の問題を通じて、現代の社会制度に関わる具体的な諸課題に取り組みます。少子高齢化問題、地域の産業、福祉、行財政のあり方などの具体的な政策課題を学ぶことで、経済的観点から諸課題の分析を行うことのできる能力を身につけます。</p>	<p>法律・政治プログラム</p> <p>法律・政治プログラムでは、人文社会科学の諸分野を広く学んだ後に憲法、民法、商法、政治学といった専門科目を多く履修していくことになります。知識の修得のみならず、現地調査や施設見学等を通して、鋭い人権感覚とともに、現実の社会問題への解決策を提言できるような能力を身につけます。</p>



■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

人文社会科学科 人文科学コース ※旧人間文化学科

青山商事、穴吹コミュニティ、アニメイト、あわしま堂、アンデルセン、石井事務機、入交石油、ヴァンドームヤマダ、宇治電化学工業、エス・ケイ通信、NTTフィールドテクノ、岡山交通、オン・ザ・プラネット、香川銀行、カワニシホールディングス、川之江信用金庫、技研製作所、ぎじろくセンター、九州通信ネットワーク、九州旅客鉄道、ケアリッツ&パートナーズ、K2コミュニケーションズ、高知銀行、高知県信用保証協会、高知システムズ、高知信用金庫、高知電子計算センター、高知ハウス、コムパス、ザグザグ、サニーマート、山陽新聞販売所、四国化成工業、四国銀行、四国情報管理センター、四国労働金庫、島根銀行、スタジオアリス、全国健康保険協会、田中住建、田中電機工業、但陽信用金庫、トミック、ナイスタウン出版、日本入試センター、日本年金機構、日本ビジネスデータプロセッシングセンター、日本郵便、農林中央金庫、阪急メディアアクセス、姫路ホンダ、ファミリーホーム、ベルモニー、バンダーサービス、マナビンテリアハーツ、丸住製紙、マルナカ、宮島錦水館、近森産業、米子聖園天使園、ルミエ・パリ、ワールド・ワン、関東信越国税局、兵庫県庁、愛媛県庁、高知県庁、沖縄県庁、木津川市役所(京都)、尼崎市役所、備前市役所、佐用町役場(兵庫)、いの町役場(高知)、大阪府警、広島県警、高知県警、岐阜県小学校事務、兵庫県小中学校事務職、高知県中学校教員(国語)

▶大学院進学先 高知大学大学院、愛媛大学大学院、徳島大学大学院、福岡教育大学大学院

人文社会科学科 国際社会コース ※旧国際社会コミュニケーション学科

アクタス、ANAウイングス、アルバック地域計画建築研究所、アルプス物流、アルペン、イソナー、一宮運輸、いろは出版、ウェディングボックス、エイチ・アイ・エス、SMBC日興証券、NTTデータ東海、NTTビジネスソリューションズ、大分銀行、甲斐駒カントリークラブ、香川県信用組合、カトーレック、川之江信用金庫、関西エアポートエージェンシー、かんぼ生命、キーポイント、技研製作所、ぎふ総合健診センター、京都銀行、廣榮堂、高知銀行、サイネックス、サイボウズ、山陰合同銀行、JR西日本、JAえひめ中央、JA土佐あき、JAならけん、ジェイコム、ジェイコムホールディングス、JTB西日本、ジェネシス、四国銀行、JALスカイ、住宅情報センター、シュマルツ、スズキ、ゼリア新薬工業、ソデック、損害保険ジャパン日本興亜、第一コンサルタンツ、第一生命、タイガー魔法瓶、ダイヤモンドダイニング、中部国際空港、テイクアンドグヴ・ニーズ、東京計装、トラスT.A、ドリーマー、日本生命、日本郵便、パナソニックホームエンジニアリング、PHP研究所、ヒワサキグループ、富士重工業、富士通、三菱商事、三菱電機、みらい住宅開発発行、明治安田生命、山岸竹材店、竹虎、良品計画、ロック・フィールド、高知県庁、高知市役所、いの町役場、鳥取県警、高知県警、岡山市消防局、神戸中華同文学校、岡山市教育委員会、高知県教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、大阪大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院

人文社会科学科 社会科学コース ※旧社会経済学科

アートコーポレーション、明石被服興業、穴吹ハウジングサービス、エクスプレス、尼崎信用金庫、アメシス、阿波銀行、淡路の島菜園、伊藤忠食品、伊予銀行、インターナカ、ウィングアーク 1sc、ウェブニア、NTTマーケティングアクト、愛媛銀行、香川銀行、兼松エンジニアリング、カリモク家具、かんぼ生命保険、北村商事、吉備信用金庫、近畿車両、クボタ建機ジャパン、高知銀行、高知新聞社、高知信用金庫、佐野信用金庫、JA岡山、JA香川県、JA全農、JAバンク高知、四国ガス、四国銀行、四国労働金庫、静岡産業社、資生堂ジャパン、四万十みはら菜園、十八銀行、大和ハウス工業、中京銀行、中国労働金庫、ティーエム・エス、帝国データバンク、天満屋、東海東京証券、東京海上日動火災保険、鳥取銀行、トマト銀行、トモテツグループ、トリドールホールディングス、南海プライウッド、ニトリ、日本IBMサービス、日本生命保険、日本年金機構、日本郵政、日本郵便、幡多信用金庫、パナホーム、播州電装、ひまわり乳業、広島銀行、ファーストコラボレーション、福岡銀行、双葉電機、水島信用金庫、港産業、もみじ銀行、ヤマエ久野、ヤマト運輸、ゆうちょ銀行、ユニクロ、ローソン、公正取引委員会、国立印刷所岡山工場、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、四国財務局、高松国税局、高松法務局、徳島地方検察庁、鳥取県庁、徳島県庁、高知県庁、和歌山市役所、御坊市役所、尾道市役所、浜田市役所、三豊市役所、高知市役所、宿毛市役所、太子町役場(兵庫)、藍住町役場、那賀町役場、東みよし町役場、警視庁、鳥取県警、香川県警、高知県警、福岡県警、高知市公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、大阪経済大学大学院、兵庫教育大学大学院、モンゴル国立大学法学部

[一般入試 備考]

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」を確認すること。)

利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科については『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- (2) [個別学力検査等]欄について:出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

学科名等	学力検査等の区分・日程(募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		科目名等	教科等	科目名等	
人文社会科学科	人文科学コース	推薦入試Ⅰ(30)	大学入試センター試験は課さない	その他	面接 (必須)
	国際社会コース	推薦入試Ⅰ(A選抜)(B選抜)(20)(15)	大学入試センター試験は課さない	その他	面接 (必須)
	社会科学コース	推薦入試Ⅰ(25)	大学入試センター試験は課さない	その他	面接 (必須)

「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

教育学部

Faculty of Education

学科・コース

学校教育教員養成課程

- 幼児教育コース
- 教育科学コース
- 国語教育コース
- 社会科教育コース
- 数学教育コース
- 理科教育コース
- 英語教育コース
- 音楽教育コース
- 美術教育コース
- 保健体育教育コース
- 技術教育コース
- 家庭科教育コース
- 科学技術教育コース
- 特別支援教育コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



アドミッションポリシー

教育学部は、「幅広い教養と教育(保育)とりわけ学校教育に関する総合的な理解を持ち、教育を深く探求して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育(保育)という営みや教師(保育士)という仕事に深い関心を持って主体的に探求し続けることができる人材」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 教育実践に必要とされる幅広い教養や教育(保育)に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる高等学校までの各教科の基礎知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 学習した内容を理解する能力を有する。
2. 論理的に思考する能力を有する。
3. 学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を有する。
4. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

主体性・多様性・協働性(※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

1. 主体的に課題を探究する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

関心・意欲

1. 教育と教師(保育と保育士)の仕事について強い関心を持っている。
2. 教職への意欲を持っている。



▶ 学校教育教員養成課程3年 松岡紗希さんの第1学期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限		初等社会科	生徒指導	教育相談	食生活論
2時限	8:00~16:30	中等家庭科指導法I			教育評価(初等)
3時限	小学校で 学習コンピューター	被服学概論		専門演習I	
4時限	活動	特別支援教育概論		被服製作実習	教育実習総合研究
5時限					

▶ 教育学部ホームページ <http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/>



先輩にきく

常に子どもたちと接しながら学べる

松岡 紗希 学校教育教員養成課程3年(高知県立中村高校出身)

高知大学では、正課の授業はもちろん、ボランティアやサークルなど様々なかたちで学校現場と関わりながら学ぶことができます。チャンスはゴロゴロ転がっているので、上手に掴んで将来につなげてほしいと思います。

私が初めて子どもたちと接したのは、1年生の「フレンドシップ事業」です。これは、小学校に出向いてゴミ拾い活動をしたり、大学に小学生を招いて大規模なレクリエーションをしたりするもので、1年生が主体となって企画・実施されます。子どもたちに関わることの楽しさや、教員になるために自分に足りないものを実感する機会になりました。2年生では一つの小学校に1年間通って子どもたちと関わる「支援実習」や、3年生では附属小学校での教育実習も経験しました。また、私は授業以外でも興味のあることに積極的に参加してきました。「こどもの森」というボランティアサークルで小学校の親子参観日に環境劇を披露したり、「学習チューター」として小学校の授業支援に行ったり、小学生の朝ごはんの習慣化を目指した「おはなしモーニング」という活動に出向いたり…。学生のうちからこんなに多くの実践の機会を経験できるのは、高知大学ならではの!とても恵まれていると感じます。



環境劇では、エコを啓発するイエローの役を熱演!

将来、誰からも信頼してもらえる温かい先生になるのが私の目標。学びと実践をさらに深め、夢を叶えたいと思います。

附属小学校での教育実習では、1・2年生の複式学級を担当。将来は高知県の教育に貢献したいです!



教員にきく

教育の未来を担うリーダーを育てる

玉瀬 友美 教育学部 教授、高知大学教育学部附属幼稚園 園長

高知大学教育学部の一番の特徴は、実践的な学びをふんだんに取り入れていることです。本学部に来る学生は、「子どもが好き」「子どもたちの成長に関わりたい」という高い意欲を持っています。それを、座学ばかりで低下させてはもったいない(笑)。実習と講義を行ったり来たりしながら同時並行で学ぶことで、難易度の高い知識もよく身に入ってくるし、実践もより深まります。

幼児教育や学校教育における基本——「子どもの主体性をいかに伸ばしていくか」。これは実は、大学教育でも同じです。学生自身から出てきた気づきやアイデアを活かし、それをいかに実践に結び付けていくか、またそこからいかに研究的な視点を持つかが、非常に重要。目指すのは、教育の現場でリーダーシップを発揮し、日本の教育を底上げしていける教育者の育成です。ぜひ、私たちと共に高知大学で学びましょう!



カリキュラム例

教育の原理や子どもの発達、教育の社会的・経営的側面に関する学習	教育の実践的側面に関する学習	教科指導・教科内容に関する学習	幼児教育に関する高度な学習	特別支援に関する高度な学習	教育に関する専門的な学習
教育制度論 教職入門 教育学概論 教育心理学概論 特別活動指導法 教育の方法・技術 教育相談 同和教育論 道德教育 生徒指導	課題探求実践セミナー(フレンドシップ事業) 教育実習[初等] 教育実習[中等] 観察実習 支援実習 応用実習 実践的に学ぶ指導法	■教材開発演習 ■初等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の初等教科指導法 ■初等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の各初等教科 ■中等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の中等教科指導法 ■中等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、技術、家庭、英語の各中等教科	幼児教育指導計画論 保育指導論 幼児理解 ペアレンティング 保・幼・小接続カリキュラム 高知の保育 各教科に関する科目(幼稚園) 保育士に関する科目	特別支援教育概論 知的障害心理学 知的障害生理・病理学 病弱心理・生理・病理学 知的障害教育課程論 知的障害教育の理論と実際 肢体不自由教育指導法 病弱教育指導法 重複障害の理解と教育 発達障害等の理解と教育 特別支援教育実習	専門演習I~IV 卒業論文 教職キャリア開発論 演習 教育哲学 日本教育史 西洋教育史 教育行政学 教育社会学 学校カウンセリング 認知心理学 小学校外国語活動・英語教育 高知県の教育

学校教育教員養成課程 Teacher Training Division

子どもたちに豊かな人間教育を

教育理念

本学部は、「本気の教員になろう!」を合い言葉に質の高い教員の育成を目的としています。特に、高知県の教育課題である道徳教育や特別支援教育、グローバル化に対応した英語教育など現代の教育課題に応じた教育プログラムを充実させています。また、幼児教育コースを設置し、幼稚園教諭・保育士の養成も行っています。

学びの特色

小学校および中学校、特別支援学校の教員養成を一体的に行っていることを特色としています。また、4年間一貫した実習系授業を設定していることも特色です。実際に、子ども達や教職員、地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力、発達段階に応じた適切な教育的関わりを身につけることができます。本課程では、教員免許の取得が必須です。



教育現場と同じ教材・教具・雰囲気を再現し、実際の教育現場を想定した実習を行うことができる模擬授業教室も設置されています。また、遠隔講義システムが完備されており、いくつかの教室と附属小・中と連携しながら学習を行うことができます。

コース紹介

▶ 幼児教育コース

乳幼児保育および幼児教育における 高度な専門性と研究・実践力を育む

本コースでは、保育士資格と幼稚園教諭一種免許の取得を必修としています。同時に、就学後の教育を見据えた乳幼児保育・教育を考えられる幼稚園教諭・保育士を養成するために、小学校・特別支援教育に関する科目も履修を必須としています。さらに、高知の保育やペアレンティングの支援等の授業を通して、子どもを取りまく現状について学びます。

また、コースの学生を中心に企画・準備した様々な遊びを未就学児や保護者の方に体験していただく地域子育て支援広場「あそぼーや」などの地域連携活動も行っています。充実したカリキュラムのもと、多様な学びの機会を準備しています。



▶ 教育科学コース

多様で複雑な教育課題を読み解き よりよい未来を切り開く力を育む

本コースでは、小学校や中学校教員となるために必要な教員免許取得の他に、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。本コースの学習は、教育を教室や学校でのものだけに限定せず、広い視野から捉えていることが特徴です。

グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、現代の教育課題は多様で複雑になってきています。社会全体として見たとき、学校・学級を集団やシステムとして捉えたとき、子どもや教師といった個人に焦点を当てたとき、あるいは「教育」そのものをじっくり考えたときに何が見えてくるでしょうか。

様々な専門性を有する教育学・心理学の教員の指導のもとで、教育を科学することを通して、深く読み解き粘り強く思考・試行する力を養います。



▶ 国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／音楽教育／美術教育／保健体育教育／技術教育／家庭科教育の各コース

教科内容の専門性と教科指導の 実践力を培い、「確かな学力」を育む

教科の各コースでは、教科内容・指導方法を深く掘り下げ、高度な能力と豊かな知識を身に



▶ 教育学部で身につける教員としての力量形成のステップ



つけた優れた実践力を持った学校教員の育成を目指します。

各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築および学習指導法などについての専門的な理論と実践を学びます。併せて、その基礎となる教科の内容について専門的に学びます。

さらに、現代の子ども達の課題に応じた教科学習の指導法や教科の専門的な知識を探究し、新たな教科指導を創造していくことのできる「学び続ける教員」の養成を目指します。



▶ 科学技術教育コース

知的好奇心と探求心を高め
科学的思考・技術に結実させる力を育む

生活の中で気づく「なぜ?」に対して答えを見つけること、また、自分の手で何かを作り上げることは人間の知的好奇心を満足させる楽しい活動です。

本コースでは、理科と技術科の両教科を融合した教科内容を充実・強化することにより、理科および技術科を担当できる高い専門性と知識を有する教員を育てます。

また、学校教育にとどまらず、知識と専門性を活かして地域の中で理科および技術科教育を積極的に推進できるリーダー的な役割を担える人材を育てます。



▶ 特別支援教育コース

子どもの教育的ニーズに応じた
適切な指導・支援ができる力を育む

本コースでは、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する方法を中心に、視覚障害や聴覚障害、情緒障害や発達障害の子どもの教育について学びます。また、児童生徒の学習上や生活上の困難を分析するための理論についても学びます。

現在、発達障害の子ども達への支援を始めとしたユニバーサルデザインに基づく教育が求められ、特別支援に関する知識や専門性は、通常学級を受け持つ教員にも必要とされています。本コースでの学習・研究を通して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力を育成します。



Voice! 内定者の声



白石 大樹 (高知県立高知小津高校出身)
高知県公立学校教員(小学校) 平成28年度卒業

僕が教員を目指したのは、小学校時代、家庭の事情で不安定だった自分を親身になって支えてくれた大好きな恩師の影響です。

特別支援教育に興味を持ったのは、2年生の支援実習。小学校で発達障害を持つ子どもたちの様子を初めて実際に見て、学校の中で困っている子どもたちの力になりたいと進路を決めました。

僕の入ったゼミでは、発達障害のある児童を大学へ招いて週に1回、国語と算数の指導をしています。僕が関わった児童は初め、用意した教材を破ったり、泣いたりと思疎疎通も難しかったのですが、「じゃあまず友だちになろう!」と一緒に遊ぶことから始め、少しずつ関係ができていって、1年後の今は一日20枚のプリントをやってくれるようになりました。この経験は貴重な実践となっただけでなく、子どもたちの成長に寄り添える喜びや自信を僕に与えてくれました。

また、教育実習を行った附属小学校では、現場の先生方がとても熱心に、子どもとの関わり方や授業の作り方を教えてくださいました。実習終了後も交流は続いていて、教員の勉強会や研修会にも誘ってくださいます。そういう生きたく学びを得る機会、意欲を高めてくれる人との出会いが、高知大学にはたくさんありました。

4月から僕は教育現場に出ていきます。どんな子ども輝かせてあげられる太陽のような先生になるのが、今の目標。障害だけでなく、家庭内不和や不登校といった問題にも目を向けて、子どもたちを支えていきたいです。

教員採用試験対策では、退職された校長先生が教えてくれる就職室の面接対策が勉強になりました!



小学校からずっとやってきた大好きな野球を大学でも続けました。野球を通して、仲間と助け合う良さや支えてくださった方々への感謝の気持ちを改めて学ぶことができました。

取得できる資格等

小学校教諭一種免許状/中学校教諭一種免許状(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語)/高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・書道・保健体育・家庭・英語)/特別支援学校教諭一種免許状/幼稚園教諭一種免許状/保育士/学芸員

「○」は必修 「○」は選択必修 「●」は取得可能(卒業要件を超えて単位を修得することにより、複数の免許状が取得可能です)

取得できる資格	幼稚園	保育士	小学校	中学校												高等学校										支援		
	教諭	一種免許	二種免許	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	体育	技術	家庭	英語	国語	地理	公民	数学	理科	音楽	美術	書道	保健	体育	家庭	英語	職別	
幼児教育コース	○	○	●																									●
教育科学コース	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体育※1・技術・家庭科教育コース	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
科学技術教育コース				●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別支援教育コース※2	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■ 学校教育教員養成課程のコース分けは2年次1学期です。
 ■ 学校教育教員養成課程では各コースごとに取得すべき免許状について次のとおり決められています。
 幼児教育コース……幼稚園教諭一種免許状および保育士資格
 教育科学コース……小学校教諭一種免許状および中学校教諭二種免許状
 国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体育・技術・家庭科教育コース……小学校教諭一種免許状および中学校教諭二種免許状
 科学技術教育コース……中学校教諭一種免許状(理科または技術)および中学校教諭二種免許状(技術または理科)
 特別支援教育コース……小学校教諭一種免許状または中学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状

※1 保健体育教育コースの推薦1 入学者は、中学校教諭一種免許状および小学校教諭二種免許状が必修です。
 ※2 特別支援教育コースで、中学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状取得者は高等学校教諭一種免許状が取得可能です。

+α 正課外の活動も、貴重な省察の場 ~からふるカンパニー~

教育学部

新しい物事との出会いや成長のきっかけは、大学の授業に限らずいろいろなところに転がっています。特に教育学部では、教員と学生が一緒になって様々な活動やボランティアに積極的に取り組み、地域や子どもたちと育ち合っています。

子どもと一緒に楽しみながら接し方のヒントが見つかる

辻田 あいみ 学校教育教員養成課程4年生 (愛媛県立松山北高校出身)
 田中 陽菜 学校教育教員養成課程4年生 (熊本県立水俣高校出身)

からふるカンパニーは、小学生の学習支援を行うサークルで、週に1度、高知市の小学校2校の放課後学習室で活動しています。他の学習チューター(授業支援)とは異なり、学習支援だけでなく、オリジナル教材を自分たちで作ったり、子どもたちのお楽しみ企画を計画したり、年間を通して子どもたちと関わることができます。子どもたちが自分のことを話してくれたときなど、徐々に距離が縮まってきたことを実感したときは、とても嬉しかったです。また、先輩から子どもとの接し方を学んだり、小学校の先生方とのつながりができて、入学したばかりの1年生の様子や、参加日や保護者会の様子を知る貴重な機会をもらえたりと、とても勉強になっています。教職に就いてからも、この活動を通して学んだ「子ども一人ひとりをしっかり見る」ということを大切にしていきたいです。



写真左から辻田さん、田中さん



放課後学習室での活動の様子

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

茨城県公立学校教員(中学校)、愛知県公立学校教員(中学校)、大阪府公立学校教員(中学校)、堺市立公立学校教員(中学校)、和歌山県公立学校教員(小学校、特別支援学校)、兵庫県公立学校教員(小学校、中学校、特別支援学校)、兵庫県私立学校教員(高等学校)、神戸市公立学校教員(中学校)、岡山県公立学校教員(小学校、中学校)、広島県公立学校教員(小学校)、広島県公立学校教員(小学校、中学校)、鳥取県公立学校教員(小学校、中学校)、島根県公立学校教員(小学校、中学校)、香川県公立学校教員(中学校)、愛媛県公立学校教員(小学校)、徳島県公立学校教員(小学校、中学校)、徳島県阿南市公立幼稚園教員、徳島県吉野川市公立幼稚園教員、高知県公立学校教員(小学校、中学校)、高知県私立学校教員(中学校、高等学校)、アカデミア(日能研・九州四国グループ)、イオンディライト、イズミ、NTT西日本、香川銀行、技研製作所、クラウドワークス、高知銀行、高知信用金庫、山陰合同銀行、JTB中国四国、四国銀行、島根銀行、JALスカイ、神姫バス、スタジオアリス、セントラルスポーツ、テレビ高知映像、日本コンピューターサイエンス、日本生命保険相互会社、広島信用金庫、HEADS、ボーダーレス・ジャパン、近畿地方整備局、徳島県庁、高知県庁、益田市役所、高知市役所、香美市役所、藍住町役場、徳島県警、千歳市消防局、神戸市消防局、加古川市消防局、岡山市消防局、松江市消防局

▶大学院進学先

高知大学大学院、武蔵野音楽大学大学院、筑波大学大学院、京都教育大学大学院、大阪教育大学大学院、兵庫教育大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、鳴門教育大学大学院、熊本大学大学院、尾道市立大学大学院

平成30年度

入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。

「○」は選択必須科目(その教科は必須で教科内に選択科目がある)を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

※教育学部学校教育教員養成課程の教科教育コースは募集枠の名称であり、「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育・技術教育・家庭科教育コース」があります。

一般入試

学科名等	区分 日程 学力検査等の 募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名																				個別学力検査等						
		教科・科目数	国語	地理歴史・公民					数学					理科					外国語					教科等	科目名等 ()は受験の選択・必須や必要科目数など			
学校教育教員養成課程	幼児教育コース 前期(6)	5教科7科目又は 5教科8科目又は 6教科7科目又は 6教科8科目																							国 教 外	<国語>現代文B <数学>数I・数B <外国語>英(英語表現I・英語表現II・ コミュニケーション英語I・コミュニケーション 英語II・コミュニケーション英語III) (1科目を選択必須)		
	教育科学コース 教科教育コース* 特別支援教育コース 前期(54)	● 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	その他	実技(必須)	
	音楽教育コース 美術教育コース 前期(7)	5教科7科目又は 5教科8科目又は 6教科7科目又は 6教科8科目	● 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	その他	実技(必須)
	保健体育教育 コース 前期(6)	● 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	その他	実技(必須)
	科学技術 教育コース 前期(5)	5教科7科目	● 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	その他	<理科>物理基礎・物理・化学基礎・化学・ 生物基礎・生物・地学基礎・地学から1科目 化学技術に関する面接(口頭試問、理科に かかわる実験を含む) (必須)
教育科学コース 教科教育コース* 特別支援教育コース 後期(5)	5教科7科目又は 5教科8科目又は 6教科7科目又は 6教科8科目	● 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	その他	面接(必須)	

[一般入試 備考]

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、「情報関係基礎」については、普通教科及び学校設定科目以外の)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
[個別学力検査等]欄について: 出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

(大学入試センター試験の利用教科・科目名)欄については、「入学者選抜に関する要項」を参照のこと。

学科名等	区分 日程 学力検査等の 募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名																				個別学力検査等							
		教科・科目数	国語	地理歴史・公民					数学					理科					外国語					教科等	科目名等 ()は受験の選択・必須や必要科目数など				
学校教育教員養成課程	教育科学コース 教科教育コース* 特別支援教育コース 推薦入試I (14)	大学入試センター試験は課さない																						その他	講義理解力検査、 問題解決型グループワーク 振り返り作文 (必須)				
	保健体育教育 コース 推薦入試I (6)	大学入試センター試験は課さない																						その他	問題解決型グループワーク、 振り返り作文、実技 (必須)				
	幼児教育コース 推薦入試II (4)	5教科7科目又は 5教科8科目又は 6教科7科目又は 6教科8科目																									1	その他	小論文、面接 (必須)
	教育科学コース 教科教育コース* 特別支援教育コース 推薦入試II (23)	● 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	その他	小論文、面接 (必須)	

壮大なスケールの世界を解き明かす

理工学部

Faculty of Science and Technology

学科・コース

数学物理学科

数学コース

物理科学コース

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



理工学部



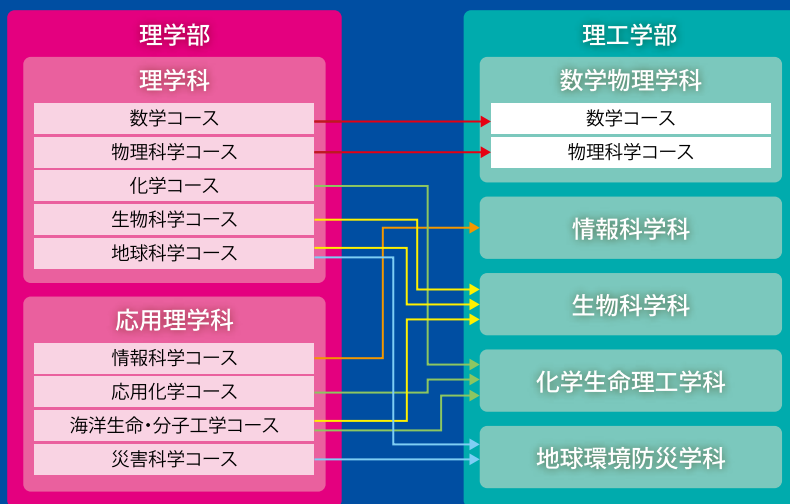
理学部は理工学部へ

高知大学理学部は、地域・社会のニーズにあわせた「理工学部」に生まれ変わりました。この新学部は、論理的思考を重視する理学教育に、実用を重視する工学教育の融合を目指しています。

新学部には、自然科学の基礎を支える「数学物理学科」、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを扱う「情報科学科」、南四国の豊かな自然を生かす「生物科学科」、化学と生命科学の基礎に高度な技能を積み上げる「化学生命理工学科」、地球を理解して総合的な防災力を身につける「地球環境防災学科」の5学科構成となっています。

～平成28年度

平成29年度～



▶ 数学物理学科 物理科学コースの3年生第1学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限					物理化学Ⅱ
2時限	(教養科目)	固体物理学Ⅰ			量子力学Ⅰ
3時限	相対性理論	理工学英語ゼミナールⅠ		(教養科目)	物理化学演習
4時限		中等理科指導法Ⅲ			物理科学実験Ⅱ
5時限					物理科学実験Ⅱ

▶ 理工学部ホームページ

<http://science.cc.kochi-u.ac.jp/>

先輩にきく 学ぶ自由と責任がある

岡本 稔彦 理学部理学科物理科学コース3年(大分県 私立明豊高校出身)

高校時代、数学を使って自然現象を解いていくところに魅力を感じたのが、僕が物理に興味を持ったきっかけです。1年生の時から、物理系の授業はしっかり取ってきました。大学の学びが高校までと違うのは、どの授業を学ぶかから自分で自由に決められること。その分、責任も伴います。

理工学部では、3年生第2学期で研究室に仮配属されます。僕が選んだのは、物性物理学研究室。ここでは、固体物質の合成やその構造・性質などについて、実験を通じて考察・研究している研究室です。物理の世界って、“夢”があるんですよね。未だに解明されていないことがまだまだあり、それを自分が発見したい。本格的な研究は4年生からですが、今からとても楽しみです。

また勉強以外では、僕は天文系サークル「星の会」で活動してきました。ふだんはグラウンドから天体望遠鏡で星を見るのですが、6月には大学から坂本龍馬像のある桂浜までみんなで歩いて、夜空を見上げます。大学を夜10時に出発し、朝方4時頃につくと、波の音がBGMになって星が本当にきれいです。

そんなふうに勉強もそれ以外の活動も、大学生活は“自分次第”。自分が学びたい学問にのめり込んだり、取りたい資格に挑んだりできる貴重な時間です。僕もこの3年間で、少しは自律した人間になれたかな(?)と思う今日この頃です。



院生の先輩から、実験の第一段階の指導を受ける

アルバイトは大学生協で、1年生にパソコンを教えるサポーターをしています。困った時は、ぜひどうぞ！



教員にきく 理学の知を基盤に、工学の応用を身につける

鈴木 知彦 理工学部長

高知大学理工学部は、理学をベースに進化した理工学部です。論理的思考力を重視する理学教育がまず土台にあり、そこに実用を重視する工学を融合させました。科学技術が加速度的に進化する今、基礎となる学問知識や思考力をしっかり身につけておかないと、理工系人材として活躍することはできません。そこで高知大学では、3つの学部共通科目と2段階の専門科目をくさび型に学んでいくカリキュラムを構築しました。学部共通科目では、理工系人材に欠かせない知識や思考力、英語力、倫理観を学び、また早い段階から社会に目を向けキャリアへの意識を養います。さらに専門科目では、学科ごとに基礎と専攻の2段階科目群で専門性を高め、応用力を培っていきます。受験生のみならず、用意されたルールの上で行く学びではなく、自分でもがきながら考え見出していく学びをここで体験し、我々と共に社会の期待に応えられる理工系人材を目指しませんか？

カリキュラム例

数学物理学科	情報科学科	生物科学科	化学生命理工学科	地球環境防災学科
<p>■数学コース</p> <p>微分積分学や線形代数学を基盤として、解析学 幾何学、代数学、確率・統計学を中心に学びます。</p> <p>■物理学コース</p> <p>力学分野、電磁気学分野、熱統計学分野、量子物理学分野、応用物理学分野、実験科目</p>	<p>計算機システム学、オペレーティングシステム論、プログラミング演習、情報ネットワーク論、人工知能工学、情報理論、シミュレーション工学、アルゴリズムとデータ構造、数値解析、画像処理論、情報解析学、デジタル回路実験、データベースシステム、離散数学、ヒューマンコンピュータインタラクション、情報社会と情報倫理</p>	<p>植物分類学、動物分類学、生態学、古生物学、比較生化学、動物生理学、細胞生物学、植物形態学、脊椎動物学、系統進化学、保全生物学、古生態学、理論生物学、生物圏進化学、地球表層動態学、タンパク質科学、代謝生理学、分子生理学、原生動物学、植物生理学、細胞構造構築学、生物多様性学、化学分類学、海洋環境学、動物生態学、水界生態学、海洋植物学</p>	<p>分析化学、物理化学、有機化学、無機化学、量子化学、錯体化学、天然物化学、分子生物学、細胞機能学、有機・高分子化学実験、無機・物理化学実験、遺伝子工学実験、生命分子工学実験、高分子化学、光機能創成化学、反応工学、無機材料化学、有機材料化学、ケミカルバイオロジー、発生工学、遺伝子工学、細胞工学、進化生物工学</p>	<p>■必修</p> <p>地球環境防災実習、地震学</p> <p>■選択必修</p> <p>連続体力学、気象学、地球ダイナミクス、構造力学、地盤工学、水理学、構造地質学、地震地質学、岩石学</p> <p>■選択</p> <p>物理探査法、大気環境工学、耐震工学、防災計画学、鉱物学、テクトニクス、地球掘削科学、海洋地質実習ほか</p>



理工学部 Faculty of Science and Technology

教育理念

理工学部は、論理的思考を重視するこれまでの理学教育に加え、実用を意識した工学教育を融合させて、新しい理工学教育を目指します。このため、他大学の理工学部とは異なり「理学の基礎に強い」人材育成が特徴です。卒業時に取得できる学位も、理学教育を追求する「数学物理学科」と「生物科学科」は『学士(理学)』、理学はもちろん理工学教育を充実させた

「情報科学科」「化学生命理工学科」「地球環境防災学科」は『学士(理工学)』となります。さらに、「英会話」や「科学英語」などの英語教育を通して、グローバル化への対応も行います。

数学物理学科 Department of Mathematics and Physics

知的文化の創造と人類進歩を目指して

コース紹介

▶ 数学コース

数学的・論理的思考力はすべての科学に携わる人々に必然的に求められます。しかし、数学を的確に活用するには、正確な数学的知識の習得とそれに基づく訓練が必要です。数学コースでは、数学の代表的な分野である解析学、幾何学、代数学、確率・統計学を中心に数学的・論理的思考力を養成します。また、必要単位を習得することにより中学校・高等学校の数学教員免許を取得することができるので、数学をしっかり学び、卒業後は数学の先生になりたいという方にもおすすめです。



▶ 物理科学コース

素粒子から原子核、原子、分子およびその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを実験・理論の両面から学びます。力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学、物理化学などの基礎知識を習得し、固体の磁性・超伝導・イオン伝導、宇宙線・電磁現象、核物質・クォーク物質などの研究に応用する力を養います。そして、社会の多種多様な分野で独創性を発揮できる人材の育成を目指します。



情報科学科 Department of Information Science

未来の情報技術を創造する

コンピュータで何ができ、どう動き、どう作るかについて、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを学びます。情報科学の成果は多くの分野で活用され、新しい理論や学問の創出のみでなく、次世代の新技术や産業の発展に貢献しています。情報科学科では更なる高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。



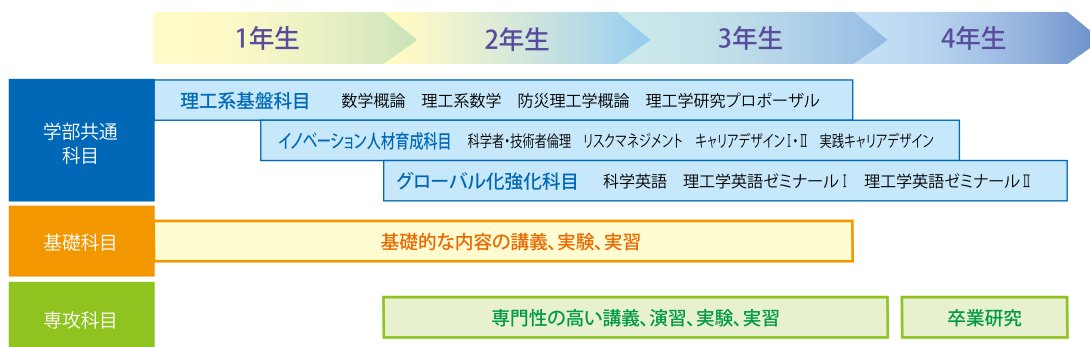
生物科学科 Department of Biological Sciences

生物・環境、その歴史を科学する

地球生態系から分子レベルの現象まで、そして、太古の地質時代から現在、未来まで、スケールや時空を越えた幅広い領域におよぶ「生物科学」を、多様で充実したカリキュラムのもとに学びます。そして、生物科学に関する総合的な知識と技能を有し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材を育成します。



▶ 4年間の流れ



1年次は共通教育初年次科目に加え、「数学概論」など学部共通科目、様々な基礎科目を履修します。2年次以降は専門性の高い授業・実験を履修し、4年次に「卒業研究」を行います。

化 学 生 命 理 工 学 科

Department of Chemistry and Biotechnology

分子の視点で環境・材料・生命に挑む

身近な日用品も最先端の機能性材料も生き物も、みな化学物質でできています。化学と生命科学に関する知識と実験技術を習得し、分子や細胞の性質と機能およびその仕組みを理解できるように教育を行います。環境・材料・生命などの分野において重要な課題を解決できる能力を身につけ、持続可能で豊かな社会の実現に挑む人材を育成します。



地 球 環 境 防 災 学 科

Department of Global Environment and Disaster Prevention

地球に生きる!

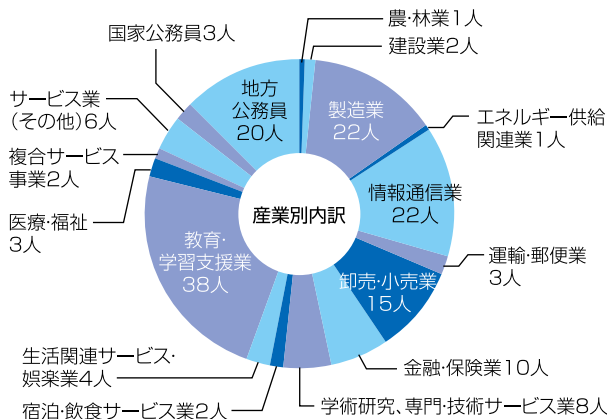
地球構成要素の特性、自然現象の発生機構、自然災害の進行準備過程、災害に対する生命財産と構造物の保全や維持に関する教育・研究を行います。理学および工学の両分野から学ぶことで、環境変化や自然災害に対する問題解決能力を持ち、かつ、自然共生型社会の構築・発展に貢献できるような高度職業人・技術者・教員・公務員・地域リーダーの育成を目指します。



■取得できる資格等(主なもの)

- 数学物理学科** 数学コース:中学校教諭一種免許状(数学)/高等学校教諭一種免許状(数学)
- 数学物理学科** 物理科学コース:中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/他
- 情報科学科**:高等学校教諭一種免許状(情報)/情報処理技術者[要試験]
- 生物科学科**:学芸員/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/生物分類技能検定[要試験]/中級バイオ技術者[要試験]/上級バイオ技術者[要試験]
- 化学生命理工学科**:学芸員/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/毒物劇物取扱責任者[資格審査有]/危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]/環境計量士[要試験]/有機溶剤作業主任者[要試験]/特定化学物質取扱責任者[要試験]/中級バイオ技術者[要試験]/上級バイオ技術者[要試験]
- 地球環境防災学科**:学芸員/測量士補[要試験]/技術士補[要試験]/防災士[要試験]/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/気象予報士[要試験]

■就職データ 2016年3月卒業生



卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

数学物理学科 ※旧数学・物理科学コース

アイセイ、アウトソーシングテクノロジー、ALTEC、EMシステムズ、いけうち、伊予銀行、宇和島自動車、栄光、SKK、エナミ精機、愛媛信用金庫、エルテック、ガリバーインターナショナル、関西エックス線、関西バッテリー、かんぽ生命保険、グリフィン、高知銀行、国立病院機構、後藤会計事務所、個別教育舎、コモテック、コンピューターシステム、さなる、サンエイグループ、シー・アイ・シー、四国銀行、四国情報管理センター、ソフテック、ダイナム、TEP、天満屋、日亜化学工業、日本共産党中央委員会 赤旗編集局、日本サンガリアパレレッジカンパニー、日本年金機構、日本郵便、ピーシーインクス、ヒワサキコンピュータシステム、フォトストーリー・ハヤシ、富士通エフサス、三菱UFJインフォメーションテクノロジー、ユー・エス・イー、ワールドコーポレーション、高知地方検察庁、高知県庁、新居浜市役所、中津市役所(大分)、宜野湾市役所、広島県警、愛媛県警、徳島県警、鹿児島県警、岡山市消防局、大阪府公立学校教員、大阪府私立学校教員、神戸市公立学校教員、徳島県公立学校教員、高知県公立学校教員、鹿児島県私立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、芝浦工業大学大学院、筑波大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、愛媛大学大学院、九州大学大学院

情報科学科 ※旧情報科学コース

アルボレックス、AVCテクノロジー、SGシステム、エスユーエス、NTTビジネスソリューションズ、愛媛銀行、エルテック、高知システムズ、佐賀電算センター、社会福祉法人蒜山慶光園、スクラップカスタムPCスクラップ、セリオ、デジタルピア、トッパン・テクニカル・デザインセンター、日本データスキル、日本郵便、ピープルソフトウェア、ファームサービス、富士通システムズウエスト、マルウ接着、三井造船システム技研、山口フィナンシャルグループ、大分県庁、自衛隊

▶**大学院進学先** 高知大学大学院

生物科学科 ※旧生物科学コース

あいおいニッセイ同和損害保険会社、アイリスオーヤマ、アウトソーシングテクノロジー、味のちぬや、阿波銀行、安藤嘉助商店、一般財団法人日本気象協会、VSN、NRIネットコム、NTT西日本、NTTマーケティングアクト、香川銀行、鴨川シーワールド、関西電装機器、共栄フード、キリン堂、クラブ、サカイ引越センター、三光電業、山陽薬品、サンラヴィアン、GMOクラウド、四国銀行、四国労働金庫、新保智也ワッフルケーキR.L.、関、総合警備保障、ダイナム、WDBエウレカ、土佐料理司、富田製菓、西四国マツダ、日東メディック、日本コンピューターダイナミクス、日本プロセス、ベストケア、本部三慶、マイナビ、まつだ寝具店、モンベル、ヤマダ、やまみ、ユーコー、ワールドビジネスシステム、京丹後市役所、さぬき市役所(香川)、高知市役所、天草市役所、津野町役場(高知)、高知県警、静岡市消防局、呉市消防局、高知市消防局、川崎市公立学校教員、和歌山県公立学校教員、岡山県公立学校教員、高知県公立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、北海道大学大学院、筑波大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、琉球大学大学院、大阪市立大学大学院

化学生命理工学科 ※旧化学・応用化学・海洋生命・分子工学コース

アウトソーシングテクノロジー、あすか製薬、アスティス、アドバンテック、アルファ工業、イカリ消毒、井上誠耕園、上野ガス、大阪府立産業技術総合研究所、岡山村屋、沖縄ココ・コーラボトリング、オムロン、香川銀行、科研製薬、技研製作所、京都銀行、熊本赤十字病院、倉敷化工、構営技術コンサルタント、コスモ工機、寿製菓、コンピューターマネージメント、再春館製薬所、ザグザグ、サンエイグループ、サンブラザ、三洋化成工業、JTB中国四国、四国銀行、翔葉、昭和樹脂工業、白金鍍金工業、スカイネットアジア航空、住友生命保険、創生、大水、ダイソー、ダイナム、但馬信用金庫、東邦ゴム工業、富山漢方薬品、ナガト、中野製薬、日亜化学工業、日本たばこ産業、ノーバス、野口観光、ノザフ、ノジマ、久光製薬、ビッグモーター、ヒワサキグループ、ファジアーノ岡山スポーツクラブ、マイクロンメモリジャパン、丸住製紙、みやさん食品、明星産商、山口茶業、よんやく、高知県庁、京丹後市役所、丹波市役所、御坊市役所(和歌山)、高知市役所、美波町役場(徳島)、警視庁、愛知県警、静岡県公立学校教員、大阪府公立学校教員、神戸市公立学校教員、香川県公立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、北海道大学大学院、富山大学大学院、岐阜大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学大学院、兵庫教育大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、愛媛大学大学院、九州大学大学院、宮崎大学大学院、大阪市立大学大学院

地球環境防災学科 ※旧地球科学・災害科学コース

アウトソーシングテクノロジー、愛媛銀行、エルテック、キンキ地質センター、ケースグループ(ビッグ・エス)、JTB情報システム、シモハナ物流、新来島どつく、千松自動車教習所、T&D情報システム、日立ソリューションズ・クリエイト、広島信用金庫、真鍋造機、Wano、国土交通省四国地方整備局、福山市役所、沼津市役所、香美市役所、太宰府市、高知市消防局、長野県公立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、新潟大学大学院、茨城大学大学院、京都大学大学院、鳴門教育大学大学院、九州大学大学院

[一般入試 備考]

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)

利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)*「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科については『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- (2) [個別学力検査等]欄について: 出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

学科名等	学力検査等の区分・日程(募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		科目名等		教科等	科目名等
数学物理学科	数学受験	推薦入試 I (10)	大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、口頭試問を含む面接 [必須]
	理科受験	推薦入試 I (8)		その他	口頭試問を含む面接 [必須]
情報科学科	推薦入試 I (10)	その他		口頭試問を含む面接 [必須]	
生物科学科	推薦入試 I (10)	その他		口頭試問を含む面接 [必須]	
化学生命理工学科	推薦入試 I (13)	その他		口頭試問を含む面接 [必須]	
地球環境防災学科	推薦入試 I (8)	その他		口頭試問を含む面接 [必須]	

人間とその病態の中に真理を見出す

医学部

Medical School

学科・コース

医学科

看護学科

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



医学部の教育理念

医学部は、「敬天愛人」「真理の探究」という高知医科大学の建学の精神を受け継いでおり、これは「自然の摂理を敬い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にする大学人であることを目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見いだす」という教養であり、呼び掛けです。

超高齢社会を迎えた現在、地域社会が求める医療・福祉を担うためには、優れた知性や高い倫理観に加えて、豊かな感性や人間そのものに対する深い共感、自然を理解するための鋭い洞察力が必要です。また、多様な専門職の同僚たちと協力して円滑に医療を行うための協調性やリーダーシップ、生涯を通して医学・看護学を学び続ける強い向上心や探究心も求められます。高知大学医学部は、これらの能力を備え、全人的な医療が実践できる医療人の育成を目標としています。



アドミッションポリシー

医学部の教育理念に基づいて、医学・看護学を学ぶ基礎としての「人類の文化・社会・自然に関する知識」「論理的思考力」「コミュニケーション能力」および「協働実践力」を有する人材を求めます。



▶ 医学部3年 渡部伸一朗さんの第2学期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限	臨床遺伝病学総論	病理CPC演習	内科学総論	病理学実習	臨床感染症学総論
2時限	臨床免疫学アレルギー病学				薬理学
3時限	薬理学	外科学総論	基本的診療技能	臨床腫瘍学総論	臨床検査医学
4時限	地域医療学	先端医療学コースⅢ	泌尿器科学・腎尿路系	PBLⅢ/先端医療学コースⅢ	放射線医学
5時限					



▶ 医学部ホームページ <http://www.kochi-ms.ac.jp/>

先輩にきく

基礎研究と臨床をつなぐ医師に

部活は、囲碁将棋部と
ワンダーフォーゲル部。
実はコンピュータ関連で
起業もしていて、充実した日々を
送っています！

渡部 伸一朗 医学科3年(北海道 私立函館ラ・サール高校出身、社会人経験後に編入)

私はもともと大学と大学院で物理学を学び、その後一般企業に勤めていました。けれども、もっと夢のある人生を送りたいと考え、医学科2年に編入してきました。目指しているのは、これまで培ってきた物理やコンピュータの専門性を活かした、臨床医でありながら研究の視点も併せ持った医療人です。

高知大学の魅力は、何と言っても先端医療学コースの存在です。他大学では4年生以上で行う専門的な研究活動に、ここでは2年生から携わることができます。私は現在、メディカルデータマイニング研究班と麻酔科学・集中治療医学講座に所属し、附属病院の病院情報システムに蓄積されている過去35年、32万人の患者データを、麻酔科のような臨床の現場に橋渡しする研究を進めています。主な研究テーマは、患者データから薬の新しい効果を見つけることです。将来、その新たな効果から病気の予防につながる結果が出ればと思っています。これまでの研究内容を日本麻酔科学会やアメリカ麻酔科学会で発表する機会をいただきました。そこでの経験は大きな刺激となり、さらなる意欲につながりました。



アメリカ麻酔科学会にて



医学部ワンダーフォーゲル部のメンバーと

基礎と臨床をつないでいくこと、自分自身がその架け橋になることが今の私の夢です。新しい研究の先には、それを待ち望んでいる患者さんがずっといます。一つの発見が誰かの生命を救い、医療・医学の発展につながることを目指し、前に進んでいきたいです。



教員にきく

真理を探究し、人間性豊かな医療人に

本家 孝一 医学部長

あなたはどんな医療人になりたいですか？ただ成績がいいから医学部に進むのではなく、高い志をもって自分だけのプラスαを見つけ、“一味違った”医師、看護師になってほしいと思います。

本学の学びの特徴としてまず挙げられるのは、医学科2～4年生の希望者が学ぶ「先端医療学コース」です。研究の面白さと達成感を体感して、真理を探究するリサーチマインドを育てることが目的です。また、高知の地域特性を活かした学びに「家庭医療学講座」があります。これは、プライマリ・ケア(患者さんの身近にある総合的医療)を担う家庭医について地域の現場で学ぶものです。さらに「災害・救急医療学講座」では、近い将来必ず起こる南海トラフ地震に備え、災害・救急医療のシミュレーションや研究を行っています。こういった学びは、次世代の医療を担う上できっと大きな糧になります。みなさんもぜひ高知大学で学び、人間性豊かな真の医療人を目指してください。

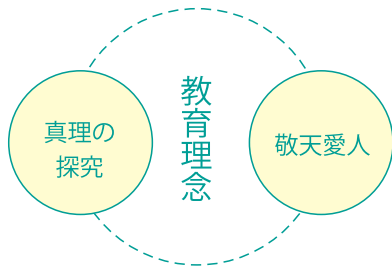


カリキュラム例

<p>医学科 6年間を通じて地域医療を学ぶカリキュラムや、PBL／先端医療学の選択コース制を導入しています。</p>	<p>看護学科 4年間を通しての看護専門職としての基礎能力の育成、学生のニーズにあわせた専門科目(保健師、養護教諭、高校看護教諭、実践能力の高い看護師)の選択制を導入しています。</p>
<p>6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。</p> <p>カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目(1年)、専門科目I[コア準備](1～4年)、専門科目II[コア科目基礎系](2～4年)、専門科目III[コア科目臨床系](3～4年)、専門科目IV[臨床実習・統合医学](5・6年)。</p> <p>さらに専門科目II～IVの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学・医療と社会、C 医学一般、D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、E 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療、F 診療の基本、G 臨床実習に分類される。</p>	<p>カリキュラムは共通教育科目と専門科目で構成される。共通教育科目は、大学生として身につけるべき基礎知識・技術を学ぶ初年次科目と各学生がある程度自由に選択できる教養科目からなる。専門科目は専門共通科目として基礎看護学、臨床看護学および地域看護学から構成され、1年生から履修を開始する。さらに保健師を目指す人は保健師養成科目を3年生から履修し、看護師の実践力育成を目指す人は看護師実践力育成科目を4年生から履修する。なお、養護教諭や高校看護教諭を目指す人はそれに必要な科目を1年生から履修する。</p>

医学科 Medical Course

高度な知識・技能を身につけた「心を診る医師」を養成する



教育理念

医学科は、前身である高知医科大学建学の精神「敬天愛人」と「真理の探究」に則り、人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけ、地域と時代の要請に柔軟に応じうる医師を養成します。

求める学生像

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション能力、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

▶ 1年生から6年生までの概要

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	医師国家試験	
教養科目							
	基礎医学・実習 解剖／病理／生理／薬理／微生物／公衆衛生／生化学／免疫／他				臨床実習後OSCE (態度・技能)		
EME 初期臨床医学体験		臨床医学 内科学総論／外科学総論／老年病学／呼吸器病学／消化器病学 内分泌・代謝学／脳神経外科学／循環器病学／血液病学／他		診療参加型臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)			
				共用試験※ CBT(知識)／OSCE(態度・技能)			

※学生の能力と適性についての一定水準を確保するために実施する全国共通の標準評価試験。この試験に合格後、臨床実習へ進む。



学びの特色

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています(EME初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、診療施設体験学習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など)。また、2～4年生の間はPBLによるグループ学習が先端医療学推進センターでの研究体験のいずれかを選択します。

地域医療学の充実

6年間を通じて実際の地域医療に触れる様々なカリキュラムが用意されています。ヒューマニズム溢れる豊かな医療人を育てます。

先端医療学研究

先端医療学推進センターを設立。研究・教育・診療を有機的に連動させたリサーチマインドを持った研究者の育成に力を入れています。

PBL学習の導入

自ら学び、問題を解決する能力を身につけるためにPBL(Problem Based Learning)を導入。少人数グループで議論し能力を研ぎます。

+α 家庭医道場

医学部

看護学科

地域の中で、患者さんのことを家族や生活も含めてよく知った上でその人の健康問題に幅広く対応し、長期的に支える医師が家庭医です。その心構えと必要な能力を学ぶため、毎年春と秋の2回、家庭医道場が開かれています。

地域医療を現場で学ぶ、熱い合宿!

道場では中山間地域や離島に出向き、地域の人々や地域医療を実践している医師と交流します。家庭医に必要な技術、コミュニケーション力を養うほか、「人を診る」という医療の本質にも触れられます。医学科・看護学科とも1年生から参加できるので、ぜひ挑戦してください!



地域と共に、医療の本質を学ぶ

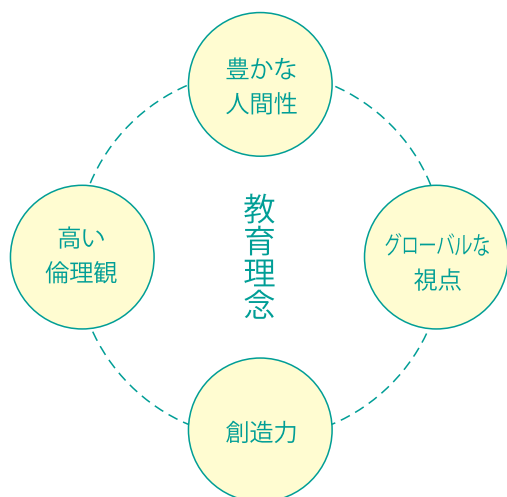
西森 友俊 医学科1年(高知県 私立土佐高校出身)



初めて参加した馬路村の道場では、楽しい中にもしっかりと学びがあり、最後には「自分がどうい医師像を描くか」を真剣に考えることができました。

2回目の梶原町の道場は、実行委員として参画。地域で何を学びたいか先生たちと議論しながら、テーマやプログラムから一緒に作っていきました。梶原町では、「防災」を切り口に地域医療を考えていきましたが、災害発生時という非日常の視点から見ることで、日常における「あたりまえの医療」や「人とのつながり」の大切さにあらためて気づかされました。1年生から6年生までの医と看護の学生、先生、地域の人と一緒に学んだ道場で、医師として一番大切なものを掴みとれたように感じています。

時代のニーズに応えられる革新力を備えた看護専門職



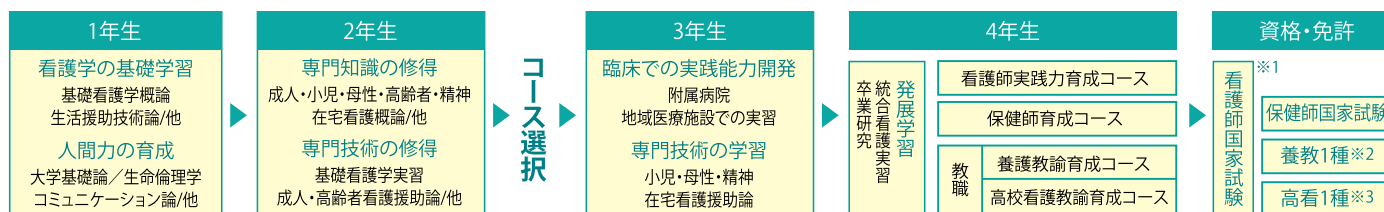
教育理念

看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏付けられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

求める学生像

看護学科では、人材養成の基盤となる以下の能力・態度を有する人材を求めます。

1. 人に関心があり人々の健康と生活を支える看護職を目指す意欲がある
2. 相手の立場に敬意を払い、コミュニケーションが取れる
3. 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる
4. 専門職として自ら学び、挑戦することができる
5. 物事を論理的に考え、自分の考えを説明できる
6. 医療・看護の理解のために必要な理数系・人文系科目の基礎学力を有する



※1: 看護師国家試験受験資格は、全員が取得できます。

※2・3: 4年生では、保健師養成科目、看護師実践能力育成科目、教職科目のどれかを選択。ただし、保健師養成科目・教職科目を履修するためには、3年生までに関連科目の修得が必要。

学びの特色

1年生から、附属病院の外来や病棟で患者さんに接する体験や看護の基礎技術を学ぶなど専門性のある授業を取り入れています。グループで協力して課題に取り組む授業、社会で必要な教養を身につける授業など、人間力を高める授業も充実しています。実習では、附属病院や地域の施設などで、先端医療から地域で求められる確かな看護実践力まで身につけることができます。卒業研究では、探究心や自分で学ぶ姿勢を養います。知識、技術は日々進歩します。自ら未知の課題に取り組むことにより、卒業後も継続して学び続ける力がつきます。4年生では自分の将来に向けて、より専門性を高めるコースが準備されています。

施設との連携体制	専門育成コース
高知大学は県内広域の多数の施設と連携体制にあります。地域看護学実習では、その地域に宿泊することで、技術と人間的な成長も望めます。	保健師育成コース、教諭(高校看護または養護)育成コース、看護師実践力育成コースの中から、目的に応じたコースを選択できます。

+α 台湾留学

医学部
看護学科

看護学科では、国立台湾大学看護学科と国際交流協定を結び、相互に交換留学生を派遣しています。本学からの留学生は、台湾の学生と共に講義や実習を受けたり、施設見学や学生間交流を持つことにより台湾の看護学教育や文化に触れることができます。

海外留学で国際看護を考える

看護基礎教育カリキュラムの中でも「国際看護」がクローズアップされ、これからの看護職にとって国際的視点は欠かせないものとなりました。「国際看護」はそれぞれの文化や考え方、生活習慣の違いを理解することから始まります。この短期留学での体験は、国際的視点から看護を考える第一歩に役立つはず。



学びの多い台湾留学

中山 真実 看護学科3年(徳島県立徳島北高校出身)



私が今回台湾留学に参加しようと思ったのはもともと海外の医療に興味を持っていたことや一度台湾を訪れたことがあったこともあり親しみを感じていたからです。一番印象に残っているのは、看護技術の授業に参加したこと。そこで台湾大学の学生が積極的に質問をしている姿やどうしたらより上手にできるか、患者さんに負担をかけずに実施できるかなど一つひとつ疑問を持ち、考えている姿を間近で見て、技術をそのまま覚えていた自分が恥ずかしくなり、「考える」「疑問を持つ」ことが技術や知識を高めていくためにもこれから実習や看護師として働く上で大切だと改めて強く感じました。

また、今回の留学を通して、現地の学生の勉学に対する姿勢や謙虚さにとっても刺激を受けました。私も負けないように、これからも一つひとつ丁寧に学びを重ねていきたいと考えています。

卒業後の進路 学部卒者の過去2年間の主な就職先・進学先です。

医学科

卒業して医師国家試験に合格したのち2年以上の臨床研修修了が義務づけられています。大学病院等の臨床研修プログラムに従い外部の病院も含め各診療科をまわって研修を行います(初期研修)。初期研修修了後はより専門性の高い修練を行いながら医師としての能力を身につけていきます。初期研修から給料が支給されます。

▶卒業者が研修を行っている高知県内の基幹型臨床研修病院

高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、高知赤十字病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、高知県立あき総合病院、近森病院、細木病院

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外の大学病院(大学名のみ)

自治医科大学、千葉大学、東京大学、東京医科歯科大学、昭和大学、慶應義塾大学、杏林大学、日本医科大学、東京慈恵会医科大学、横浜市立大学、福井大学、新潟大学、三重大学、京都大学、大阪医科大学、神戸大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、広島大学、徳島大学、九州大学、福岡大学

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外のその他の基幹型臨床研修病院(抜粋)

札幌東徳州会病院、気仙沼市立病院、会津中央病院、寿泉堂総合病院(福島)、日立製作所ひたちなか総合病院、千葉市立青葉病院、成田赤十字病院、聖路加国際病院(東京)、東京北医療センター、東京労災病院、横浜市立市民病院、伊勢原協同病院、川崎市立井田病院、沼津市立病院、伊東市民病院、名古屋記念病院、名古屋市立西部医療センター、渥美病院(愛知)、春日井市民病院、第二岡本総合病院(京都)、大阪市立総合医療センター、公立豊岡病院(兵庫)、神戸市立医療センター、神戸中央病院、甲南病院、姫路赤十字病院、岡山済生会総合病院、岡山労災病院、水島協同病院(岡山)、広島総合病院、香川県立中央病院、愛媛県立中央病院、千鳥橋病院(福岡)、飯塚病院(福岡)、沖縄県立中部病院

看護学科

■看護師

▶高知県内の病院

高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、高知県立あき総合病院、近森病院、細木病院、高知生協病院、高須病院

▶高知県外の大学病院(大学名のみ)

自治医科大学、東京大学、杏林大学、順天堂大学、東海大学、京都府立医科大学、大阪大学、大阪医科大学、近畿大学、神戸大学、兵庫医科大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、川崎医科大学、広島大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、九州大学

▶高知県外のその他の病院

市立札幌病院、土浦共同病院(茨城)、市川総合病院(東京)、立川病院(東京)、横浜労災病院、関東労災病院(神奈川)、静岡県立こども病院、静岡赤十字病院、三菱京都病院、大阪市立総合医療センター、住友病院(大阪)、国立循環器病研究センター(大阪)、牧方公済病院(大阪)、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立がんセンター、兵庫県立こども病院、神戸市民病院機構、神戸市立医療センター、兵庫県立西宮病院、西神戸医療センター、北播磨総合医療センター(兵庫)、近畿中央病院(兵庫)、兵庫県病院、明石市立市民病院、岡山市立市民病院、倉敷中央病院、鳥取県立中央病院、県立広島病院、マツダ株式会社マツダ病院(広島)、広島市民病院、呉共済病院、徳島赤十字病院、香川県立中央病院、四国がんセンター(愛媛)、愛媛県立病院、北九州市立八幡病院、佐世保中央病院、大分県立病院、鹿児島市立病院

■保健師

高知県、奈良県、滋賀県、山口県、高知市、香美市、香南市、宿毛市、室戸市、宝塚市、岡山市、宇和島市、中土佐町(高知)、いの町(高知)、佐川町(高知)、本山町(高知)、琴平町(香川)、伊方町(愛媛)、日之影町(宮崎)、大川村(高知)、四国電力株式会社、成仁病院(東京)

■養護教諭(非常勤、臨時講師を含む) 高知県、島根県、広島県、島根県、山口県、徳島県、福岡県、長崎県、名古屋市、尾道市、かつらぎ町(和歌山)

■保育士 社会福祉法人いずみ保育園(徳島)

■大学院等進学先 高知大学大学院看護学専攻、高知県立大学大学院、日本赤十字社助産学校(東京)、名古屋大学大学院、神戸医療福祉専門学校、岡山大学教育学部養護教諭特別別科、岡山大学教育学研究科、島根県立大学別科助産学専攻、県立広島大学助産学専攻科、穴吹リハビリテーションカレッジ理学療法学科(香川)、愛媛県立医療技術大学助産学専攻科

※医学部医学科入学者の方を対象に「高知県医師養成奨学金貸付制度」があります。

なお一般入試「地域枠」及び推薦入試Ⅱ「四国・瀬戸内地域枠」での入学者は、本制度の貸与申請を行うことを原則としています。詳細については、学生募集要項及び高知県ホームページの健康政策部医師確保・育成支援課の「医学生・研修医への貸付金」サイトから「高知県医師養成奨学金貸付金等制度のご案内(pdf)」をご覧ください。

[一般入試 備考]

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)

利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科については『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- (2) [個別学力検査等]欄については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試 (大学入試センター試験の利用教科・科目名)欄については、一般入試「備考」を参照のこと。※医学科推薦入試Ⅱは「四国・瀬戸内地域枠(四国4県と兵庫県、岡山県、広島県、山口県の高専出身者)」として募集する。

学科名等	区分 学力 検査等 の 日程 (募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名																	個別学力検査等												
		国語	地理歴史・公民					数学					理科				外国語			教科等	科目名等										
		国語 科目数	世 A	世 B	日 A	日 B	地理 A	地理 B	倫理	政 経	科目 数	数 I A	数 II B	簿 記 会 計	科目 数	物理 基礎	化学 基礎	地学 基礎	物理	生物	地学	科目 数	英語	独 語	仏 語	中国 語	韓国 語	科目 数	その他	面接	〔必須〕
医学科	推薦入試Ⅱ(15)	5教科7科目	●	1	○	○	○			○	1	●	●		2				○	○	○	2	●				1	その他	面接	〔必須〕	
看護学科	推薦入試Ⅰ(25)	大学入試センター試験は課さない																	その他	総合問題、面接	〔必須〕										

※医学科推薦入試Ⅱの募集人員は、20人となるよう現在調整中です。確定次第、本学ホームページに掲載します。

人と自然が共存していく道を探求する

農林海洋科学部

Faculty of Agriculture and Marine Science

学科・コース

農林資源環境科学科

暖地農学領域

自然環境学領域

森林科学領域

生産環境管理学領域

農芸化学科

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

海底資源環境学コース

海洋生命科学コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



農学部は、農林海洋科学部へ

国の施策、高知県の産業振興計画として生産現場の強化、農畜産物の高付加価値化、中山間地域対策の強化等が挙げられています。また、国の「海洋基本計画」等では、地域間あるいは国際間で天然資源の維持管理に必要な基礎的知識を有する海洋人材の育成が強く求められています。

このような課題に対応するため、農林海洋科学部では、農林資源環境科学科、農芸化学科、海洋資源科学科の3学科体制により、農学・海洋科学分野のバックグラウンドとなる専門的知識をもって、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材を育成します。また、特別教育プログラムとして、国際協働特別プログラム及び農山漁村地域連携プログラムによる分野横断的教育が実施できる体制の再構築もあわせて行います。

▶ 海洋資源科学科海底資源環境学コースの2年生第1学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限	海底地形処理	地球科学概論	課題探求実践セミナー		水産学概論
2時限	水質学		分析化学概論		
3時限	海洋情報化学		学生実験		
4時限	海底資源岩石鉱物学	海洋基礎生態学	地学基礎実験 海底資源学演習(地学)		
5時限		物理学概論		化学概論	

～平成27年度

農学部

農学科

- 暖地農学コース
- 海洋生物生産学コース
- 食料科学コース
- 生命化学コース
- 自然環境学コース
- 流域環境工学コース
- 森林科学コース
- 国際支援学コース

平成28年度～

農林海洋科学部

農林資源環境科学科

農芸化学科

海洋資源科学科



▶ 農林海洋科学部ホームページ
<http://www.kochi-u.ac.jp/agrimar/>



先輩にきく

自然や動物に囲まれて、のびのび学べる!

研究室と畜舎や農場は、
ダッシュで1分。
こんな近い現場を持つのは
高知大学だけ!

岩佐 茜 農学部4年(群馬県立中之条高校出身)

高校時代、生物生産科の動物コースで学んでいた私。大きい動物がとにかく好きで、土佐あかうしのいる高知大学に来ました。高知の第一印象は、ヤシの木!そして、群馬にはない美しい海!休みにはよく遊びに行っています。

農林海洋科学部では、入学後すぐの1年生から海、山、川などの自然の現場を体験するフィールドサイエンス実習があります。盛りだくさんの楽しい授業で、なかでも私はカツオのたたきを作って食べたのが印象的でした(笑)。また、研究室の配属は3年生第2学期からですが、その前に自由にいろんな研究室を見て回れます。いろんな分野を体験しながら、やりたいことを絞っていきけるのも高知大学の魅力です。



土佐あかうしは、気性が穏やかでかわいい!
お話の後のコーヒータイムも癒しの時間でした。

さて、私が所属する家畜飼養管理学研究室、通称“あかうし研”は、毎朝、隣接する畜舎の牛のお世話からスタートします。畜舎管理の後は、ラボでの研究。私は、高知特産の柚子果汁を絞った後の皮を飼料に混ぜて肉質をよくした「柚子だっこ」というブランドの開発チームに入っており、柚子果皮の効果を調べるための採血・分析をしたり、出荷後の肉質検査をしたりしています。実はこの「柚子だっこ」、高知大学初のクラウドファンディング*を取り入れた研究でもあり、そのグッズデザインを自分たちでやったりと、とても幅広い経験ができています。みなさん、ぜひ高知と一緒に学びませんか?

*インターネット経由での資金調達



教員にきく

陸から海までの地球資源の活用法を探る

尾形 凡生 農林海洋科学部長

高校生のみならず!平成28年に生まれた私たちの農林海洋科学部は、それまでの農学をパワーアップさせ、かつ海の学びの幅を広げた、全国どころか世界でも例を見ない新しい学部です。

農学は、地球に降り注ぐ太陽エネルギーを生物のちからで人間が利用できる資源に変え、その資源の効率的獲得・利用方法をあみだすことで人のいのちとくらしを支えてきた科学分野です。これまで海の資源というと魚だけがイメージされがちでしたが、実は海は、海底の鉱物や海中の微生物など有用な資源の宝庫であり、今その活用・管理ができる人材の確保が急がれています。また陸の資源についても、人をとりまく自然環境との共存や、化学を切り口にした農芸化学の生命科学全般への展開など、新時代の産業科学への期待が急速に高まっています。私たちの学部ではこうした社会ニーズに対応した学びを、みなさんに提供していきます。

農林海洋科学を学ぶ格好のフィールドである山・川・海に近いのが高知大学の何よりの取り柄です。学部全領域を体験するフィールドサイエンス実習や、国際協働特別プログラム、農山漁村地域連携プログラムなど、体験型の学びも充実!ぜひ一緒に新しい世界に挑みませんか?



カリキュラム例 1年次は、一般的な教養科目のほか、農林海洋科学部の全教員が総動員で担当する山・川・農地・海での現場体験型授業「フィールドサイエンス実習」が必須となります。

農林資源環境科学科	農芸化学科	海洋資源科学科
<p>■学科共通</p> <p>農林資源環境科学基礎実習、水資源学、植物生育学、物理学概論、生態学、統計学、現代応用生物科学</p> <p>■暖地農学領域</p> <p>農場実習、暖地園芸学概論、動物生産学概論、農業経営学、食用作物学、植物育種学、施設生産学概論、花卉園芸学、果樹園芸学、家畜管理学、蔬菜園芸学、農山村資源利用論、熱帯園芸学、環境保全農業論、植物栄養学、食品流通論</p> <p>■自然環境学領域</p> <p>自然環境学実習、地域生態学、昆虫学、生物環境システム学、魚類生態学、熱帯環境論、動物生態学、施設生産システム学、生物多様性管理学、農業気象学、植物機能科学、農業化学、植物微生物相互作用論</p> <p>■森林科学領域</p> <p>森林生産技術実習、森林マネジメント論、森林資源環境利用学、地理情報システム学、木質成分化学、森林生態学、木材利用学実習、森林経済学、森林土木学、樹木学実習、樹病学、木質材料工学、山地測量設計実習、森林保護学、林産製造学</p> <p>■生産環境管理学領域</p> <p>土壌物理学、環境デザイン、水理学、環境水質学、測量学、地域協働インターンシップ、制水施設工学、土質力学、構造力学、地域環境管理学、食料品質評価学、生産環境管理学、農地環境保全学、食料生産プロセス学</p>	<p>農芸化学概論、植物資源科学、無機化学、微生物学、食品生化学、基礎分析化学、土壌学、基礎有機化学、生物化学、食品化学、植物感染病学、動物生産・繁殖学、土壌環境科学、植物栄養学、有機化学、植物細菌学、動物発生工学、食品分析学、代謝生化学、応用微生物学、微生物生理学、植物生産環境学、農産物利用学、食品保存学、生理活性物質化学、植物微生物相互作用論、栄養化学、微生物遺伝子工学、食品衛生学、土壌微生物生態学、生体高分子化学、生物環境分析学、植物医学概論、フードビジネス概論</p>	<p>■学科共通</p> <p>海洋科学概論、水質学、海洋観光論、海洋基礎生態学、台形形成学、科学英語コミュニケーション</p> <p>■海洋生物生産学コース</p> <p>水産生物学、沿岸環境学、魚類生理学、魚病学、水産物利用学、環境微生物工学、水産化学、水産増殖学、水産遺伝学、育種学、魚類防疫学、水産環境学、魚類栄養飼料学、水産物品質管理学、水産資源学、水産食品原料学、水産法規学</p> <p>■海底資源環境学コース</p> <p>海底地形処理、海底資源岩石鉱物学、海洋情報化学、海底資源学、資源探査学特論、流体力学、水圏地球化学、地球年代学、資源分析化学、現場化学計測、海洋環境アセスメント学、海底資源物性学、地球物質循環学、海底資源地質学</p> <p>■海洋生命科学コース</p> <p>海洋生物生理・生態学、海洋深層水科学、社会栄養学、分子細胞生物学、天然物有機化学、天然物医薬品化学、海洋進化生態学、ハイオインフォームアティクス、海洋天然物化学、活性発現機構、生物有機化学、機器分析学、医薬関連法規</p>

農林海洋科学部 Faculty of Agriculture and Marine Science

教育理念

山から海までの広範なフィールドを有する高知県のメリットを最大限活かして、「人と環境が適切な共生関係を保ちながら持続的発展する未来社会」の構築に貢献できる意欲ある人材を育成します。

農学・海洋科学分野の専門的知識や実践的技術、及び豊かな教養を身につけて、ものごとを広い視野から科学的に捉えることができ、課題発見能力、自律的な問題解決能力、さらには世界に向けての発信能力を備えた人材を育てます。

学びの特色

- 必修の「フィールドサイエンス実習」をはじめとする多くの実験・実習科目を履修でき、経験と実践力を身につけることができます。
- 「基盤科目」、「応用科目」、「発展科目」の区分に分けられた専門科目を、体系的に効率よく学ぶことができます。

求める人材像

- 農学・海洋科学の専門知識を修得するために必要となる高校履修教科の基礎的事項を身につけている人。
- ものごとを客観的に捉えることができ、科学的・論理的に判断することのできる人。
- 農学・海洋科学に強い関心を持ち、意欲的、かつ真摯に学ぶことのできる人。
- 自分の考えを、言葉や図表を適切に用いて正確に伝えることの基礎が身についている人。

実物に勝るものなし —— 高知を体験する フィールドサイエンス実習	国際協働と地域社会について さらに深く学ぶ —— 学部横断型プログラム
体験的コンテンツを盛りだくさんに組み合わせた「フィールドサイエンス実習」を学部新入生全員が履修します。高知県で学ぶことのメリットを強く実感できます。	地域社会、国際社会の持つ諸課題に取り組む能力を養う「国際協働特別プログラム」や「農山漁村地域連携プログラム」を、どの学科の学生でも履修することができます。
 農林資源環境科学	 農芸化学
 海洋資源科学	 

農林資源環境科学科 Department of Agriculture, Forestry, Bioresource and Environmental Sciences

農的ものづくりと環境との持続的調和を担う

農林資源環境科学科では「農業、林業とそれをとりまく生産環境」や「人と自然環境の共生」、さらにこれらの勉学・研究に必要な「バイオテクノロジー」に興味を持つ学生を広く受け入れ、農学関連分野に関わる諸課題を自律的に解決できる人材を育成します。1年次～2年次前半で農学の基礎を幅広く学び、2年次後半から「暖地農学」「自然環境学」「森林科学」「生産環境管理学」の4領域から主専攻・副専攻を各1領域ずつ選択し、3年次以降は産業や資格に対応した専門性を養います。また、生産環境管理学領域ではJABEE認定のカリキュラムコースが準備され、卒業と同時に技術士補相当の修習技術者の資格が取得できます。



暖地農学領域	自然環境学領域	森林科学領域	生産環境管理学領域
太陽の恵み豊かな高知で農学を学ぶ 高知県には、急峻で狭隘な地形の不利を克服するために、温暖多照な気候を活かして、工夫ある農業を営んできた長い歴史があります。農作物の生産技術の開発、高度な環境調節・遺伝的改良など、世界に発信できる農学を高知で学びませんか？	生命と自然の未来地図を描く。 様々な問題が複雑に絡み合う地球。これからは、深い専門知識と生態系を地球規模からマイクロレベルまで様々なスケールで総合的に理解する人材が求められます。自然環境と人間の共生について考え、豊かな生態系を次世代に引き継ぐことのできる人材の育成を目指します。	都市を支え、海を恵む森林の可能性に迫る。 森林は、地球の二酸化炭素の循環を担い、海に養分を供給しています。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理・資源の高度利用を目指し、亜熱帯から亜寒帯まで多様な森林植生に恵まれた高知で、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。	産業・人・自然にとつての「真の豊かさ」を評価する。 稲作は、一次産業の場でありながら、流れ込んだ濁水を浄化・排水する自然浄化機能を持っています。農業の生産基盤や人々の生活空間を整備するとともに、それに伴う環境の改変を考えることはとても大切です。森～農地～まち～沿岸域の環境の保全・修復の理念と技術を学びましょう。

化学的視点から生物生産を幅広く探求する

農芸化学科では、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、安全な食料生産と健康増進、環境保全と修復、生物生態系等を多面的に理解するために必要となる知識と技術を修得し、それらを活かした社会貢献の新たな道筋を創造する力や構想力を育み、化学的視点から生物生産を幅広く探究でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる技術者・研究者を育成します。



生物環境化学科目群

汚染土壌の浄化など
土壌環境の保全に
地球規模で取り組む!

「植物栄養学」、「土壌環境科学」、「植物生育環境学」など、生物の生命活動を支える土壌環境や土壌-植物系における物質動態に関する基礎知識と、植物の養分吸収機構、土壌環境の保全と修復、生物生態系などについて多面的に学びます。

動植物健康化学科目群

植物・動物・ヒトの健康を守る
安全・安心の実現!

「植物細菌学」、「動物発生工学」、「生理活性物質化学」、「食品分析学」など、植物・動物・ヒトの健康、生物が生産する有用物質、安全な食料生産と健康増進と、食料生産への応用について幅広く学びます。

微生物化学科目群

微生物は多彩な産業に
大きな可能性を与える
永遠の資源!

「応用微生物学」、「代謝生化学」及び「微生物遺伝子工学」など、有用微生物の育種と産業利用、生命機能分子の開発と応用、微生物機能の食料生産への利用について学びます。

海洋資源科学科

Department of Marine Resource Science

水産・海洋資源の有効利用で新時代を拓く

海洋生物生産学コース・海底資源環境学コース・海洋生命科学コースの3コース制。「海」を知る、「海」を使う、「海」を護る」ことに興味のある学生を広く受け入れ、分野横断的な科目として海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身につけさせるとともに、海に面した高知県の地理的優位性を最大限に活かし、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命科学に関する専門的な知識を併せもった実践力のある海洋専門人材の育成を目指します。



海洋生物生産学コース

海の恵み、生命の息吹。
ここが黒潮の最前線。

黒潮に洗われる土佐の海。
荒々しくも澄みきった海流と山野の自然が出会うこの豊かな水域で、健康で安全な魚介類をつくり育てます。食料問題を解決する上で海洋生物は大きな可能性を持つ資源。そこで、生態、環境、病理、栄養など様々な角度から海の保全と生物資源の持続的生産・利用を研究します。

海底資源環境学コース

太平洋に眠る次世代の資源を、
太平洋を望むココ(高知)で学ぶ。

次世代の産業を担う海底資源——。
その開発に向けては、資源の成因論や、回収・利用技術の開発、環境モニタリングなど、要素技術の研究開発が今まさに進行中。
私たちは“過去を知り(資源学)、今を学び(化学利用)、未来を予測する(環境モニタリング)”、そんな人材を育てます。

海洋生命科学コース

海からの贈り物。
海の生き物は薬の宝庫。

海洋と医薬・医療は一見かけ離れたものと思われませんが、海洋生物・微生物から医薬品が開発され治療に用いられているのです。干潟のちっぽけな生き物が、実は宝の山だつたりするかも!?当コースでは、海洋生物・化学・医薬に関する専門知識と技術の習得及び専門英語教育を通じて、国際社会でも活躍できる海洋生命科学人材の育成を目指します。



+α 数々の学会賞受賞! 「納豆ネバネバ」の研究とは

▶ 詳しい研究内容はHPから

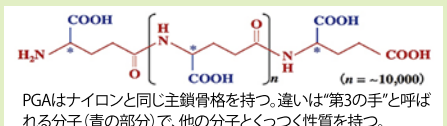


農
林
海
洋
科
学
部



白米優一 愛媛大学大学院連合農学研究科(高知大学配属) 博士課程1年(広島県立三原高校出身)

納豆のネバネバ成分ポリ-γ-グルタミン酸(PGA)は、次世代材料のエース。僕はこのPGAを産業に不可欠なレアメタルの回収に利用する研究を行いました。現在使われている回収材ポリアクリル酸(PAC)は、原材料を石油に依存しているため環境への影響が懸念されます。けれどPGAは天然素材で、かつPACよりも優れた吸着能を備えていました。しかも温度を変えるだけで様々なレアメタルを選択的に回収できる可能性が示唆されています(今回はガリウム(Ga)とインジウム(In)を実験)。このPGAに関する特許を持つのが本学部の芦内研究室。僕も先生のもと学んでいます。興味がある人はぜひ訪ねて来てください。歓迎します!



Voice! 内定者の声



神坂 愛理奈 (岡山県立瀬戸高校出身)

株式会社フェニクスバイオ 大学院総合人間自然科学研究科(農学専攻)平成28年度修了

大学で学ぶ時間は、長いようであっという間です。これから大学生になるみなさんには、今を大事にし、成長のチャンスを逃さないでほしいと願っています。

私は学部から大学院に進学し、乳酸菌や酵母由来の多糖類β-グルカンを使って動物の健康改善に貢献する研究を続けてきました。実験ではこれらを含むペットフードを飼い犬に与え、便の中の細菌の数やアンモニア濃度などからその機能性を実証しました。研究室の人脈のおかげで動物病院や企業の協力を得て臨床実験ができたこと、先輩の真似ではなく自分のオリジナリティを出して研究デザインできたことなど、充実した研究生活だったと感じています。

また、私は研究以外にも、趣味の英会話を活かして外国人に日本語を教えるボランティアや、英語でのスピーチとリーダーシップを学ぶ活動などに挑戦してきました。大学の中だけでは得られない出会いがありましたね。

就職活動では、研究経験と英語力の両方を活かせることを第一に会社を探しました。学部・大学院を通じての研究はもちろん、やってきたこと全てが自分のアピールポイントになりました。将来は、内定先企業の海外支社で管理職について、グローバルに人材を活かす仕事をするのが目標。会社や社会に貢献できるように、がんばります。

インターンシップにも、積極的に参加！
食品系と教育系の企業を体験し、視野を広げました



3年生の冬からボランティアで、高知県に来た外国人に日本語を指導

取得できる資格等

農林資源環境科学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科・農業)、学芸員、測量士補、樹木医補、森林情報士2級、JABEE認定修習技術者

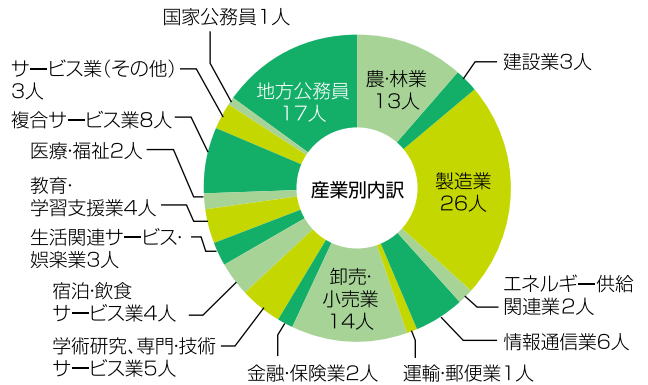
農芸化学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科)、学芸員、食品衛生監視員〔任用資格〕、食品衛生管理者〔任用資格〕、環境衛生監視員〔任用資格〕、食品衛生責任者、飼料製造責任者、毒物劇物取扱責任者〔任用資格〕

海洋資源科学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科・水産)、学芸員

就職データ 2016年3月卒業生



平成30年度

入学者選抜の実施教科・科目等について

●は必須科目を表す。

○は選択必須科目(その教科は必須で教科内に選択科目がある)を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

一般入試

学科名等	区分 日程 学力検査等の 種別	教科・科目数	大学入試センター試験の利用教科・科目名																	個別学力検査等															
			国語	地理歴史・公民						数学				理科				外国語			教科等	科目名等 〔 〕は受験の選択・必須や 必要科目数など													
			科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫政経	科目数	数I	数II	数II B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	地学基礎	物理	生物	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数			
農林資源環境科学科	前期(50)	4教科5科目又は4教科6科目	●	1											○	○			2	○ ○	又は	○ ○	1	1	2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文	(必須)	
	後期(12)	4教科5科目又は4教科6科目	●	1											○	○			2	○ ○	又は	○ ○	1	1	2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文	(必須)	
農芸化学科	前期(35)	3教科4科目又は3教科5科目													○	○			2	○ ○	又は	○ ○	1	1	2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文	(必須)	
	後期(5)	4教科5科目又は4教科6科目	●	1											○	○			2	○ ○	又は	○ ○	1	1	2	○	○	○	○	○	1	その他	面接	(必須)	
海洋資源科学科	前期(18)	4教科5科目又は4教科6科目	●	1											○	○			2	○ ○	又は	○ ○	1	1	2	○	○	○	○	○	1	その他	面接	(必須)	
	前期(9)	4教科6科目又は4教科7科目	●	1											○	○			2	○ ○	並びに又は	○ ○	1~2	2~3	2	○	○	○	○	○	1	理	<理科>化学基礎・化学・地学基礎・地学から1科目(1科目を選択必須)		
	前期(14)	5教科6科目又は5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		1	2	○ ○	又は	○ ○	1	1	2	○	○	○	○	○	1	理	<理科>化学基礎・化学・生物基礎・生物から1科目(1科目を選択必須)	
	後期(7)	4教科5科目又は4教科6科目	●	1											○	○			2	○ ○	又は	○ ○	1	1	2	○	○	○	○	○	1	その他	面接	(必須)	

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

農林資源環境科学科 ※旧暖地農学コース・自然環境学コース・流域環境工学コース・森林科学コース・国際支援学コース

アーサーアグリ、アイオ、青木松風庵、アステラス製薬、荒木造園設計、阿波銀行、一保堂茶舗、医療システムズ、JAえひめ中央、院庄林業、馬路村農業協同組合、オオキファーム、大田花き、香川証券、カツヤマキカイ、カネコ種苗、鞆工房山本、川渕牧場、久保アグリファームアルトピアノ、くらコーポレーション、倉敷化工、高知銀行、高知県園芸農業組合連合会、高知県森林組合連合会、高知県土地改良事業団体連合会、神戸屋、ゴールドフラッグ、コスモス薬品、国華園、サタケ、シーアイ化成、シージーシージャパン、JA淡路日の出、JA香川県、JA紀北かわかみ、JA高知中央会、JAコスモス、JAさが、JA静岡経済連、JA兵庫南、JA宮崎経済連、敷島製パン、四国銀行、スターゼン、スミフル、関、大信産業、竹内園芸、チカミルテック、つくで高原農場、T&Tナーサリー、東亜建設技術、トーヨ、ときわ、ドンク、那須高原自然学校、西垣林業、日象化学、日本植生、日本森林林業振興会、日本生態系協会、日本郵便、バイオフォーム、ひまわり乳業、平田ナーサリー、平林金属、ヒロコンフーズ、ベルグアース、星野リゾート、マルウ接着、マルキョウ、丸和林業、みさき公園動物園、水島合金鉄、モンベル、岡山県南部水道企業団、岡山県庁、高知県庁、呉市役所、高松市役所、松山市役所、四国中央市役所、高知市役所、南国市役所、安芸市役所

▶大学院進学先 高知大学大学院、東京大学大学院、東京農工大学大学院、奈良先端科学技術大学院、鳴門教育大学大学院、佐賀大学大学院

農芸化学科 ※旧生命化学コース、食料科学コース

安芸水産、あさの、旭テクノプラント、新井産業、あわしま堂、イシイ、伊丹産業、馬路村農業協同組合、えがお、エスフーズ、オイシス、大田花き、太田油脂、大場上下水道設計、オカベ、岡山木村屋、絹谷産婦人科、高知銀行、山崎技研、サンラヴィアン、JA高知中央会、JA全農、四国八洲薬品、自重堂、西尾歯科医院、庄司酒店、大信産業、大水、タカキベーカーリー、とくしま生協、日亜化学工業、日本ゼネラルフード、ハタダ、ファーストフーズ名古屋、不二製油、プレひまわり、ヘンミ、松屋フーズ、マネジメントソリューションズ、明星産商、山崎製パン、やまひろ、やまやコミュニケーションズ、ライセンスアカデミー、岡山県庁、島根県庁、徳島県庁、高知市役所、綾川町役場(香川)、大阪府公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、名古屋大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、鳴門教育大学大学院

海洋資源科学科 ※旧海洋生物生産学コース、理学部応用化学コース、地球科学コース

安岐水産、鹿鹿水族館GAO、香川県漁業協同組合連合会、加寿翁コーポレーション、キョーリン、極洋、廣記商行、湖山医療福祉グループ医療法人社団藤友五幸会、貞光食糧工業、サンテック、ジェイリース、シオノギ総合サービス、就実学園、須磨海浜水族園、セリオ、大起水産、但馬信用金庫、天満屋ストア、日本ハム西販売、ノヴィル、NOSAI岡山、NOSAI高知、ハウステック、ホテイフーズ、マーベリック、マリオンパレス、モラブ阪神工業、ヤナセ高知支店、山崎技研、ライドオン・エクスプレス、高知県庁

▶大学院進学先 高知大学大学院、九州大学大学院

〔一般入試 備考〕

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)

利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- (2) [個別学力検査等]欄について: 出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試、AO(アドミッションズ・オフィス)入試 [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、「入学者選抜に関する要項」を参照のこと。

学科名等	区分 学力検査等 の 日程 (募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名																	個別学力検査等																		
		教科・科目数	国語	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	理経	倫・政経	科目数	数I	数II	簿記	情報	科目数	物理基礎	生物基礎	物理基礎	化学	地学	生物	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数	教科等	科目名等 〔 〕は受験の 選択・必須や 必要科目数など				
農林資源環境科学科	暖地農学 主専攻領域	推薦入試Ⅱ (4)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1													1	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	その他	小論文、面接 (必須)	
		推薦入試Ⅰ(2)	大学入試センター試験は課さない																	その他	口頭試験を含む面接(必須)																
	自然環境学 主専攻領域	推薦入試Ⅱ (3)	4教科6科目又は 4教科7科目	●	1														1	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	その他	面接 (必須)
		AO入試Ⅰ(3)	大学入試センター試験は課さない																	その他	第1次:出題書類による選抜(必須) 第2次:授業及び口頭試験を含む 面接(必須)																
	森林科学 主専攻領域	推薦入試Ⅱ (一般推薦)(5) (専門推薦)(1)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1														1	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	その他	小論文、面接 (必須)
		推薦入試Ⅰ(2)	大学入試センター試験は課さない																	その他	口頭試験を含む面接(必須)																
生産環境 管理学 主専攻領域	推薦入試Ⅱ (4)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1														1	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	その他	面接 (必須)	
	推薦入試Ⅰ(4)	大学入試センター試験は課さない																	その他	口頭試験を含む面接(必須)																	
農芸化学科	推薦入試Ⅱ (5)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1														1	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	その他	小論文、面接 (必須)	
海洋資源科学科	海洋生物 生産学コース	推薦入試Ⅱ (一般推薦)(6) (専門推薦)(2)	4教科4科目又は 4教科5科目	●	1													1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	その他	面接 (必須)	
	海底資源 環境学コース	推薦入試Ⅱ (5)	4教科6科目又は 4教科7科目	●	1													1	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	その他	面接 (必須)	
	海洋生命 科学コース	推薦入試Ⅱ (4)	5教科6科目又は 5教科7科目	●	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	その他	面接 (必須)	

地域で学び、地域の未来をひらくリーダーになる

地域協働学部

Faculty of Regional Collaboration

学科・コース

地域協働学科

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
▶詳しくは90ページ



アドミッションポリシー

地域協働学部は、地域理解力、企画立案力、協働実践力という3つの知識・能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見・分析・統合し、産業の分野や領域の壁を越えて人や組織などの協働を創出でき、卒業後即戦力として活躍できる「地域協働型産業人材（6次産業化人、地域協働リーダー）」を養成します。



▶ 地域協働学科1年 土居大河さんの第2学期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限	非営利組織経営基礎演習			質的調査法	知識組織論
2時限	学問基礎論			大学英語入門	スポーツを通じた地域貢献
3時限	大学英語入門				
4時限		地域理解実習		川と人との生活誌	企画立案事業計画基礎演習
5時限				地域協働研究I	

▶ 地域協働学部ホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/rc/>





先輩にきく

地域と大学を行き来して学ぶ楽しさ

グループワークが多いのも、地域協働学部の特徴。仲間同士、関わる時間も多いため、すごく仲良くなれます！

土居 大河 地域協働学科1年(高知県立岡豊高校出身)

地域協働学部の学びは、他の学部とはちょっと違ってしています。入学直後の1年生4月から、いきなり「学外実習」がスタート！高知県内のいろいろな場所に出かけていきます。もちろんただ出ていくだけではなく、実習前には訪問先の下調べや仮説を設定する「事前学習」が、実習後にはその振り返りや検証をする「事後学習」が



セットになっています。毎回レポートもあるので、大学生活は想像していた以上に忙しい…(笑)。けれど、何より楽しいし、行政・企業・地域の人など様々な立場や考えを持った人に出会ったり、いろいろな価値観に触れたりできます。



僕が今、関わっている地域は、香南市の西川地区です。「集落活動センターの運営を住民主体で行う」というテーマに対して、課題の掘り起こしやその解決に向けた活動を行っています。これは、単にセンターをうまく運営するというだけでなく、それを通して地域のつながりや住民力を再生することが大きな目的。そこをしっかりと頭に置いて、地域の人たちの本音に耳を傾け、信頼関係を築き、人と人をつないでいきたいと思っています。

香南市西川地区での現地実習の様子。1年生第2学期は、「地域を知る」をテーマに様々な方たちの授業を行った。

受験生のみなさん、「人と関わるのが好き」「地元愛がある」「地域や社会を変えていきたい」——こんな思いを持っているならぜひ、地域協働学部に来てください。一緒に協働できる仲間を、僕たちも先生たちも地域の人もここで待っています！



教員にきく

「協働」のサイクルを回そう！

大槻 知史 准教授

地域協働学部では正課の実習として1年生から様々な地域に関わります。その時間は半期で60コマ。実際に地域に入る「学外実習」に加えて学内での「事前・事後学習」を行い、体験するだけでなく「考える」ことにも多くの時間を費やします。とはいえ、地域協働の学びは、このカリキュラムを受けていれば自動的に習得できるわけではありません。学びの姿勢を転換する——受け身や義務感ではなく、「自分から学ぶぞ!」というスイッチを入れることが必要です。スイッチが入れば、正課の授業だけでなく課外のプロジェクトやサークル、アルバイトといった他の活動にも、授業で得たやり方や考え方が波及していきます。そういうサイクルが回っていくことこそが、「協働」の大事な意義。サイクルを回しながら地域のためにできることを自分たちで考え、地域を巻き込みながら実行していった先に、地域の未来とあなたの未来があるはず。ぜひ、覚悟を持って地域協働学部に入ってきてください。私たちは、あなたのやる気を待っています！



カリキュラム例

地域協働学科

- 講義科目 地域協働論、地域組織論、産業論、地域社会学概論、組織学習論、地域計画論、非営利組織マネジメント論、経営組織論、地域資源管理論、行政論、会計学概論、社会教育論、起業・経営実務講座、行政実務講座、金融・税務実務講座、実践情報処理、経済学入門、地域デザイン論、フードビジネス論、六次産業化論、農業振興論、地域産業政策論、国際ビジネス展開論、食品生化学、森林経営学、地域産業連関論、中心市街地活性化論、国際農林水産物市場論、生涯学習論、地域スポーツ振興論、環境社会学、ダンス、地域スポーツ社会学、地域福祉論、コミュニティ振興論、地域防災論、比較地域社会論、地域生活と女性、ソーシャルキャピタル論、非営利組織論、環境文化論、家庭経営学
- 演習科目 プロジェクトマネジメント演習、地域協働マネジメント演習、地域協働研究、地域協働実践・卒業研究、外国語特別演習、海外特別演習
- 実習科目 地域理解実習、地域協働企画立案実習、事業企画プロジェクト実習、地域協働マネジメント実習、教えるプロジェクト実習

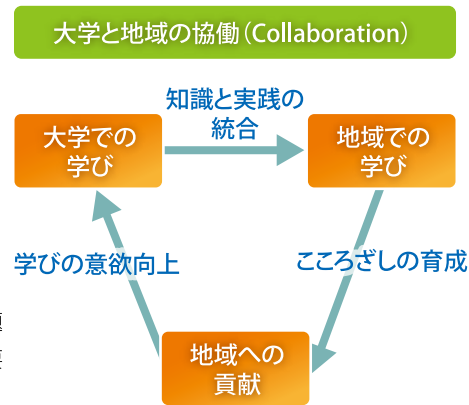
地域協働学科 Department of Regional Collaboration

うみ・やま・むら・まちをフィールドに地域とともに課題を解決する力を養う

地域協働学部での成長サイクル

様々な地域との本気の協働を通じて、4年間を通じた「大学での学び」「地域での学び」「地域への貢献」のサイクルを実践。

地域の未来をひらくリーダーに欠かせない「生きた技能・知識・考え方」を育むための「知識と実践の統合」「こころざしの育成」「学びの意欲向上」を図ります。



教育理念

高知県各地の農山漁村やまちをフィールドに、その地域との継続的な協働を通じて地域の課題を共感的に理解し、改善に取り組みます。豊富な学外実習に加えて、実習の振り返りと実習に必要な専門知識の獲得を重視し、地域の課題を解決するための「知識」と「経験」の統合を図ります。

目指す人材像 地域協働マネジメントに必要な3つの力(地域理解力、企画立案力、協働実践力)を身につけた「地域協働型産業人材」を育てます。



人材育成プロセス

学年ごとの積み上げ型の教育プログラムで「地域協働型産業人材」に必要な能力を着実に育成します。学年末の学習成果報告会では、企業経営者、社会起業家、NPO職員など社会や地域の第一線で活躍する人たちのアドバイスももらいながら、1年間の学習成果を整理します。

1

1年生

目標 地域理解力を身につける

2

2年生

目標 企画立案力を身につける

3

3年生

目標 協働実践力を身につける

4

4年生

目標 地域協働マネジメント力の統合・深化

第1学期	第2学期
地域協働企画立案実習 地域課題を探し出し、地域資源を活かした企画をつくる実習を行います。「地域理解力」を身につけるとともに、アイデアを発想し形にする事で、「企画立案力」の基礎を固めます。	事業企画プロジェクト実習 地域資源の商品化に向けた事業計画づくりのプロジェクトを実施します。商品開発する力、事業を計画する力を育て、「企画立案力」を発展させます。
地域協働研究 II	

第1学期	第2学期
地域協働マネジメント実習 2年生までに身につけた能力や知識・技法を活かして事業計画を実施し、その点検評価を行います。やり抜く力とリーダーシップを育て、「協働実践力」の基礎を固めます。また活動を客観的に評価する力を固めます。	教えるプロジェクト実習 実践した事業の結果を地域の人と一緒に評価して改善策をつくるワークショップを実施します。ファシリテーション力や合意形成する力など、地域を巻き込んで活動するための「協働実践力」を身につけます。
地域協働研究 III	

第1学期	第2学期
課題探求実践セミナー 新入生が「高知」にはじめてふれる場。高知のうみ・やま・むら・まちで何が起きているのか、地域の人たちは何を考えどのように行動しているのかを知り、地域に向き合う作法を身につけます。	地域理解実習 地域の活動の手伝いやヒアリングを通じて、地域の特性や課題を理解します。「地域理解力」の基礎を固めます。
地域協働研究 I	

学習成果報告会

卒業研究発表会

地域協働実践・卒業研究

4年間の学びを統合し、地域協働の実践経験や実践事例を理論化します。これをもとに、卒業後「地域を変える新しいリーダー」としてどのように地域に関わるのか、将来展望を描きます。

海外特別演習 地域での活動に成果を挙げた学生を対象に、海外で地域との協働を体験する科目として、「外国語特別演習」および「海外特別演習」という授業を用意しています。この授業では、海外のフィールドに約3週間滞在し、現地の大学生と共に地域との協働を実践します。

43 地域協働学部 Faculty of Regional Collaboration

リーダー人材育成を目指す新しい教育プログラム 土佐さきがけプログラム

TOSA Innovative Human Development Programs

コース

グリーンサイエンス人材育成コース

国際人材育成コース

生命・環境人材育成コース

スポーツ人材育成コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



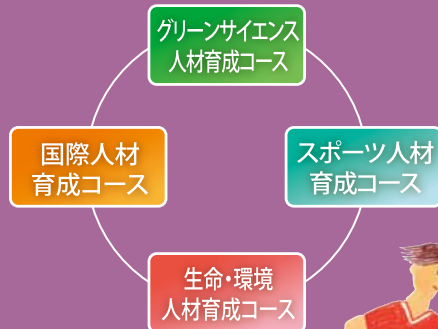
特別プログラムでリーダー人材を育成

現代社会の課題に積極的に取り組んでいける次世代リーダーを育成するため設けられたのが、「土佐さきがけプログラム」です。

これは、本学がこれまで培ってきた教育・研究実績や特色を活かしながらも、既存の学部・学科等のカリキュラムからは独立した、全く特別な教育プログラムです。

従来のカリキュラムを超えた分野横断型の学び

このプログラムでは、すでにある学部・学科のカリキュラムにとらわれず、関連する様々な分野を横断的かつ総合的に学び、幅広い知識(基礎力)とそれらを組み合わせる力(応用力)を養います。



▶ 土佐さきがけプログラムホームページ
http://www.kochi-u.ac.jp/sakigake_program/



先輩にきく

早期に専門授業に入れる

河野 航大 グリーンサイエンス人材育成コース4年
(宮崎県立宮崎南高校出身)

大学へ進学するなら化学を学びたいという思いで大学選びをしていた時にこのコースを知り、「時代を先駆ける新しい高知大学独自のプログラム」というフレーズに惹かれ進学を決意しました。いざ入学してみると、GS特別講義で化学という分野の奥深さや魅力に触れ、GS実験Ⅰ・Ⅱですべての研究室で実施されている最先端の研究に触れ内容を知ることができるなど、少人数だからこそ可能なカリキュラムが組まれていました。また、大学院進学後は海外インターンという国外での研究生活を体験できる特別な学びも提供されます。

こんなに特別な環境で充実したキャンパスライフを過ごせるなんて想像以上でした!



世界に飛び出して学ぶ!

幸崎 李 国際人材育成コース4年
(高知県立高知南高校出身)

このコースを志望した一番の理由は留学ができること。渡航費の助成があり、負担が少なく学べると思ったからです。留学に行くのは3年生の半年から1年間。1年生ではそれを見越して、一般教養の科目をたくさん履修しました。コース専門の授業はグループワーク形式が多く、いつも議論が白熱! 楽しかったですね。留学先を選んだのはオーストラリアのクイーンズランド大学です。日本では400字くらいだった英語のエッセイも、向こうでは1000字、2000字が当たり前。最初は大変でしたが、英語力は格段に向上したし、学ぶ姿勢や自己表現の大切さなど多くのことを学びました。この経験を将来につなげたいですね。



夢の両立!

島崎 菜緒

スポーツ人材育成コース1年(主専攻は人文社会科学部)
(高知県立高知南高校出身)

私は将来、教師になって、地理の面白さを伝えたいという夢があります。それと同時に、小学生の頃からずっと続けているバレーボールの指導もしたいと思っています。スポーツ人材育成コースでは、主専攻で学問に取り組みながら、副専攻で競技技術の向上や、トレーニング論、スポーツ栄養学などスポーツを多角的に学ぶことができると知り、このコースを選びました。主専攻の授業との両立は大変ですが、異なる2つの分野を学べることはとても充実しています。このコースを選んだからこそ出会える先生や先輩、他学部の仲間と、たくさん刺激し合い成長できます! スポーツに携わりたい方はぜひ一緒に勉強しましょう!



自分に合った研究室が見つかる

橋本 佳怜 生命・環境人材育成コース4年
(岡山県 私立就実高校出身)

高校の理科の実験で微生物に興味を持ちました。大学で微生物の研究がしてみたいと思っていたところ、担任の先生がこのコースを教えてくださいました。このコースでは、2年生のときに1年かけて関連分野の研究室を全て回るので、研究テーマのほかに、研究室の雰囲気なども比較しながら所属先を選ぶことができます。どの研究室も魅力的に見えて迷いましたが、最後は元々興味のあった微生物の研究ができることと手厚くサポートして下さる先生がいる今の研究室に決めました。今は卒論発表に向けて毎日実験をしています。また、高校の理科の教員免許取得も目指しているので、研究と並行して、教職分野にも力を入れてがんばっています。



平成30年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

●は必須科目を表す。
○は選択必須科目(その教科は必須で教科内に選択科目がある)を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

学科名等	区分 学力 検査等 の 募集人員 (募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名																		個別学力検査等																	
		教科・科目数	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	教科等	科目名等 ()は受験の選択・必須や 必要科目数など																												
グリーンサイエンス 人材育成コース 化学ペリパシアド特設コース	一般入試 前期日程 (5)	3教科5科目	国語	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	倫政	倫政経	科目数	数I	数II	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数	理科	化学基礎、化学 口頭試問を含む面接			
国際人材育成 コース	AO 入試Ⅰ (10)																																	その他	小論文、面接		
生命・環境人材 育成コース	AO 入試Ⅱ (10)	5教科6科目又は 5教科7科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	その他	面接(生命活動とそれを支える 環境に関する内容を含む)

[AO入試Ⅱ 備考]

- [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科については「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、「情報関係基礎」については、普通教科及び学校設定科目以外の「情報に関する科目」)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- [個別学力検査等]欄について:出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

※スポーツ人材育成コースは個別試験等は実施しません。人文社会科学部・教育学部・理工学部の推薦入試または一般入試の合格者から書類選考を行います。詳細はそれぞれの募集要項を参照してください。

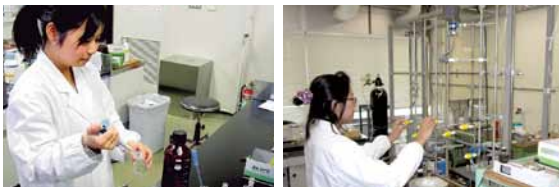
グリーンサイエンス人材育成コース (化学スペシャリスト育成コース) Green Science Education Program

育成する人材像

化学を基盤とし、環境に配慮した技術開発・学際研究(グリーンサイエンス研究)を通じて、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材を育成することを目指します。学部で4年間学んだ後は2年間の大学院修士課程へ進学することを前提とした6年一貫のコースです。

教育の特色

- 化学を総合的かつ体系的に履修して化学の基礎を身につけ、少人数で多くの研究実験を行い、化学者としての技量を高めます。
- 入学後の早い時期から、高知大学で実施されている最先端の研究に参加し、課題探求能力や問題解決能力を高めます。
- 大学院では、英文で研究論文を自ら執筆したり海外の研究機関で実験を行い、専門性や国際性を高め、研究者としての実践力を身につけます。



実践的「化学」への招待 柳澤和道教授

私たちの身の回りで起こっている様々な現象は、化学的变化としてとらえることができます。ですから、「化学」は私たちの生活を豊かにしてくれているだけでなく、環境問題や資源問題を解決するための大切な糸口なのです。



▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1・2年	入学後すぐに高知大学で実施されている最先端研究に触れ、課題探求能力や問題解決能力を養います。同時に大学院進学時の海外留学を見据えて、英語や中国語などの語学についても力を磨きます。	GS特別講義 I・II GS実験 I・II
学部 3年	3年第1学期から研究室に配属され、理工学部化学学生命理工学科の学生らと共に、最先端の研究に参加します。	GS実験 III・IV
学部 4年	研究室生活2年目。さらに研究活動を充実させると同時に、科学者として不可欠な倫理観なども学んでいきます。当コースは6年一貫ですが、他の学部生と同様に大学院の試験を受け進級します。	科学者倫理学 知的財産論 GS課題研究
修士 1年	海外の大学に1ヶ月程度の短期留学を行い、化学に関するグローバルな視点を身につけ、研究を深化させます。	海外インターンシップ 学術論文作成セミナー
修士 2年	研究の集大成。論文作成や国内外の学会での研究発表と活躍の場を広げます。夏までに就職または博士課程への進学について検討し、さらなるステップへつなげます。	GS特別研究

卒業後の進路イメージ

- 大手企業(食品・製薬・化学・エネルギー産業)や公的研究機関の高度技術者や研究開発者を目指します。
- 大学院博士課程(3年)に進学し、大学教員や国際的な研究者を目指します。

国際人材育成コース International Education Program

育成する人材像

今や世界共通語となった英語、近年ますます重要度が高くなっている中国語および日本語を駆使し、高い国際コミュニケーション力とともに、文化的・歴史的背景による価値観の違いを乗り越えて自文化と異文化を理解する心を持ち、国際社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

教育の特色

- 日本人学生と外国人留学生が同じプログラムの中でともに学ぶことで、国や文化の違いを越えて相互理解を目指す姿勢を身につけます。
- プログラム前半の2年間では語学力の向上と異文化理解に重点を置き、後半2年間では社会のグローバル化に貢献するための専門知識を中心に学びます。
- 日本人学生は海外協定校への留学や海外インターンシップ、外国人留学生は国内研修や国内企業でのインターンシップを行い、グローバル化の進む社会で活躍できる実践力を身につけます。



日中英の3ヶ国語を駆使して国際舞台へ! 前西繁成 准教授

本コースは、21世紀のグローバル社会で活躍できる国際人の育成を目指します。国際人として活躍するために必要な、多言語による高度な言語運用能力、自文化と異文化の理解力、世界的な視野に立つ思考力、世界の人々との協働による遂行能力などを涵養し、国際社会の発展に寄与できる人材を社会に送り出します。



▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1年	本コースにおける特色ある教育方法、勉強方法を身につけながら、特に英語・中国語・日本語の運用力を磨きます。グローバル化する世界の現実、国際機関、企業行動、市民社会の変化などについても理解を深めます。	Public Speaking in English、実践中国語特別演習、国際講座(海外勤務経験者等による実践的講座)等
学部 2年	国際的に活躍するために必要な異文化理解マインドの育成を中心として国際コミュニケーション力を磨きます。日本人学生・外国人学生ともに英語を含む二言語の研究を深めます。(日本語、中国語等)	English for International Studies、実践中国語演習、異文化理解、対人コミュニケーション論、国際講座等
学部 3年	日本人学生は海外研修・インターンシップ、外国人留学生は国内研修・インターンシップを行い、実践的な国際社会での対応能力を磨きます。(日本人学生は英語圏や中国語圏への留学が必須です。外国人留学生は日本国内でのインターンシップが必須です。)	海外研修・インターンシップ、国内研修・インターンシップ 等
学部 4年	言語表現力、コミュニケーション力をさらに高めます。また、学修の集大成として自ら設定した研究テーマに基づき日本語と英語による論文作成に取り組み、国際社会へ巣立つ準備を行います。	卒業課題研究、Graduation Reviews、実践ビジネス中国語、海外(国内)研修・インターンシップ報告会 等

卒業後の進路イメージ

- 本学や他大学の大学院への進学、国際的な企業や組織・団体に多言語能力を活かし、グローバルな視野で活躍できる人材を目指します。

生命・環境人材育成コース Life and Environment Education Program

育成する人材像

生命活動とそれを支える環境についての専門的な知識と様々な研究手法を学びます。そして、自分の考えを社会へ発信する能力を身につけて、人類の健全な生存環境を創り出すことに貢献できるように、学部を越えた豊かな見識を持った未来の社会的リーダーを育成することを目指します。さらに、実践的な研究体験型教育によって、大学院進学も視野に含めた高度な研究活動をサポートします。

教育の特色

- 専門知識と自分の考えを論理的に伝える表現力と英語力の育成
- 基礎教育と実践的な体験型教育、英語理解力の習熟を促す教育
- 生物資源の育成から利用まで活躍する社会的リーダーの育成
- 研究実践型の高度な生命科学教育と環境教育
- 大学院進学を含む長期的履修計画で研究経験に富む人材育成



生命の営みと健全な環境を守る未来人に！ 永田信治教授

専門科目で鍛えるのは、農芸化学というバイオサイエンスを核とした「農学力」です。理科4科目の概論や実習で「基礎力」を養い、学部の枠を越えたカリキュラムが国際情勢に対応した「貢献力」を伸ばし、早からの研究活動で「研究力」を鍛えます。さらに、世界の研究者に自らの研究成果を伝えるために、国内外の学会で「表現力」や「英語力」を高め、未来の科学者を育てる「教育力」も備えた人材を育てます。



▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目など
学部1年	生命科学と環境に関する基礎知識を身につけ、社会に役立つ専門研究を意識した課題を探索し、様々な最先端研究を学ぶことによって、学習意欲と目的意識を高めます。	生命と環境I、英文読解・理解力養成セミナー
学部2年	様々な研究室を巡回する体験重視な実践教育を通じて、専門的な実験技術から課題解決力まで、優れた研究能力を養います。	研究室インターン実習I~IV、実践英語セミナー、生命と環境II
学部3年	研究室で、余裕を持った研究活動を開始します。また、産官学の試験機関や研究所でのインターンシップや共同研究によって、実践力を培います。さらに学会に参加して最新の研究を学びます。	産官学連携インターンシップ、生命・環境学集中実習、国内学会参加
学部4年	研究課題の立案や企画力と、後輩に対する指導力を高めながら、成果発表や論文作成を目標に、研究活動を充実させます。	卒業論文演習I・II、卒業論文、国際学会参加
大学院進学(希望者)	高度な研究活動の推進に加え、産官学の現場で即戦力として社会に貢献できる実力と、理科教育の教員免許の取得や教育現場で役立つ様々な手法の開発力を育てます。	農学専攻・植物医学専攻、黒潮圏総合科学専攻など

卒業後の進路イメージ

- 国や県、市町村にある様々な試験研究機関や行政機関の技術者や研究者
- 理科及び生命や環境に関わる分野の教育者
- バイオ・医薬・食品・化学・農業・環境など様々な分野の民間企業の技術者や研究者

スポーツ人材育成コース Sports Education Program

育成する人材像

人文社会科学部・教育学部・理工学部の推薦入試または一般入試の合格者の中から、それぞれの学部での学びに加えて、入学後に副専攻プログラムとしてスポーツ人材育成コースで学ぶことを希望する人を対象に選考します。所属する学部・学科等の専門分野の学びとスポーツ活動を両立させ、さらに副専攻としてスポーツを科学的に学ぶことで、在学中は高知大学のスポーツ活性化を担い、卒業後は国内外においてスポーツ文化の発展に貢献できる人材を育成することを目指します。

教育の特色

- それぞれの所属学部・学科の専門分野に加えて、副専攻として運動時の心身の働き、メカニズムについて、スポーツ生理学、スポーツ心理学、トレーニング論を通してスポーツ科学の理論について学びます。
- トレーニング実習や専門実技演習I~IIIを通して実践について学び、競技力の向上を目指します。
- スポーツ指導やコーチング理論、地域スポーツクラブの運営について学び、競技の指導能力や地域のスポーツ振興に貢献できる力を身につけます。



文武両道を大学でも実現！ 矢野 宏光 准教授

専門分野の学びとスポーツ活動どちらを極めるのも大変な努力と熱意が必要です。こうした文武両道の意味をもつ人材を求めるとともに両立を図れるよう支援していきたいと考えています。



▶ カリキュラムのイメージ

	所属学部学科の卒業に必要な単位 124単位以上	スポーツ人材育成コース24単位
学部1年	← 並行して履修します →	専門実技演習I トレーニング実習 専門実技演習II 専門実技演習III スポーツ指導演習
学部2年		
学部3年		
学部4年		
	入学したそれぞれの学部で定められた単位を履修(ゼミナール・研究室配属・資格取得...)	スポーツ生理学 トレーニング論 スポーツ栄養学 スポーツ心理学 などの スポーツ科学の 授業から自由に選択

卒業後の進路イメージ

- 小学校や中学校及び高等学校の教員となり、部活動の指導者として運動部活動の普及・発展に貢献する。(人文社会科学部・理工学部及び教育学部にて教員免許を取得した場合。本コースの開講科目のみの履修では保健体育の教員免許は取得できません。)
- 民間企業や公務員職に就職し、地域スポーツの指導者や審判員として地域スポーツ活動の普及・発展に貢献する。
- 海外勤務の場合、日本の伝統スポーツ(剣道など)の普及の一翼を担う。

卒業論文テーマ例



人文社会科学部 人文社会科学科 人文科学コース

カント哲学における純粹理性の第一アンチノミーについての考察(哲学)／動物愛護における人間の責任(倫理学)／日本の神話・民話における異類婚姻譚—蛇から狐、狸への変遷について—(宗教学)／ワーキングメモリにおける視空間スケッチパッドと音韻ループの関係(心理学)／自己複雑性と自己注目が気分不一致効果に及ぼす影響(心理学)／なぜ「にわかファン」は嫌われるのか(心理学)／土佐における須恵器の在地化(考古学)／五大老としての宇喜多秀家(日本史)／古代中国の蹴鞠文化(東洋史)／タイタニック救済基金からみるイギリスの慈善活動(西洋史)／離島の観光振興(地理学)／森鷗外と平出修一大逆事件をめぐる—(日本近代文学)／和泉式部日記における「月」—月の描写と日記の構成意識をめぐる—(日本古典文学)／尊敬表現「をらる」—江戸時代を中心に—(日本語学)／室戸市方言における自然環境語彙の記述(方言学)／Peter Panにおけるネバーランドの現実性(イギリス文学)／Absalom, Absalom! 論—喪と語りをめぐる—(アメリカ文学)／英語と日本語における(時間)のメタファーについて(英語学)

人文社会科学部 人文社会科学科 国際社会コース

複雑化する文化財返還交渉—フレーミング概念による分析—／ Learning Vocabulary Strategically: Quantitative Text Analysis and Findings from a Correlation Survey between VLS and Vocabulary Size ／スローシティにならう新しいまちづくり—日本唯一のスローシティ認定地、気仙沼市を中心に—／ディズニー作品における女性像の変遷／『さかしま』と『ドリアン・グレイの肖像』におけるデカダンスの考察／A Study of Identity of "Hafu" People in Japanese Society ／農村女性の社会参画とジェンダー関係の非対称性—まほろば畑の女性農業者たちを事例として—／Is Really 'Wasei Eigo' Troublesome?: How it can affect Japanese Language Learners ／日本におけるハラルと多文化共生／『悪童日記』シリーズにおける「書くこと」の意図—人物の錯綜した関係と反映から見る—

人文社会科学部 人文社会科学科 社会科学コース

コモンズからアンチコモンズへの転換についてのゲーム理論的分析／農山村地域における共同行為の発言過程の分析／直接支払の農地経営の規模拡大と直接支払の帰着／トレーサビリティに関する研究／日曜市における「生活市」概念の検証／中山間地域における学生参加型地域づくり活動の有効性／高齢者世帯における老後の最低所得補償、農林漁家民宿における品質保証制度の検討／獣被害対策としての食肉流通の現状と課題／地方百貨店の再生法を考える／中小企業の実務における会計基準の適用と会計目的に及ぼす影響／雇用区分撤廃が変える非正規労働者の働き方／衣料品市場における競争環境の変容とアパレル間格差／憲法と民法の規範構造の関係について／自動販売機の設置・管理運営契約をめぐる法的検討／「知る権利」と「人権」の対立がもたらす犯罪報道の変化／児童虐待における援助と子どもの意見表明権／環境団体訴訟と合憲性／コーホート要因法による人口推計結果の推計乖離に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程

総合的な学習の時間の評価方法についての一考察(教育科学コース)／教師の言葉かけが児童生徒の学習に対する動機づけに及ぼす効果—児童生徒の有する自己効力感・不安に着目して—(教育科学コース)／「チームとしての学校」構築に向けての一考察(教育科学コース)／高知県の発達障害の二次障害対応についての現状と課題(特別支援教育コース)／読み書き障害の就学前スクリーニングに関する研究(特別支援教育コース)／発達障害児の特性に応じた英文法の指導法(特別支援教育コース)／「聞き手参加型の音読」を用いた読解力を伸ばす言語活動の研究—幼小連携を視野に入れて—(国語教育コース)／「とりかへばや物語」における女性観について(国語教育コース)／熊本県水俣市方言の疑問の文末詞「と」の世代差(国語教育コース)／高知県本山町における地震災害脆弱性の地域差(社会教育コース)／初等社会科における社会認識形成の「論理」と「心理」(社会教育コース)／前漢武帝の匈奴政策について—馬邑事件を中心に—(社会教育コース)／Development of a Screening Tool for Students with Special Needs in English Learning(英語教育コース)／Mary Poppins and the Class Problem(英語教育コース)／The Influence of ICT on Student Autonomy in English Learning(英語教育コース)／ガロア理論について(数学教育コース)／数学教育における協働的問題解決に関する研究(数学教育コース)／有限体上の射影平面(数学教育コース)／高知県浦ノ内湾におけるスナモグリヤドリムシの寄生生態(理科教育コース)／日本とアメリカにおける中学校理科教科書(月の満ち欠け分野)の比較(理科教育コース)／理科学習における教師の働きかけのあり方についての研究—パリンサーの対話的な教授行動を視点として—(理科教育コース)／ブルースの歴史と音楽理論的解釈(音楽教育コース)／0歳児保育園における音楽のかかわり(音楽教育コース)／東京オリンピック・パラリンピックへの意識に関する研究(保健体育教育コース)／「プロ野球くじ」導入に関する一考察(保健体育教育コース)／地域の人との交流が子どもの発達におよぼす影響—高齢者に着目して—(家庭科教育コース)／小学校家庭科における家族とのコミュニケーション能力の向上を目指した授業提案(家庭科教育コース)／シミュレーションプログラミングからの科学技術教育へのアプローチ(技術教育コース)／情報教育及び環境教育を融合した総合的なものづくり題材の開発(技術教育コース)

医学部 看護学科

精神障がい者競技スポーツの心理社会的効果「フットサル」「バレーボール」チームへの参与観察・インタビューを通して／入退院を繰り返す統合失調症患者の社会復帰を支援する熟練保健師・熟練看護師の看護ケアの実践能力／看護系大学生におけるバーンアウトと人間関係の関連／看護学生が臨地実習中に感じた患者との言語的コミュニケーションにおける困難感と対処／看護師の口腔ケアに対する困難要因の検討—口腔ケアに全介助が必要な成人期以降の患者へのケアを通して—／女子看護学生の月経前症候群の重症度と冷え性対策との関連／大学1年生のデートDV防止に関する学習の実態／若年層のエイズに対する知識・意識について—看護学生と一般学生の比較—／看護学生の睡眠の質と自己評価の関連／先天性心疾患のある青年の「自分のとらえ方」／学童期にあるダウン症の子どもを養育していく中での母親の体験／被災地避難所において看護学生に必要とされる看護援助技術／看護系大学生の清潔行動の実態と意識との関係／中学生の保健室・養護教諭のイメージと保健室利用状況との関連に関する研究／養護教諭が行う保健教育に対する意識と子どもへの思い



理工学部 数学物理学科

数学コース

カントールの三進集合とその相似次元／有向絡み目のコンウェイ多項式／線形シュレーディンガー方程式の解の漸近挙動／空間正規多角形の存在について／作図可能数について／ S^5 の非安定ホモトピー群におけるある公式／自己回帰モデルの推定／公平な硬貨投げについての多数の弱法則／射影平面上の二次曲線／微分多様体／ベイズの公式を使った問題／楕円曲線／原始根について

物理学コース

外部電場による真空からの電子・陽電子対生成： S 行列による計算／斜方晶 La_2Al_11 型 Pr_3Al_{11} のベクトル磁化測定／ペロブスカイト型酸化物 $BaFe_{1-x}In_xO_{3-\delta}$ の酸素貯蔵物質としての評価／三次元ネットワーク型結晶構造をもつリン酸チタンマグネシウムの合成を目的とした水熱条件の検討／ A サイト秩序ペロブスカイト型化合物 $(Sr_xCa_{1-x})Cu_3Ru_4O_{12}$ の合成と微視的物性

理工学部 情報科学科

推論による情報漏えいリスクの評価手法／ペアワイズ交換法を伴う自己組織化マップによるTSP解法／電子ホログラフィのための3次元物体モデル作製ソフトウェア開発／手話における手指動作取得の高精度化／RSA暗号におけるミラー・ラビン素数判定法についての研究／モチベーション維持のためのチーム機能を実装した習慣化支援スマートフォンアプリの開発

理工学部 生物科学科

褐藻ツルモの細胞形態に及ぼす二酸化ゲルマニウムの影響／河川砂礫堆上の植物群落の組成と構成種の葉の形態との関係／千本山(高知県馬路村)の蘚類と光環境との関係／ニホンジカによる強度の食害を受けた山地斜面の土壌侵食過程／高知県下の砂浜海岸におけるスナゴエ類の出現について／日本産ホカケトラギス科ヒメトラギス属魚類の分類学的研究／中新統三崎層群竜串層の堆積学と古生態学

理工学部 化学生命理工学科

細菌の比色検出に向けた金ナノ粒子の電荷および安定性効果の検討／自己修復性透過膜の開発を目指した両親媒性ブロックコポリマーの合成／水熱反応を利用したバイオマス焼却灰の再資源化／鉄触媒環化クロスカップリングを用いるピロリジン誘導体合成法の開発／カルボンを用いた海洋天然物の合成研究／ミダレキクイタボヤBMP2/4リコンビナントタンパク質の作製／CRISPR/Cas9システムを用いたカタユウレイボヤMyc遺伝子の機能阻害

理工学部 地球環境防災学科

碎屑性ジルコンのU-Pb年代による石垣—玖珂構造線の検討／カソードルミネッセンスを用いた堆積岩の組織観察／既存木造住宅における外部構造による耐震補強法の開発／沈下橋周辺における流れ構造と地形特性に関する研究／2014年台風12号に伴う地形性降水システムのモデル解析／四国西部上部地殻の空隙特性

農林海洋科学部 農林資源環境科学科

暖地農学領域

CO₂施肥がカンキツに及ぼす影響／光線が蘭の器官形成に及ぼす影響／稲の晩生および抑制遺伝子に関する研究／温湿度がニラの生育に及ぼす影響／土佐あかうしの高付加価値化／イネの環境ストレス回避技術の開発／GHPを活用したハウス内環境制御／ブルーベリー栽培における竹堆肥の利用／農産物の輸出を想定した海外への地産外商／植物生育調節剤を用いた高品質種なしスイカ生産／郷土食とその役割の変遷

自然環境学領域

土着天敵クロヒョウタンカスミカメとタバコカスミカメのギルド内捕食について／良質小麦の自給率向上に関する基礎研究／エダナナフシとナナフシモドキを用いた系統学的研究／インドネシア西カリマンタン州産担子菌類の抗乳がん作用／イネの抵抗性メカニズムの分子生物学的解明／蛇紋岩地におけるコソクバネウツギの形態学的研究／水田面蒸発量の直接測定と微気象学的方法による蒸散量の分離評価

森林科学領域

スギ、ヒノキ樹皮の繊維性状の比較／路網と流域界による集材可能範囲の設定／紙表面上に調製したファイバー状高分子を活用した光触媒シートの開発／高知県内の林業用苗木生産業者における規模拡大への課題／マレーシア熱帯二次林における植生回復に影響を及ぼす要因に関する研究／演習林におけるプロセッサを用いた伐出作業の生産性の分析／高知県における鳥獣被害対策の現状と課題

生産環境管理学領域

食品素材に含まれる豚肉成分の非破壊検出法に関する研究／クラリスロマイシンによる活性汚泥の硝化阻害とその抑制手法の検討／サウンドスケープに関する調査研究／ADI法を用いた水平2次元モデルによる浦／内湾の流動解析／泥炭およびロームの化学成分がセメント硬化体の強度発現特性におよぼす影響／廃棄物を利用した資源循環土による芝の生育試験／リモートセンシングの豪雨災害への利用可能性の検討

農林海洋科学部 農芸化学科

機能性素材ホモキラルポリγグルタミン酸／基質依存的発現誘導を指標とした未知遺伝子の機能／ブタ卵子の低温障害に関わる低温感受性チャンネル／イミダゾールジペプチドの定量用微生物酵素／黒酵母が乳酸菌の生育に与える効果／非晶質鉄水酸化物吸着剤の特性／イネのNi吸収に関わるトランスポーター／青枯病菌のクオラムセンシング機構／レポリン質化に関与するタンパク質／県産作物の抗酸化活性／ELISA法による産物中のオスモチン定量／緑藻ウルバンを分解する海洋性細菌／FSC南国フィールドの土壌特性／トビイロウカ産卵刺激物質／植物防御応答でのホスホリパーゼCの役割

農林海洋科学部 海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

紫外線照射による各種魚病原細菌に対する殺菌効果／高知県野見湾における海産白点虫*Cryptocaryon irritans*の分子系統学的研究／ブリ稚魚における低魚粉飼料への有機ミネラルの添加効果／ウツボ筋肉の食品化学的的特性の把握／物部川水系桑ノ川に生息するアカザが好む河床形態／高知県幡多郡柏島におけるアオブダイ*Scarus ovifrons*の採食生態／海産微小藻*Chaetoceros tenuissimus*の休眠に関する生理・生態学的研究

海底資源環境学コース

Keggin型貴金属置換新規タングスト硫酸錯体の合成研究／Keggin型金属置換タングスト硫酸錯体の電気化学的酸化還元反応の解析／Keggin型希土類金属置換新規タングスト硫酸錯体の合成研究／チオ硫酸イオン・亜硫酸イオンのC18カラムによる固相抽出とHPLCを用いた定量法の開発

海洋生命科学コース

ピロールの位置選択的トリシアノビニル化における反応機構解析／ α -置換プロピオフェノールのジアステレオ選択的ヒドリド反応における溶媒効果／超原子価ヨウ素試薬を用いた立体選択的反応の反応機構解析／二本鎖RNA結合タンパク質によるケモカイン発現制御を介した浸潤能促進機構の解明

教員紹介

所属の表記は平成29年5月1日現在のものです。

役員		
学長	脇川 宏	小児科学、感染症(特にEボウイルス感染症の臨床免疫学的検討)
理事	櫻井 克年	熱帯土壌学、土壌情報解析学、土壌生態学
理事	藤田 尚文	発達心理学と教育心理学、とくに親子関係、学力問題
理事	執印 太郎	泌尿器科学、泌尿器癌(腎臓癌・前立腺癌・膀胱癌)

人文社会科学部 人文社会科学科 人文科学コース		
教授	安藤 恵崇	宗教学・近現代の哲学、宗教思想、思想的方向から見た神話学、フロイト・ユングの思想
教授	池田 和夫	人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究
教授	上野 智子	日本語方言・四国地方方言・高知県方言の研究と海岸部地名の研究
教授	大樹 敦弘	戦国秦漢時代を中心とする中国古代史
教授	小幡 尚	戦後者慰霊を中心とする「戦争と地域」の史的研究
教授	杉谷 隆	環境問題を地域や自然観・倫理観の問題として考察すること
教授	津野 倫明	朝鮮出兵・大名長宗我部氏
教授	福島 尚	日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究
教授	藤吉 清次郎	19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化
教授	武藤 整司	西洋近世哲学史、倫理学、生涯学習論を研究中
教授	山本 秀人	日本語学、特に漢字の訓、古辞書(漢和辞書等)に関わる研究
教授	吉尾 寛	明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史、中国・台湾近現代史と高知県との関わり
特任シニアプロフェッサー	加藤 勉	英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究
特任シニアプロフェッサー	角 忍	カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する
准教授	川本 真浩	イギリス、イギリス帝国、コモンウェルス(英連邦)の近現代史
准教授	後藤 拓也	アグリビジネスの地理学的研究、企業の農業参入に関する地理学的研究
准教授	鈴木 隆司	平安朝文学、おもに和歌・物語・日記文学の研究
准教授	宗 洋	イギリス小説、映像メディア
准教授	田鎖 数馬	谷崎潤一郎研究、芥川龍之介研究、大正期文芸思潮研究
准教授	西尾 美穂	言語学法論
准教授	日比野 桂	日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程
講師	宮里 修	縄文・弥生時代の考古学、中世城郭の調査・研究
講師	渡邊 ひとみ	青年および成人期女性のアイデンティティ発達の研究

人文社会科学部 人文社会科学科 国際社会コース		
教授	岩佐 和幸	グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究
教授	奥村 訓代	デジタル化時代における「外国語としての日本語」教授法研究
教授	小澤 萬記	進化論の日本への影響、比較日本文化論
教授	斎藤 昌人	19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン
教授	周 雲喬	異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国語学
教授	高橋 俊	近現代中国の社会・文化研究
教授	遠山 茂樹	社会ネットワーク論、デジタルメディア論、コミュニティ論
教授	中森 健二	中国古典文学(六朝・唐・宋文学)
教授	山下 興作	大衆文化論、演劇論、アート・マネジメント
教授	吉門 牧雄	イギリス言語文化、特にロバート・ブラウニングの英詩研究
教授	Darren Lingley	異文化間コミュニケーション、英語教授法
准教授	今井 典子	第二言語習得研究より考察する英語教授法および学習法、英語教育
准教授	岩佐 光広	医療に関する人類学的・倫理学的研究、魚梁瀬森林鉄道と暮らしの諸相の研究
准教授	古閑 恭子	アカン語、ンゼマ語(ガーナ)の記述研究、アフリカ言語文化の研究
准教授	佐野 健太郎	輸出主導型から内需主導型への経済構造転換における日中比較
准教授	佐野 由紀子	現代日本語の文法
准教授	塩原 俊彦	ロシアをめぐる諸問題
准教授	関 良子	19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について
准教授	中西 三紀	ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究
准教授	森 直人	十八世紀ブリテンの政治・経済思想についての研究
准教授	Howard Doyle	世界英語、リテラー教育、外国語(第二言語)の研究
准教授	Joanna Hare	和英翻訳や解説、四国遍路、宝石珊瑚、深沢七郎の文学
講師	土屋 京子	18世紀後半から19世紀初頭におけるドイツ語圏の思想や文学
講師	Stefan Hug	ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語
講師	Marcus Otlowski	英作文教授法、英語教授法

人文社会科学部 人文社会科学科 社会科学コース		
教授	飯館 芳明	北東アジアの条件不利地域における資源管理の解析と制度設計
教授	伊丹 清	金融関係の会計についての研究
教授	緒方 賢一	農山漁村と農林水産法制に関する法社会学的研究
教授	新保 輝幸	黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究
教授	中川 香代	人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究
教授	山内 高太郎	国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究
教授	横川 和博	日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法
准教授	福田 朗子	医事刑法
准教授	岡田 健一郎	憲法
准教授	切詰 和雅	商取引における外観信頼者保護の制度に関する研究
准教授	霜田 博史	地方財政制度に関する日独比較研究
准教授	肖 紅燕	日本と中国の家族と社会構造研究、田園回帰と移住
准教授	田中 康一	企業の本社等の立地メカニズムに関する研究
准教授	西島 文香	社会保障・社会福祉の提供体制と政策課題に関する研究
講師	赤間 聡	科学技術の発展およびリスク(原発事故等)とのつきあい方
講師	雨宮 祐樹	金融契約及び企業金融に関する研究
講師	新井 泰弘	知的財産権制度の経済学的研究

講師	海野 晋悟	長期停滞のマクロ経済分析、災害からのレジリエンスを規定する金融経済要因の研究
講師	遠藤 晶久	現代日本の選挙と政党の研究、世論調査方法論
講師	寺崎 新一郎	外国や異文化に対する態度と消費者行動に関する研究
講師	野崎 華世	女性就業および子どもの発達に関する研究
講師	深山 誠也	高齢者介護組織における競争戦略と組織特性に関する研究
講師	堀 美菜	漁村社会論、水産資源と地域住民のかかわりに関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 幼児教育コース		
教授	玉瀬 友美	幼児のこぼの理解に関する教育心理学的研究
准教授	川俣 美砂子	保育者のキャリア形成に関する研究、地域の子育て支援に関する研究
講師	三ツ石 行宏	福祉教育の理論・歴史に関する研究、社会的養護に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 教育科学コース		
教授	岡谷 英明	ドイツの教育人間学に関する研究
准教授	加藤 誠之	思春期問題(主に不登校・非行)に関する現象学—実存主義的理解
准教授	金山 元春	心地よい人間関係とより良い未来を築くためのもの見方と立居振舞について
准教授	柳林 信彦	アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究
講師	野中 陽一郎	教授学習過程に関する教育心理学的研究

教育学部 学校教育教員養成課程 国語教育コース		
教授	玉木 尚之	中国古代における音楽についての考え方を理解する研究、「論語」の平易な解釈方法をさぐる研究
准教授	岩城 裕之	方言語彙の記述および分析と、災害・医療現場での方言利用のあり方について
准教授	武久 康高	平安時代を中心とした物語文学、および古典の教育に関する研究
准教授	吉田 茂樹	国語科教育における実践的な授業研究

教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育コース		
教授	遠藤 隆俊	中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史
教授	原崎 道彦	西洋哲学史(ヘーゲル)、快楽論、リラクゼーション論、ダイエット論
教授	藤田 詠司	意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成
教授	藤本 富一	国籍について、外国人の人権について
准教授	柳川 平太郎	近世・近代のドイツを中心とするヨーロッパ史研究
准教授	山崎 聡	経済思想(ケンブリッジ学派)の研究
講師	遠藤 尚	東南アジアの農村と農業の持続可能性に関する研究
講師	中村 努	社会保障の地域格差研究、IT技術を活用した企業や組織の空間行動分析

教育学部 学校教育教員養成課程 数学教育コース		
教授	佐藤 淳郎	可換代数学、とくにネーター環の拡大についての研究
教授	中野 俊幸	数学的認識の記号論的研究および算数・数学学習指導法の研究
教授	山口 俊博	幾何学、トポロジーの研究
講師	加納 理成	微分方程式とその周辺の領域
講師	服部 裕一郎	数学教育におけるクリティカルシンキングを育成する授業の実証的研究

教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース・科学技術教育コース		
教授	赤松 直	鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発
教授	蒲生 啓司	環境および生体中の微量生理活性物質の化学分析に関する研究
教授	國府 俊一郎	固体の電子系と原子核を対象にした量子力学多体問題
教授	原田 哲夫	子どもの生活リズム研究、アメンボ類とくに外洋棲アメンボ研究、生物教材開発
教授	善喜 満生	宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション
准教授	伊谷 行	海洋生物(主に甲殻類、二枚貝類)の共生生態、環境教育
講師	草場 実	中等理科授業における学習者の認知と相互作用に関する実践的研究
講師	中城 満	理科における児童生徒の認知過程の研究、学び合いの効果の研究
講師	西脇 芳典	科学捜査のための犯罪遺留物の起源解明

教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育コース		
教授	谷口 雅基	英語音声学、音声教育、国際コミュニケーションのための英語教育、異文化理解
准教授	多良 静也	変種英語発音が非英語母語話者の理解に与える影響の研究、デジタル教材の開発
准教授	松原 史典	文法理論による様々な言語現象の解明と英語の語法・用法の研究
講師	長谷川 雅世	チャールズ・ディケンズの小説を中心とした19世紀ヴィクトリア朝のイギリス小説の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース		
教授	小原 浄二	J.S.バッハを中心とするバロック期の声楽作品の研究
教授	宮田 信司	ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
准教授	高橋 美樹	沖繩のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
准教授	前田 克治	今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究
講師	梶原 彰人	トロンボーンを中心とした管楽器の奏法と、独奏曲、アンサンブル作品の研究
講師	金 奎道	学校音楽教育、教育実践研究、音楽教育メソッド(オルフ、ダルクローズ)に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育コース		
教授	金子 宣正	日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
教授	土井原 崇浩	油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
教授	吉光 誠之	木工芸における、指物、挽物、割物の技法および表現に関する研究
准教授	中村 るい	古代ギリシャの造形表現と美意識の研究
講師	阿部 鉄太郎	塑造による具象彫刻の研究
講師	野角 孝一	日本画における心象表現の追求、及び材料研究

教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育教育コース		
教授	神家 一成	スポーツ運動の学習過程および指導過程に関する研究、スポーツ運動学、体育科教育

教授	駒井 諒夫	全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
准教授	宮本 隆信	体育授業研究、日本と韓国の体育授業比較研究
教授	矢野 宏光	スポーツ・身体運動が心理的側面にどのような影響を与えるのか
講師	常行 泰子	運動・スポーツと社会に関する実証的研究
講師	幸 篤武	体力科学、生活習慣病の予防に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育コース・科学技術教育コース

教授	道法 浩孝	ソフトウェアエンジニアリング、電気・電子及び計測・制御に関する教育
講師	北川 晃	フォトニック結晶における電磁場の伝搬に関する理論的研究

教育学部 学校教育教員養成課程 家庭科教育コース

教授	小島 郷子	家庭科教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
特任シニアプロフェッサー	田村 和子	被服心理や色彩に関する研究、スポーツウェアや消防服などの被服設計と開発
准教授	森田 美佐	仕事と家庭生活におけるジェンダー平等に向けた研究
講師	柴 英里	健康科学を基盤とした食物学の意義と実践の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

教授	喜多尾 哲	知的障害児における学習特性の理解と指導法に関する研究
教授	寺田 信一	脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
准教授	是永 かな子	北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
講師	鈴木 恵太	学習障害など発達障害のある子ども達の理解と指導に関する研究

教育学部 附属教育実践総合センター

准教授	鹿嶋 真弓	メタ認知促進プログラムによる教師の指導行動改善に関する研究
准教授	古口 高志	ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
講師	横山 卓	子どもの社会化に関する研究、青少年の逸脱行動に関する研究、自主防犯ボランティア団体に関する研究

理工学部 数学物理学科 数学コース

教授	小松 和志	準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
教授	野村 昇	数理論理学における数値計算法とその応用
教授	福岡 慶明	代数幾何学、特に偏極多様体の不変量による分類とその応用
教授	諸澤 俊介	複素力学系、クライン群論、フラクタル幾何学
准教授	小野寺 栄治	偏微分方程式、幾何解析
准教授	土基 善文	非可換代数幾何学、非可換環論
准教授	三角 淳	相転移を含む確率モデル

理工学部 数学物理学科 物理科学コース

教授	飯田 圭	高密度物質の理論
教授	津江 保彦	強い相互作用する粒子集団が示す物性の理論的研究
教授	中村 亨	極高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
教授	西岡 孝	極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
准教授	加藤 治一	遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
准教授	島内 理恵	燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
准教授	仲野 英司	理論物理学: QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など
講師	藤代 史	エネルギー・環境関連の機能性セラミックスの合成及び物性評価

理工学部 情報科学科

教授	岡本 竜	知識工学と学習科学
教授	高田 直樹	電子ホログラフィ、高性能計算、GPGPU、計算電磁工学
教授	豊永 昌彦	組合せ最適解の計算機算法(回路の配置・配線自動化)
教授	本田 理恵	データマイニング、機械学習、画像認識、惑星情報学
准教授	伊藤 宗彦	層空間の開基、多角形の位相的性質
准教授	塩田 研一	暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
准教授	老川 稔	計算機アーキテクチャ、半導体集積回路工学、電子ホログラフィ
准教授	三好 康夫	学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス
准教授	森 雄一郎	ファジィ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
講師	鈴木 一弘	離散数学(グラフ理論、離散幾何学)とその応用研究

理工学部 生物科学科

教授	遠藤 広光	魚類の分類・系統学に関する研究
教授	近藤 康生	二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
教授	佐々木 邦夫	魚類の形態学に関する研究
教授	鈴木 知彦	グアニジキナーゼ及びヘモグロビンの構造、機能および進化・比較生化学
教授	奈良 正和	地球環境変動下の古環境ならびに古生態系の復元に関する研究
教授	松井 透	コケ植物の分類を中心に、系統、生態、形態等を研究
教授	松岡 達臣	原生動物の環境応答と休眠シスト形成の分子機構
准教授	有川 幹彦	原生動物に見られる特異な細胞機能の分子機構解明
准教授	岡本 達哉	地衣学
准教授	関田 諭子	渦鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構
准教授	峯 一朗	藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
准教授	三宅 尚	植物化石の分析に基づいた東アジアの第四紀植物史の解明
講師	宇田 幸司	酵素の構造と機能の進化に関する研究
講師	加藤 元海	山・川・海への生き物を野外調査や論理的思考をとおして解明
講師	比嘉 基紀	植物の分布と環境要因との関連性およびその変化の予測

理工学部 化学生命理工学科

教授	和泉 雅之	糖タンパク質の精密化学合成と質量分析法による構造解析
----	-------	----------------------------

教授	市川 善康	天然物化学、生物有機化学、有機合成化学に関する研究
教授	杉山 成	生命機能を司る脂溶性リガンドの認識機構の解明とその応用研究
教授	藤原 滋樹	動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子とその研究
教授	森 勝伸	水や土のイオンの分析方法と廃材を用いる環境材料の開発
教授	米村 俊昭	生体関連無機-有機ハイブリッド化合物の開発と作用機序の解明
教授	渡邊 茂	有機-無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
准教授	梶方 浩二	水熱法および電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
准教授	砂長 毅	群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究
准教授	中野 啓二	有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
准教授	湯浅 創	酵素の生化学と分子進化
講師	恩田 歩武	触媒化学、水熱化学、バイオマス資源から有用な有機化合物を合成
講師	小崎 大輔	新しい分析法の開発とそれをを用いた国内外の環境モニタリング
講師	永野 高志	鉄やハロゲンの性質を活用する触媒的有機分子変換反応の開発
講師	波多野 慎悟	機能性高分子材料の合成と分析・環境・医療分野への応用
講師	松本 健司	天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発
助教	今村 和也	太陽光を利用する物質変換反応のための、触媒・光触媒の開発
助教	越智 里香	糖やアミノ酸を分子骨格として用いた機能性超分子材料の開発
助教	仁子 陽輔	超分子蛍光プローブの開発とその生命科学への応用
助教	山崎 朋人	微細藻類の遺伝子発現制御機構解明とその知見を応用した物質生産

理工学部 地球環境防災学科

教授	佐々 浩司	レーダー観測と模擬実験による竜巻等突風の発生メカニズムの解明
教授	笹原 克夫	降雨による斜面崩壊発生メカニズムの解明とその予測手法
教授	田部井 隆雄	GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション
教授	野田 稔	災害に強い構造物の実現と極端気象の工学モデルの構築
教授	橋本 善孝	構造地質学・沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学
教授	原 忠	液状化などの地盤災害と地震防災・減災に関する工学的な研究
教授	村上 英記	地震火山活動に関連する流体の研究、月内部構造の研究
准教授	大久保 慎人	地震観測記録を用いた地震発生機構と地球内部構造の研究、地震学、地球物理学
准教授	川畑 博	野外調査と岩石の観察・分析を通して、マグマの一生を読み解く研究
准教授	張 浩	流域における土・砂災害および環境保全に関する研究
准教授	中川 昌治	四国付加体の鉱物学鉱床学、粘土鉱物の鉱物学鉱床学
准教授	松岡 裕美	古地震の研究(海底活断層の研究、津波堆積物の研究)
准教授	山田 伸之	地震動(地盤や構造物の揺れ)および防災教育に関する研究
講師	坂本 淳	災害時の個人の行動分析、インフラの社会的価値の評価
講師	藤内 智士	野外調査を中心とした地殻変動に関する研究
講師	野口 昌宏	中・大規模木造建築物や木質部材の開発、木造住宅の地震防災に関する研究
講師	長谷川 精	堆積学・地球化学分析から過去の地球の気候変動や惑星環境の復元
講師	村田 文絵	バングラデシュに洪水をもたらす降水システムの研究、四国に大雨をもたらす降水システムの研究

理学部 理学科 数学コース

教授	大坪 義夫	非線形評価関数を伴うマルコフ決定過程論とその応用に関する研究
教授	下村 克己	安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
特任シニアプロフェッサー	逸見 豊	代数的および組み合わせ論的方法を用いたボロゾジーの研究

理学部 理学科 物理科学コース

助教	斎藤 卓也	格子量子色力学理論を用いたハドロン物理の研究
----	-------	------------------------

理学部 理学科 生物科学コース

教授	石川 慎吾	植生の動態に関わる環境条件、攪乱および植物の生態的特性
教授	奥田 一雄	植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究

理学部 理学科 地球科学コース

教授	石塚 英男	太古大陸地殻の形成プロセスと進化に関する研究
----	-------	------------------------

理学部 理学科/応用理学科 化学コース/応用化学コース

教授	藤山 亮治	有機π電子系の置換基効果解析
----	-------	----------------

理学部 応用理学科 海洋生命・分子工学コース

特任シニアプロフェッサー	川村 和夫	海産動物ホヤを用いた加齢と生殖に関する研究
--------------	-------	-----------------------

理学部 附属水熱化学実験所

教授	柳澤 和道	水熱反応による機能性材料の合成と廃棄物の処理・処分
----	-------	---------------------------

医学部 医学科 解剖学

教授	由利 和也	神経情報伝達系とステロイドホルモン
准教授	大迫 洋治	社会脳における痛みの修飾メカニズム
准教授	富田 江一	視覚に関わる大脳皮質を形づくる仕組みの解明
助教	田中 健二郎	情動や社会性の発達メカニズム
助教	日高 千晴	社会性行動における脳内膜タンパク質の役割の探求
助教	Vadym Zinchuk	蛍光標識によるタンパク質の相互関係の定量化
助教	高橋 弘	精神・神経疾患の病態解明と創薬研究

医学部 医学科 病理学

教授	村上 一郎	ランゲルハンス細胞組織球症の研究、病理診断学
教授	降幡 睦夫	ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
准教授	倉林 睦	VHL遺伝子と糖代謝

教員紹介

准教授 長沼 誠二 食道ガンの浸潤転移のメカニズム
 助教 井口 みつこ 人体病理
 助教 田中 千遥 人体病理
 助教 藤澤 和音 人体病理

医学部 医学科 生理学(統合生理学)

教授 山口 正洋 匂いが情動を誘導する機構、大人の脳のニューロン新生、食嗜好の神経機構
 准教授 谷口 睦男 香り・フェロモンを感知する脳の仕組み
 助教 越智 経浩 脂肪肝(非アルコール性脂肪性肝疾患)と糖代謝
 助教 村田 芳博 味を感じる仕組みの生理学、匂い記憶の脳内メカニズム

医学部 医学科 生理学(循環制御学)

教授 佐藤 隆幸 医療機器の開発と事業化支援
 准教授 池田 哲朗 心不全時の自律神経系の制御機構
 助教 市川 厚 生体循環における呼吸機構の相互作用
 助教 戸高 寛 自律神経による心筋保護作用の機序解明と応用

医学部 医学科 生化学

教授 本家 孝一 生体膜の由来方とはたらき・生化学 / 糖鎖生物学 / 脂質生物学
 准教授 戸田 勝巳 エストロゲンの生理作用の解析
 講師 太田 信哉 分子遺伝学とプロテオミクスによる分裂期染色体構造の理解
 助教 久下 英明 神経シナプスがつくられる仕組みを明らかにする研究
 助教 宮原 馨 糖脂質の細胞内輸送とその制御

医学部 医学科 遺伝子機能解析学

教授 麻生 悌二郎 遺伝子発現(転写~翻訳後修飾)制御とヒト疾患との関連の解明
 助教 安川 孝史 転写伸長因子の発生・分化における役割の解明、タンパク質修飾

医学部 医学科 生体分子構造学

教授 関 安孝 天然変性タンパク質の構造と機能発現メカニズムの解明

医学部 医学科 薬理学

教授 齊藤 源顕 下部尿路・性殖器の薬理学
 准教授 清水 孝洋 緊張するとなぜトイレが近くなる? 排尿の脳内メカニズムを探る
 助教 東 洋一郎 高次脳機能障害の機序解明と治療法の開発 脳内グリア細胞の薬理学
 助教 清水 翔吾 脳が制御する排尿機能の解明

医学部 医学科 微生物学

教授 大畑 雅典 ウイルス感染による発がん、微生物と血液疾患の関係、血液腫瘍の病態解明
 准教授 松崎 茂展 バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
 助教 橋田 裕美子 皮膚微生物叢と疾患との関係、微生物感染と発がんに関する研究
 助教 樋口 智紀 がんの個別化医療につながる新しい分子標的を探索する研究

医学部 医学科 寄生虫学

准教授 是永 正敬 寄生虫病学、熱帯医学、寄生虫感染防御機構の研究

医学部 医学科 免疫学

教授 宇高 恵子 T細胞認識・抗腫瘍免疫
 准教授 清水 健之 特異的免疫反応の活性化機構
 助教 小松 利広 T細胞の腫瘍内浸潤機構の解明

医学部 医学科 法医学

教授 古宮 淳一 外傷病理病態、法アルコール学、法医学防医学的研究
 助教 中西 祥徳 法医学分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)
 助教 西村 拡起 法中毒学、法医学防医学的研究

医学部 医学科 医療学(環境医学)

教授 菅沼 成文 産業医学、環境医学、国際保健、特に職業性呼吸器病
 講師 弘田 量二 PM2.5・抗菌剤のアレルギー・機能性食品
 助教 栄徳 勝光 神経分化、肺疾患におけるエピジェネティクス解析
 特任助教 安光ラヴェル香保子 出生コホート調査・発達障害

医学部 医学科 医療学(公衆衛生学)

教授 安田 誠史 高齢者の介護予防、日本人での生活習慣病予防
 講師 宮野 伊知郎 医療・介護連携システムの開発および有効性評価研究

医学部 医学科 医療学(医療管理学)

教授 小林 道也 消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と癌化学療法との臨床試験
 講師 岡本 健 大腸癌に対する腹腔鏡手術と化学療法

医学部 医学科 家庭医療学(寄附講座)

寄附講座教授 阿波谷 敏英 地域における医学教育、プライマリケアの医療経済的意義、地域包括ケアシステム、へき地医療、在宅医療
 准教授 松下 雅英 高齢者におけるインフルエンザワクチン接種後の効果に関する研究
 特任准教授 西村 真紀 女性の健康問題(体や心の心配事)に家庭医がどう関わるかの研究

医学部 医学科 災害・救急医療学(寄附講座)

特任教授 長野 修 災害医学教育、救急医学教育、重症患者管理、南海トラフ地震における高知県の災害医療対応に関する研究

医学部 医学科 医学教育創造・推進室

教授 高田 淳 高齢者の心血管疾患に関する研究
 准教授 藤田 博一 医学教育、統合失調症、気分障害の心理教育

医学部 医学科 医学教育創造・推進室・体育

講師 野田 智洋 学習者が運動経過を把握する能力に関する研究

医学部 医学科 消化器内科学・内科(消化器)

教授 西原 利治 肝癌抑止と生活習慣病研究
 准教授 岩崎 信二 原発性胆汁性肝硬変・自己免疫性肝炎の病態と治療
 講師 耕崎 拓大 胆膵疾患の先進治療
 講師 岡本 宣人 上部消化管の先進医療
 助教 野崎 靖子 肝がんの診断と治療
 助教 廣瀬 享 肝硬変の診断と治療
 助教 小笠原 光成 非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と診断
 助教 木岐 淳 悪性胆膵疾患の治療
 特任助教 吉岡 玲子 胆膵領域における診断と治療

医学部 医学科 内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)

教授 寺田 典生 腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究
 教授 藤本 新平 糖尿病の病態解明、新規治療に関する研究
 准教授 西山 充 食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究
 講師 堀野 太郎 腎臓病診断のための新規バイオマーカーの開発
 講師 田口 崇文 内分泌・甲状腺疾患の画像診断研究と病態解析
 助教 井上 紘輔 急性腎障害における尿中バイオマーカーの研究
 助教 島村 芳子 慢性腎臓病における新規バイオマーカーの研究
 助教 谷口 義典 難治性リウマチ性疾患の新規画像診断法と治療法の開発
 助教 中山 修一 肥満患者における食欲調節の解明
 助教 平野 世紀 糖尿病における膵β細胞不全および再生の機序の解明
 助教 船越 生吾 糖尿病における骨代謝について
 特任助教 近江 訓子 非アルコール性肝臓と糖尿病の関連について
 特任助教 松本 竜季 急性腎障害における熱誘導蛋白質の役割を明らかにする研究

医学部 医学科 血液・呼吸器内科学・内科(血液・呼吸器)

教授 横山 彰仁 呼吸器・アレルギー疾患の病態、診断および治療
 准教授 窪田 哲也 肺癌の治療
 講師 砥谷 和人 血液疾患の治療
 講師 大西 広志 喘息、慢性閉塞性肺疾患および間質性肺炎の病態、診断および治療
 助教 酒井 瑞 呼吸器疾患の病態・治療
 助教 谷口 亜裕子 血液疾患の治療
 助教 森 正和 リンパ系腫瘍の診断・治療
 助教 高山 裕介 呼吸器疾患の病態・治療
 助教 向田 賢市 呼吸器疾患の病態・治療
 特任助教 大河原 知治 SOCSの遺伝子治療

医学部 医学科 老年病・循環器内科学・内科(老年病・循環器)

教授 北岡 裕章 虚血性心疾患、心筋症、心不全、老年医学
 准教授 山崎 直仁 心臓病の身体所見(心音、心機図)
 講師 久保 亨 心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発
 助教 馬場 裕一 心筋症・心不全
 助教 弘田 隆省 不整脈疾患
 助教 野口 達哉 動脈硬化性疾患に対する理学的・薬物的な血管新生の誘導、血管内カテーテル治療
 助教 宮川 和也 虚血性心疾患・BLS/ICLS/JMECC(心肺蘇生講習)

医学部 医学科 神経内科学・内科(神経)

教授 古谷 博和 認知症、難治性神経・筋疾患の研究と治療法の開発
 講師 大崎 康史 パーキンソン病・類縁疾患
 助教 森田 ゆかり パーキンソン病・類縁疾患

医学部 医学科 小児思春期医学・小児科

教授 藤枝 幹也 免疫抑制状態と感染症、小児脳性麻痺など脳障害に対する自家臍帯血単核球細胞輸血
 准教授 久川 浩章 小児癌に対する免疫療法、化学療法後の免疫能
 助教 石原 正行 小児腎疾患について
 助教 大石 拓 アレルギー疾患の患者教育の方法について、気管支喘息発作の誘発因子の研究
 助教 山本 雅樹 先天性心疾患および不整脈、小児救急、学校心臓検診
 特任助教 菊地 広朗 小児血液腫瘍
 特任助教 三浦 紀子 超低出生体重児の循環管理

医学部 医学科 神経精神科学・精神科

准教授 下寺 信次 精神疾患の心理教育と国際共同研究、中高生のメンタルヘルス、うつ病の薬物療法の適正化
 特任准教授 澤田 健 精神疾患の原因を頭部MRIや動物モデルを用いて明らかにする研究
 講師 上村 直人 認知症と自動車運転
 助教 赤松 正規 一般精神医学
 助教 掛田 恭子 医学教育学、リエゾン精神医学、精神腫瘍学、緩和医療
 助教 安岡 江里奈 一般精神医学
 特任助教 大崎 千栄 一般精神医学

特任助教 須賀 楓介 うつ病・心的外傷後ストレス障害(PTSD)の病態解明、高知県における自殺予防対策

医学部 医学科 皮膚科学・皮膚科

教授 佐野 栄紀 乾癬、皮膚瘡、膠原病、アトピー性皮膚炎
准教授 中島 喜美子 乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究
講師 中島 英貴 メルケル細胞癌のポリオマーウイルス
助教 大湖 健太郎 乾癬、掌蹠膿疱症におけるケモカインの動態
助教 高石 樹朗 乾癬発症に関わる分子機構の解明、上皮細胞の生物学
助教 山本 真有子 関節症性乾癬
助教 藤岡 愛 自己免疫性水疱症、薬疹
特任助教 木戸 一成 皮膚癌一般、メラノーマ、皮膚腫瘍

医学部 医学科 放射線医学・放射線科

教授 山上 卓士 インターベンショナル・ラジオロジー、画像診断
准教授 南口 博紀 正確な画像診断をもとにより低侵襲である画像下治療を立案し実行する。(特に静脈や門脈系)
講師 村田 和子 PETおよびMRIを用いた画像診断に関する研究
特任講師 小川 加奈 各種癌治療における低侵襲画像誘導放射線治療の開発
助教 岩佐 瞳 画像診断一般、核医学
助教 田所 導子 心臓CT、心臓MRI
助教 山西 伴明 放射線増感剤併用動脈塞栓療法の開発
助教 宮武 加苗 CT・MRI診断学

医学部 医学科 外科学(外科1)・外科(一)

教授 花崎 和弘 肝臓腫瘍の新規治療、人工臓器研究、漢方の薬物動態研究
特任教授 大島 雅之 胆道閉鎖症早期発見、カテーテル感染、新生児・小児内視鏡手術
准教授 杉本 健樹 乳癌治療、遺伝性腫瘍、マンモグラフィ遠隔診断
講師 駄場中 研 乳癌、一般外科、骨盤機能(便秘)治療
講師 並川 努 胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術、癌化学療法
助教 沖 豊和 乳腺・内分泌、造影超音波の乳癌への応用
助教 上村 直 消化器外科/肝臓脾外科/周術期管理
助教 北川 博之 食道外科、食道癌の胸腔鏡手術、蛍光イメージングを用いた手術の工夫、周術期管理
助教 坂本 浩一 小児外科、新生児外科
助教 辻井 茂宏 消化器外科/学生・研修医の教育について
特任助教 小河 真帆 乳腺、内分泌、遺伝性乳癌・卵巣癌
特任助教 菅生 貴仁 固形癌に対する新規遺伝子治療

医学部 医学科 外科学(外科2)・外科(二)

教授 渡橋 和政 心臓手術の死角を減らし安全性と確実性を高める技術の開発
准教授 西森 秀明 心臓血管外科治療における脳合併症予防法の確立
講師 穴山 貴嗣 低侵襲手術を支援する新規イメージング技術の開発、抗血栓剤感受性試験の臨床応用
講師 栗山 元根 遊離皮弁における再灌流障害について
助教 福富 敬 Shaggy aortaに対する治療デバイスの開発に関する基礎的検討
助教 弘瀬 伸行 No-touch saphenous vein graftの長期開存に寄与する因子の解明および内視鏡的採取法の開発
助教 山本 正樹 確実性を追求する心臓手術のための術中検査システム開発
助教 岡田 浩晋 肺癌の転移リンパ節におけるバイオマーカー検索
助教 廣橋 健太郎 胸部外科学、肺癌・胸部悪性腫瘍の診断と治療
特任助教 木原 一樹 心臓血管外科手術における低侵襲手術の検討、人工心肺使用開心術におけるDeAirの検討
特任助教 矢野 晶子 足病変における下肢救済へ向けた治療戦略の確立

医学部 医学科 麻酔科学・麻酔科

教授 横山 正尚 疼痛の機序、術後認知機能、周術期管理、集中治療、ヘインクリニック、局所麻酔薬
講師 河野 崇 周術期に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
講師 北岡 智子 緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
助教 青山 文 術後認知機能障害の病態機序解明および予防戦略に関する研究
助教 山中 大樹 慢性的痛み診療の基盤となる情報の集約
特任助教 勝又 祥文 術後認知機能障害の病態機序解明および予防戦略
特任助教 北村 園恵 周術期疼痛に関する研究

医学部 医学科 産科婦人科学・産科婦人科

教授 前田 長正 子宮内膜炎の謎に迫ろう、臍帯血を用いた脳性麻痺治療と再生医療
助教 谷口 佳代 子宮内膜炎のメカニズムと薬物療法
助教 松島 幸生 臍帯血幹細胞を用いた脳性麻痺治療および再生医療、胎児超音波を用いて胎児の健康状態を評価
助教 都築 たまみ 生殖内分泌
助教 牛若 昂志 タイムラプスを用いた子宮内膜炎腹腔細胞の解析、卵巣がん再発予防のための免疫活性化

医学部 医学科 整形外科・整形外科

教授 池内 昌彦 関節・スポーツ関連疾患の診療および関節痛の基礎研究
准教授 武政 龍一 脊椎骨髄病、骨粗鬆症、医用人工材料、脊柱変形、脊椎スポーツ障害、脊椎低侵襲手術
講師 川崎 元敬 有痛性骨関節疾患に対する集束超音波技術による新規治療法の開発
助教 岡上 裕介 人工関節、関節バイオメカニクス
助教 喜安 克仁 脊椎骨髄病、骨粗鬆症の臨床研究、手術
助教 泉 仁 肩、肘、スポーツ、運動器の痛み
助教 田所 伸朗 脊椎骨髄病診療における臨床神経生理学

医学部 医学科 眼科学・眼科

教授 福島 敦樹 眼炎疾患発症機序の解析と新しい治療の開発
准教授 福田 憲 眼アレルギー疾患及び眼感染症に対する新しい治療法の開発

講師 岸 茂 眼循環、未熟児網膜症
学内講師 角 環 角膜結膜疾患、涙道疾患、眼表面再建手術
助教 松下 恵理子 網膜硝子体疾患、加齢黄斑変性の治療
助教 西内 貴史 網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教 多田 憲太郎 網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教 中平 麻美 緑内障、緑内障手術
特任助教 石田 わか 眼炎疾患発症機序の解析と新しい治療の開発

医学部 医学科 耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科

教授 兵頭 政光 発声および嚥下の機能解析と治療、嚥下機能の客観的評価基準作成
准教授 小林 泰輔 中耳・内耳疾患の病態解析、中耳疾患に対する内視鏡手術
講師 小森 正博 中耳の慢性炎症の病態解明、睡眠時呼吸障害
助教 池永 弘之 嗅覚障害および味覚障害の診断と治療
助教 長尾 明日香 音声障害の病態評価と治療、高速度カメラによる声帯振動の解析
助教 弘瀬 かほり 痙攣性発声障害
助教 松本 宗一 顔面神経麻痺におけるウイルス動態、顔面神経麻痺後遺症の治療
特任助教 伊藤 広明 めまいの基礎的臨床的研究

医学部 医学科 脳神経外科・脳神経科

教授 上羽 哲也 悪性脳腫瘍の分化制御におけるメチル化CPG結合タンパクMBD1の機能的解析
准教授 中城 登仁 間脳・下垂体腫瘍の治療、松果体病変に対する下垂体の関与
講師 福井 直樹 3Dモデルを使用した、手術・血管内手術シミュレーション
助教 八幡 俊男 ゲノム可塑性から悪性幹細胞の弱点を探る
助教 上羽 佑亮 脳卒中後のロボットリハビリテーションの可能性
助教 川西 裕 悪性脳腫瘍に対する免疫療法

医学部 医学科 泌尿器科学・泌尿器科

教授 井上 啓史 癌の浸潤・転移、血管新生における分子生物学、および光線力学に基づく癌の診断・治療
講師 辛島 尚 癌の浸潤・転移に関する血管新生の役割と抗血管新生治療
講師 蘆田 真吾 遺伝子発現解析に基づく前立腺癌に対する間質の役割に関する研究
助教 深田 聡 泌尿器腹腔鏡手術、高齢者の泌尿器癌に対する外科的治療、周術期管理
助教 福原 秀雄 泌尿器癌に対する新規治療法の開発
特任助教 久野 貴平 排尿筋過活動に対する5-ALAによる改善効果の検討
助教 刑部 博人 泌尿器科分野における腫瘍の発生メカニズムとその治療に関する研究

医学部 医学科 歯科口腔外科学・歯科口腔科

教授 山本 哲也 口腔外科、口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
講師 北村 直也 口腔癌のセンチネルリンパ節同定法の開発、パテリオフィージを利用した細菌感染症制御法の開発
講師 笹部 衣里 口腔癌の治療耐性獲得機序に関する研究
助教 仙頭 慎哉 歯科口腔外科学、口腔腫瘍学

医学部 医学科 病態情報診断学

教授 松村 敬久 臨床検査医学・心臓超音波検査
准教授 藤本 穰 免疫シグナル異常と疾患、臨床免疫学
助教 上岡 樹生 幼若血小板分画検査の臨床応用、感染・炎症に関連して発生する呼吸器腫瘍

医学部 附属病院 検査部

講師 竹内 啓晃 ヒロリ菌感染症、薬剤耐性菌と院内感染、食品・食材の生体効果と創薬
助教 岡崎 瑞穂 内分泌代謝疾患

医学部 附属病院 手術部

准教授 山崎 一郎 CGH等の分子生物学的手法を用いた前立腺癌研究
助教 吉田 行貴 頸頭部癌再建

医学部 附属病院 放射線部

准教授 刈谷 真爾 小線源放射線治療の確立、放射線による癌細胞死のメカニズム
助教 吉松 梨香 インターベンショナル・ラジオロジー
特任助教 梶原 賢司 腹部・骨盤領域の診断やカテーテル治療の有用性を明らかにする研究

医学部 附属病院 救急部

特任准教授 山内 英雄 病院前救護体制の改革、災害医療、医学教育
特任講師 福田 仁 破裂脳動脈瘤の病態に関する疫学的アプローチ
特任講師 古田 興之介 神経疾患(特に脳卒中)における再生医療の研究
特任講師 門田 知倫 いかにして災害関連死をなくすか
助教 阿部 秀宏 モニタリングによる周術期輸液管理についての検討
特任助教 濱田 知幸 虚血性心疾患、心不全

医学部 附属病院 輸血・細胞治療部

講師 今村 潤 輸血・細胞治療の研究と臨床応用

医学部 附属病院 集中治療部

講師 矢田部 智昭 集中治療室における栄養と血糖管理
助教 立岩 浩規 神経障害性痛の病態機序の解明と新規治療法の開発に関する研究
助教 田村 貴彦 重症患者における栄養管理に関する研究

教員紹介

医学部 附属病院 リハビリテーション部		
准教授	石田 健司	介護予防・防・ロコモ対策・介護機器開発研究
助教	永野 靖典	地域医療におけるリハビリテーション医学の研究

医学部 附属病院 総合診療部		
教授	瀬尾 宏美	能動的学習や臨床技能教育に関する研究
准教授	武内 世生	感染管理、臨床推論、HIV感染症、医学教育
講師	小松 直樹	総合診療、プライマリ・ケア／地域医療
助教	北村 聡子	総合診療、心肺蘇生教育、禁煙外来、不整脈治療

医学部 附属病院 内視鏡診療部		
准教授	小野 正文	非アルコール性脂肪性肝疾患の疫学と治療
特任准教授	谷内 恵介	膵臓がんペプチドワクチンの開発
助教	水田 洋	ピロリ菌遺伝子変異と各種疾患の病態との関連について

医学部 附属病院 病理診断部		
准教授	弘井 誠	造血管疾患の臨床病理学的研究
講師	戸井 慎	人体病理

医学部 附属病院 周産母子センター		
講師	池上 信夫	周産期(出生前診断)、更年期(ホルモン補充療法)
講師	泉谷 知明	子宮内膜症の腹腔免疫メカニズム
助教	荒木 まり子	小児内分泌疾患、早産児の成長、内分泌機能について
助教	玉城 渉	川崎病における心磁図の有用性に関して
講師	松下 憲司	合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達

医学部 附属病院 がん治療センター		
特任助教	前田 広道	外的刺激に対する肝細胞、膵細胞の反応に関する研究

医学部 附属病院 免疫難病センター		
教授	仲 哲治	がん・自己免疫病・炎症性疾患における診断薬・創薬開発
特任准教授	世良田 聡	疾患関連蛋白解析による新規バイオマーカーおよび新規抗体医薬開発への応用
特任助教	平松 宏祐	卵巣癌膜蛋白質を標的とした新規治療薬の開発

医学部 附属病院 医療安全管理部		
准教授	久米 基彦	ヒト肺癌細胞株の生物学的特徴に基づく予後予測の試み

医学部 附属病院 薬剤部		
教授	宮村 充彦	臨床薬理学、天然物化学、嚥下機能改善剤の開発

医学部 附属病院 次世代医療創造センター		
特任准教授	浅野 健人	臨床試験プロジェクトマネジメント、レギュラトリーサイエンス、データマネジメント
特任准教授	二宮 仁志	情報科学、統計学、データマネジメント、プロジェクト・リスクマネジメント、意思決定論
特任講師	田井 麻美	品質管理、モニタリング、レギュラトリーサイエンス
特任助教	藤本 匡志	データマネジメント、臨床研究情報管理、データベース設計
特任助教	黒岩 朝	データマネジメント、統計学、代数学(整数論)

医学部 医学科 英語		
講師	Ribble Daniel Brownson	比較音楽学、尺八の国際化に関する研究、英語圏の語源学

医学部 医学科 分子細胞生物学		
特任シニアフェロー	富永 明	免疫担当細胞・サイトカインによる生体制御機構の解明、海洋生物資源による免疫応答の調節
准教授	田口 尚弘	造礁サンゴ染色体解析・DNAマーカー作製、ヒト癌・サル・住血吸虫の遺伝子・染色体解析

医学部 附属医学情報センター		
教授	奥原 義保	医療情報システム、医療情報データの解析
准教授	島山 豊	医療情報解析、データマイニング
講師	渡部 輝明	数理科学的手法を用いた診療情報解析と感染症の感染動態の解析
助教	中島 典昭	安全で確実な医療提供を支援する医療情報システムの研究
助教	永田 桂太郎	診療により蓄積されたデータを用いて診療の役に立つ情報を得る

医学部 先端医療学推進センター		
講師	沈 淵	臍帯血幹細胞から抗腫瘍エフェクター細胞へ分化誘導・免疫学、再生医療学
助教	王 飛霏	脳性麻痺モデルに対する臍帯血幹細胞移植の治療メカニズム
助教	馬場 伸育	臍帯血幹細胞の分化増殖能と損傷組織修復のメカニズムの解析
助教	山下 竜幸	組織幹細胞の分化増殖法、保存法の開発、および幹細胞を用いた損傷組織の修復
特任助教	Abderrahim Najj	癌を引き起す組織の解明

医学部 看護学科 基礎看護学		
教授	池内 和代	母子・家族の健康、助産学教育及び看護管理に関する研究
教授	栗原 幸男	保健医療データの解析、安心・安全な医療情報利用のしくみの研究
教授	森木 妙子	看護師長、時間管理、経営意識、災害看護、看護管理の工夫に関する研究
准教授	赤松 恵美	女性の健康予防と浮き指に関する研究、育児・指導に関する研究
講師	岡田 久子	知的障がい児・者の女子の性発達支援に関する研究
助教	下田 真梨子	中堅看護師の離職に関する研究

医学部 看護学科 臨床看護学		
教授	大井 美紀	精神障がいをもつ人のリカバリー(自分の人生を歩むこと)支援に関する研究
教授	溝渕 俊二	高知県の機能性素材の探索
教授	山脇 京子	慢性疾患患者のQOL
准教授	松岡 真里	医療ニーズが高い子どもと家族の「生きる体験」と小児緩和ケアモデル考案
講師	青木 早苗	がん看護・エンドオブライフケアに関する研究
講師	小松 輝子	助産師学生の感性に関する研究、女性の骨盤と尿失禁に関する研究
講師	高橋 美美	大学生の精神看護技術修得について、対人援助技術に関する研究
講師	濱田 佳代子	妊娠、出産、育児の支援に関する研究
講師	吉村 澄佳	働く女性の健康に関する研究、睡眠と健康
助教	寺下 憲一郎	がん患者・高齢者の癒し・生きがいに関する研究
助教	川合 弘恭	小児慢性疾患をもつ子どもや思春期・青年期の人に関する研究
特任助教	渡部 嘉哉	天然由来成分の機能性に関する免疫学的解析

医学部 看護学科 地域看護学		
教授	奥谷 文乃	においや味の情報は脳でどのように処理されているか
講師	齋藤 美和	人材育成に関する研究、公衆衛生看護
講師	杉本 加代	壮年期における生活習慣
講師	廣野 祥子	在宅療養者が地域で生活し続けるためのケアマネジメントおよび看護
助教	林 昌子	在宅生活を送る脳卒中高齢者の持てる力・高齢者看護
助教	和田 庸平	地域包括ケアシステムにおける連携や在宅療養者を含めたパートナーシップに関する研究

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 暖地農学専攻領域		
教授	尾形 凡生	果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発
教授	島崎 一彦	試験管内の組織培養によるランの苗生産技術の開発と希少植物の生態調査
教授	村井 正之	福遺伝・育種、老人・病院用ご飯、米粉パン用極多収晩生品種、良食味・鑑賞用稲
准教授	西村 安代	野菜の養液栽培・生理障害・園芸施設的光環境・環境保全型農業
准教授	増田 和也	農山漁村における資源利用と社会変容に関する研究
准教授	松川 和嗣	高知県独特の和牛である土佐あかしの生産振興にかかわる研究
准教授	宮内 樹代史	園芸ハウスの環境制御技術の開発、植物生産流通システムの最適化
准教授	水崎 彰	水稲の高温登熟性・水分生理に関する研究、熱帯有用植物の栽培生理
講師	濱田 和俊	果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明
講師	松島 貴則	労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究
講師	山根 信三	循環型農業生産・高品質種なし果実の作出・GTL利用省エネ多収農業

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 自然環境学専攻領域		
教授	荒川 良	天敵昆虫を利用した農林・衛生害虫の防除の研究、害虫管理技術開発
教授	石川 勝美	パン適性小麦、天然資源・麦飯石の高度利用、水の構造化、植物工場
教授	大谷 和弘	生物活性天然化合物の探索と地域保健への応用
准教授	伊藤 桂	ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化生態学
准教授	手林 慎一	植物の病虫害や環境に対する抵抗性の化学的・分子生物学的解明
准教授	森 牧人	広域農林生態系の気象環境学的評価

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 森林科学専攻領域		
教授	大谷 慶人	きのこの生態と栽培、樹木精油の機能、木材・非木材ハルブ・紙
教授	後藤 純一	林業機械の開発、林業作業計画のための森林空間情報システムの開発
特任シニアフェロー	塚本 次郎	環境・生物多様性保全に配慮した森林管理技術、落葉分解系の空間分布パターン
准教授	市浦 英明	機能紙に関する研究、バイオマス産業廃棄物の再資源化に関する研究
准教授	市栄 智明	樹木の成長や繁殖・環境ストレス応答に関する研究
准教授	鈴木 保志	林道・架線、森林作業システム、木質バイオマスの収穫と利用
准教授	古川 泰	地方自治体の林業政策、林業労働問題、南アジア林業
講師	松本 美香	中山間地域における森林管理、林業林産物加工、集落構造

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 生産環境学専攻領域		
教授	河野 俊夫	食品偽装防止技術、食品への異物混入検出技術などの食品安全工学
教授	藤原 拓	地球温暖化を考慮した流域水環境管理に関する研究
教授	松本 伸介	農業水利施設の構造設計、建設材料の新規開発、音環境の調査
准教授	齋 幸治	地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善
准教授	佐藤 周之	流域水環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究
准教授	佐藤 泰一郎	中山間地域の水・土・里環境保全、環境型傾斜地農業の推進
准教授	松岡 真如	衛星データやデジタル地図を活用した陸域環境の解析

農林海洋科学部 農芸化学科		
教授	芦内 誠	バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立
教授	岩崎 貢三	土壌—植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業
教授	枝重 圭祐	動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関わる遺伝子の探索
教授	木場 章範	植物の発病・免疫機構の解明〜病気に罹らない植物をつくらう!〜
教授	金 哲史	昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究
教授	康 嶋梅	土壌・水の有害金属汚染、草原退化の機構解明と対策
教授	田中 壮太	熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業
教授	永田 信治	食と健康と環境に役立つ有用微生物探索と産業利用
教授	奥地 康史	植物細菌・ウイルスと植物の相互作用の解明、植物病害防除技術開発
准教授	上野 大勢	高等植物の栄養生理に関する研究
准教授	柏木 丈祐	食品中の生体調節物質の探索、食品の香り成分の有効利用
准教授	島村 智子	食品成分に関する研究、食品の機能性の解明
准教授	村松 久司	産業用酵素の探索・機能解析・応用法の開発

講師 若松 泰介 新規有用たんぱく質の探索、機能解析・構造解析、そして応用

農林海洋学部 海洋資源科学科 海洋生物生産学コース

教授 足立 真佐雄 赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産
 教授 池島 耕 沿岸の環境、水生生物の生態と保全に関する研究
 教授 大嶋 俊一郎 魚病原因微生物の診断・感染機構・防除法、養殖魚の生産に関する研究
 教授 關 伸吾 魚介類の品種改良、野生集団の遺伝的保全に関する研究
 教授 森岡 克司 養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用
 教授 益本 俊郎 魚が必要とする栄養素の働きを調べ、餌の開発に利用する研究
 准教授 足立 亨介 海産無脊椎動物と深海動物を用いたバイオテクノロジー
 准教授 中村 洋平 魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態
 准教授 深田 陽久 魚類の食欲・消化・成長に関する研究、ブランド養殖魚の開発
 准教授 山口 晴生 海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明
 講師 今城 雅之 魚類の病原微生物(ウイルス、細菌、寄生虫)に関する研究

農林海洋学部 海洋資源科学科 海底資源環境学コース

教授 上田 忠治 新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析
 教授 岡村 慶 海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発
 教授 村山 雅史 海洋の物質循環と海底資源形成に関する研究
 教授 寄高 博行 海洋表層流の変動に関する研究
 准教授 西尾 嘉朗 化学を用いた地球の謎(海底資源成因や地震火山機構等)の解明
 准教授 野口 拓郎 海底熱水活動に伴う有用金属・有害金属の動態解明
 助教 長谷川 拓哉 機能性無機材料の開発と新機能付与

農林海洋学部 海洋資源科学科 海洋生命科学コース

教授 久保田 賢 造礁サンゴなどの海洋生物のタンパク質や遺伝子に関する研究
 教授 津田 正史 海洋微細藻からの有用物質の探索と開発、およびDNP-NMR研究
 教授 長崎 慶三 海洋生態系におけるウイルスの役割と存在意義に関する研究
 教授 深見 公雄 海洋微生物の生理・生態とその働きを利用した環境保全・修復
 准教授 金野 大助 有機反応化学および量子化学計算による分子構造・反応解析
 准教授 櫻井 哲也 藻類等の生命情報を網羅的に用いた比較解析によるゲノム研究
 准教授 寺本 真紀 有益な物質の生産や環境浄化にむけた有益な微生物の探索・構築
 准教授 難波 卓司 海洋生物が産生する化合物の薬理作用の探索と真核細胞の恒常性維持機構の解析
 准教授 三浦 収 海産無脊椎動物の生態と進化の研究
 准教授 山田 和彦 次世代型NMR装置の開発
 助教 小野寺 健一 海洋共生微細藻を大量に培養し未利用物質資源を探索する研究
 助教 Dana Ulanova 海洋微生物の二次代謝産物生成成研究

地域協働学部 地域協働学科

教授 池田 啓実 自律創発型組織の構造特性及びその社会基盤に関する分析
 教授 市川 昌広 人や村落の土地利用・森林利用と暮らし、日本の中山間地域問題
 教授 上田 健作 非営利組織の機能及び非営利組織の経営に関する研究
 教授 受田 浩之 食品成分の分析技術の開発、健康維持成分の検索
 教授 内田 純一 成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論
 教授 大石 達良 日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究
 教授 鈴木 啓之 現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公信用論
 教授 玉里 恵美子 中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究
 教授 辻田 宏 スポーツ法学、スポーツ政策論、地域スポーツ振興論、スポーツサービスマーケティング
 准教授 石筒 寛 工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策、サービスマーケティングのプログラム開発
 准教授 大槻 知史 持続的な地域運営の支援(防災、地域活性、遺産保全)、防災教育
 准教授 霜浦 森平 都市農村交流と農村ツーリズムに関する研究
 准教授 中澤 純治 産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析
 准教授 中村 哲也 地域スポーツ社会学、運動部活論、スポーツと体罰研究
 准教授 松本 明 持続可能な地域づくりに資する計画論、評価方法、人材育成等
 准教授 湊 邦生 地域研究(モンゴル)、計量社会学、多文化関係学、地域協働学
 准教授 吉岡 一洋 グラフィックデザインにおけるマス・イメージの創造
 講師 今城 逸雄 地域と協働した教育開発の研究、商店街活性化に関する研究
 講師 須藤 順 コミュニティデザイン、地域活性化、ソーシャルビジネス、アイデア創出、場づくり
 講師 田中 求 日本・熱帯諸地域の農山漁村における多様な豊かさの再構築研究
 講師 藤岡 正樹 防災教育、地域防災、避難シミュレーション、社会的起業
 講師 俣野 秀典 組織における知の創造、大学教職員の能力開発、ファシリテーション
 助教 斉藤 雅洋 地域づくりと住民の学習、地域活動における学び、社会教育論、生涯学習論、環境教育論
 助教 佐藤 洋子 地方都市・農村における女性の労働と生活に関する研究

全学教育機構(土佐さきがけプログラム担当)

准教授 前西 繁成 非営利組織のマネジメント、企業の社会的責任
 講師 柴田 雄介 マルチメディアを活用した英語音声教育の研究
 特任講師 Sharpe Michael John グローバル言語としての英語、英語史

大学教育創造センター

教授 塩崎 俊彦 17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究
 准教授 立川 明 科学教育における能動学習の効果、高等教育における能動学習の効果
 特任准教授 杉田 郁代 授業の中の学生支援(学生の居場所がある授業づくり)に関する研究

アドミッションセンター

准教授 大塚 智子 入試data解析、学力・適性など評価方法の研究
 特任准教授 喜村 仁詞 大学と受験生のコミュニケーションに関する研究

学生総合支援センター

准教授 松本 秀彦 特別支援教育、発達障害者支援、学習困難者に対する学習支援
 特任講師 坂本 智香 文章表現教育、日本語文法、英語成績不振の要因に関する研究

教師教育センター

准教授 松島 朝秀 科学的手法を用いた文化財資料の調査及び保存環境の研究
 特任准教授 楠瀬 弘哲 メタ認知能力の育成を図る理科問題解決学習指導法の開発

総合研究センター

教授 大西 浩平 病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明
 教授 木下 泉 魚類の初期生活史および個体発生に関する研究
 准教授 加藤 伸一郎 遺伝子工学的手法による含硫化合物合成系の機能解析
 准教授 斉藤 知己 海洋生物(甲殻類、ウミガメ等)の生態、繁殖、分類に関する研究
 准教授 坂本 修士 非翻訳RNAの産生変動が引き起こす病態生理現象
 准教授 津田 雅之 発生工学的手法を用いたマウスの発生や再生に関する研究
 准教授 平岡 雅規 海藻類の生殖、生態、増養殖に関する研究
 助教 都留 英美 自然免疫系細胞を中心とした生体防御システムの解析
 助教 樋口 琢磨 小分子RNAを介した癌化制御に関する研究
 特任助教 田中 秀則 タンパク質の機能を調節する分子を「つくる、しらべる」

地域連携推進センター

特任教授 川澤 慶洋 地方創生による地域活性化事業の企画立案・検証
 准教授 石塚 信史 産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学
 准教授 吉用 武史 域学連携、自治体との連携に基づく地域活性化事業の企画立案
 特任准教授 川竹 大輔 高知の中小企業事情 地方自治
 特任准教授 吉金 優 地域農水産物の機能性解明や利活用
 講師 下方 晃博 知的財産 産学連携
 特任講師 赤池 慎吾 森林の公益性に関する通時的分析、文化遺産を活用した観光まちづくり、将来人口推計を使った地域づくり
 特任講師 岡村 健志 自治体や企業などが実施する地域プロジェクトの企画・開発や運営支援
 特任講師 中島 悦子 高知県の食材を活かした加工食品の商品開発や品質管理
 助教 森 明香 環境社会学、川の文化、河川開発をめぐる住民運動の基盤と論理
 特任助教 大崎 優 地域経済構造分析、中山間地域問題分析、自転車振興によるまちづくり
 特任助教 梶 英樹 自治体等との連携に基づく地域活性化事業の企画立案及び運営支援
 特任助教 川田 尚弘 日本サッカーとドイツサッカーのコーチング比較研究、スポーツを通じた地域貢献

国際連携推進センター

教授 新納 宏 国際協力、開発途上国論、移行経済国の市場経済化支援、中央アジアの地域開発
 教授 林 翠芳 日本語の語彙に関する研究、日中対照研究
 准教授 大塚 薫 日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究
 准教授 神崎 道太郎 読解と論述・作文との教授法における関連付け
 特任講師 岡本 葉子 開発と環境、国際協力、地域振興
 助教 Garcia Del Saz Eva 国際交流・協力・支援、海外との産学官民連携の推進

学術情報基盤図書館

准教授 佐々木 正人 分散システムの管理運用技術の研究
 助教 石黒 克也 素粒子物理学、格子量子色力学、情報教育

保健管理センター

教授 井上 顕 自殺対策、精神医学(特に不安症)、メンタルヘルス、社会医学
 教授 岩崎 泰正 ストレスの分子機構解明と肥満・生活習慣病治療への応用
 准教授 澁谷 恵子 医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築

海洋コア総合研究センター

教授 池原 実 新生代における地球環境システム変動の解明
 教授 岩井 雅夫 新生代地球表面圏の生物・環境多様性の形成・進化に関する研究
 教授 安田 尚登 メタンハイドレート生成やガス生産時における海底地層に及ぼす影響評価
 教授 山本 裕二 地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明
 特任教授 臼井 朗 海底鉱物資源の形成過程、形成条件の研究
 特任教授 徳山 英一 海底鉱物・エネルギー資源の形成プロセスに関する研究、海底活構造研究
 准教授 氏家 由利香 微化石生物を用いた海洋生態系と地球環境の進化
 助教 Kars Myriam 環境磁気学的手法による続成作用および古環境・古気候変動の研究
 特任助教 浦本 豪一郎 外洋深海底の鉱物資源形成メカニズムの研究
 特任助教 山口 龍彦 地質時代の生物進化と環境変動を明らかにする研究

IR・評価機構

教授 岩崎 保道 大学評価及びIR(Institutional Research)に関する研究

安全・安心機構

准教授 小島 優子 ヘーゲル哲学における行動と言葉に関する研究
 准教授 廣瀬 淳一 男女共同参画人材の育成、利他性と幸福度の研究

教職大学院設置準備室

准教授 森 有希 道徳教育及び道徳科の指導に関する研究

国立大学では日本初! 一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。

本研究科の修士課程では、人文社会科学、教育学、理学、医科学、看護学、農学という6つの学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

また、平成30年度には、現職教員の再教育の場としての役割に重点を置きつつ、学部卒学生についても実践力を身に付ける場として教職大学院(専門職学位課程 教職実践高度化専攻(仮称))の設置を予定しています(設置申請中)。

履修の特徴

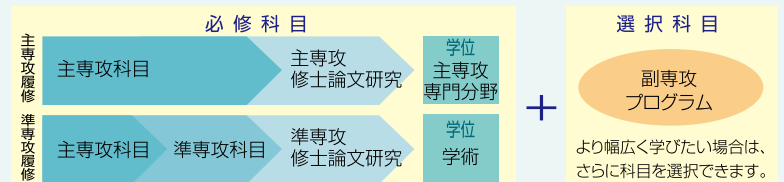
修士課程

目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修

所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。

また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

修士課程の履修システム



<準専攻履修について>

当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養する従来型の教育課程の他に、平成20年度の大学院改組により大学院が一元化となったことを活用した領域横断型の教育を行う「準専攻」が開始され、現在では以下の3つの準専攻履修制度が設けられています。

- 黒潮圏総合科学準専攻
黒潮流域圏のフィールドを中心に、異分野履修により領域横断的かつ文理統合的な幅広い課題探求能力を身につけることを目的としています。
- 植物医学準専攻
植物科学の広汎な知識を基礎として、植物の健全な生育と利用に関する最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。
- 海洋鉱物資源科学準専攻
海洋鉱物資源(レアメタル)をキーワードとした最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。

<副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意された4つのレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

- レディーメイド副専攻プログラム例
「環境科学」「医療福祉学」「高(知・智・地)の科学(ISK)」「現代教育学」

専門職学位課程【教職大学院】

教員としての深い学識・卓越した能力を養成

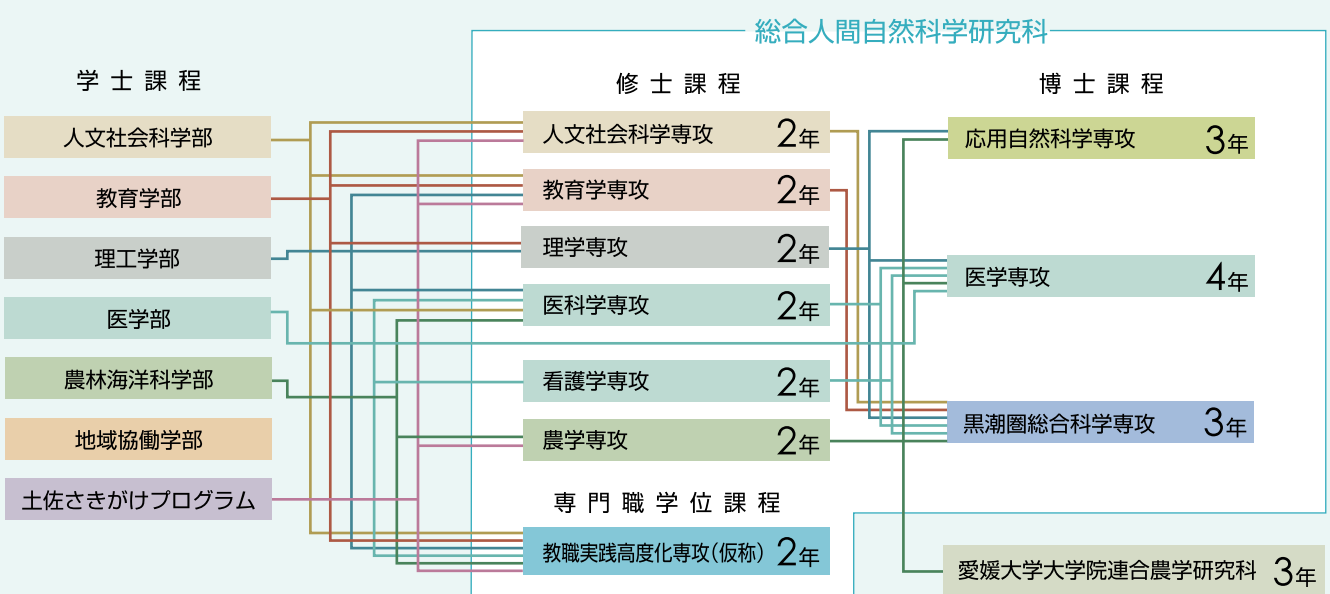
「共通科目」と「実習科目」、「総合実践力科目」、学校運営、教育実践、特別支援教育のコース別「専門科目」を履修します。

博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得

各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

進学イメージ図



修士課程

人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保障する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献し得る人材を養成します。

- 人文科学研究コース
 - グローバル社会研究コース
 - 社会科学研究コース
- } 定員10名

教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的で実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用し発展できる創造的な資質を持った教員を養成します。

- 学校教育コース
 - 授業実践コース
- } 定員12名

理学専攻

学術研究の高度化・多様化、情報化、グローバル化やIT革命に代表される社会の急激な変化に柔軟に対応できる大学院教育を行います。理学コースでは、数学、物理科学、生物科学、地球科学の諸分野、更に学内・外の研究施設や機関と連携し、多様で創造的な教育・研究を推進し、新しい先端的な基礎理学を創り出すことのできる人材を養成します。応用理学コースでは、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の諸分野において、科学・技術における国際的な激しい競争の中で基礎研究から応用研究までを見据え、高度な課題探求能力を發揮できる人材を養成します。

- 理学コース
 - 応用理学コース
- } 定員75名

医科学専攻

近年、先端医療の進歩とともに医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。この状況に的確に対応するために、自然科学のみならず人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。本専攻では、自然科学系学部や人文科学系学部を含む幅広い学部卒業者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身につけた医科学分野の研究者、さらには社会的諸問題を医科学を基礎として包括的に捉え得る人材を育成します。

- 医科学コース
 - 公衆衛生学コース
- } 定員15名

看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身に付けた人間力豊かな人材を養成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身に付けた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者を養成します。

- 看護学コース
- 定員12名

農学専攻

地域社会及び国際社会の健全な発展に貢献するために「安全・安心な食料の確保」「生物資源の高次有効利用」「地域・地球環境の保全と修復」に関する教育・研究を展開することは、農・林・水産学分野の使命です。本専攻では、多様化した社会の要請や研究分野へ柔軟に対応できる教育システムにより、個々の学生の資質や進路に応じた個別の履修計画に基づく教育を行って、高度な知識と技術を併せ持つ人材を養成します。

- 農学コース
- 定員59名

専門職学位課程【教職大学院】教職実践高度化専攻(仮称)

常に高知県の学校教育の現場を念頭に置き、学校教育に関わる理論と実践の融合によって、学校教育が直面する諸課題の構造的・総合的な理解に立って学校教育運営をマネジメントし、実践できる中核の中堅教員と、授業力の向上や学級経営等の充実を目指して組織的な授業改善をリードできる中核教員、また、特別支援教育に関する指導・支援の充実を図り、組織的な体制を構築することのできる中核教員を養成します。

- 学校運営コース
 - 教育実践コース
 - 特別支援教育コース
- } 定員15名

※本専攻の内容については、設置申請中のため、変更になる場合があります。

博士課程

応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を培います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探索し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋自然科学コース
 - 物質機能科学コース
- } 定員6名

医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指し、地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成します。

- 生命科学コース
 - 医療学コース
 - 情報医療学コース
 - 小児神経精神医学コース
 - MD-PhDコース
- } 定員30名

黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

- 共生科学コース
 - 人間科学コース
- } 定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいまもなく、外国人にも門戸を開いています。

海外へ行って学ぶ

海外に出て行き学ぶことは、語学力や研究力の研鑽はもちろん、異文化理解、国際的視野の獲得、日本文化の発信など様々な意義を持っています。



新しい世界を知ることができた

朝日 佳奈 人文学部国際社会コミュニケーション学科2年
(兵庫県立八鹿高校出身)


ノルウェーのヘッドマーク大学(現・インランドノルウェー応用科学大学)に半年間留学しました。以前から留学したいと考えていて、あまりメジャーではない未知の国への好奇心からノルウェー留学を決意しました。英語で行われる英米文学や英文法・音声等の授業を受講しましたが、受講生の9割がノルウェーの学生で、ディスカッション等では英語力の差を身にしみて感じました。大量の予習やエッセイの課題にはクラスメイトの倍以上の時間がかかり、友人との会話ではちゃんと自分を表現できず、思うようにいかないことも多くありました。しかし、ノルウェー語というおもしろい言語や文化の違いはもちろん、目まぐるしく変化する日照時間、北部では極夜やオーロラを見るなど様々なことを経験できました。

また、EUに加入していないノルウェーですが、簡単にヨーロッパの国々へ旅することができます。それぞれの国の街並みや文化からは、多くのことが感じられました。留学したことで、もっと勉強しなければいけない、知らないことがたくさんあると感じました。今後もこの気持ちを忘れずにがんばります。



大学では陸上部に所属していて、留学先でもマラソン大会に積極的に参加しました。

留学先DATA

インランドノルウェー応用科学大学 
ノルウェー王国

■ 学部 教育・自然科学部、公衆衛生学部、経営管理学部、応用生態学・農芸科学部

■ 概要 2017年1月、ヘッドマーク大学とリレハンメル大学が合併し、インランドノルウェー応用科学大学となりました。

※学生の所属・学年表記は平成28年度のものです。

国際交流協定

高知大学では、アメリカや中国など19の国と地域、58の大学、研究所と大学間で国際交流協定を結んでいます。協定校は交換留学先となるほか、毎年たくさんの学生が短期海外研修で高知大学を訪れます。

大学間協定校一覧 2017.3.1現在

- インドネシア
 - ブラビジャヤ大学
 - チェンダラワシ大学
 - ポゴール農業大学
 - スリウィジャヤ大学
 - ハルオレオ大学
 - タンジュンブラ大学
- タイ
 - コンケン大学
 - カセサート大学
 - チェンマイ大学
 - タマサート大学
- 韓国
 - 漢陽大学校
 - 明知大学校
 - 韓瑞大学校
 - 国立慶尚大学校
 - 金剛大学校
 - 東国大学校
 - 白石大学校
- フィリピン
 - フィリピン大学
 - ピコール大学

- 中国
 - 佳木斯大学
 - 天津師範大学
 - 陝西科技大学
 - 南京航空航天大学
 - 揚州大学
 - 上海海洋大学
 - 安徽大学
 - 北京聯合大学
 - 瀋陽薬科大学
 - 北京外国語大学
 - 河南大学
 - 東北大学秦皇島分校
 - 常州大学
- ベトナム
 - ハノイ科学工業大学
 - ハノイ科学大学
 - ハノイ国立教育大学
 - タイグエン大学
- マレーシア
 - マレーシアアボラ大学
 - マレーシアサラワク大学
- 台湾
 - 国立中山大学
 - 東海大学
 - 中国文化大学
 - 国立東華大学

- オーストラリア
 - クイーンズランド大学
- アメリカ
 - カリフォルニア州立大学フレズノ校
 - ロードアイランド大学
 - テキサス大学ダラス校
- ブラジル
 - 南マットグロッソ連邦大学
- メキシコ
 - 国立ポリテック工科大学 応用研究所 サルティジョ校
 - サルティジョ工科大学
- イタリア
 - サッサリ大学
- オランダ
 - ハンゼ応用科学大学
- スウェーデン
 - イエーテボリ大学
- チェコ
 - 南ボヘミア大学
 - チェコ科学アカデミー生物学センター
- ノルウェー
 - インランドノルウェー応用科学大学
- バーレーン
 - アイルランド王立外科医学院バーレーン医科大学
 - アラビア湾岸諸国立大学
- ガーナ
 - ガーナ大学

留学

学生時代の留学は一生の思い出となり、また大きな自信にもつながります。海外留学に少しでも興味があるという方は、ぜひ国際連携推進センターに相談に来てください。交換留学の情報や国際交流イベントのお知らせなどは、高知大学のHPからチェックできます。 <http://www.kochi-u.ac.jp/international/>

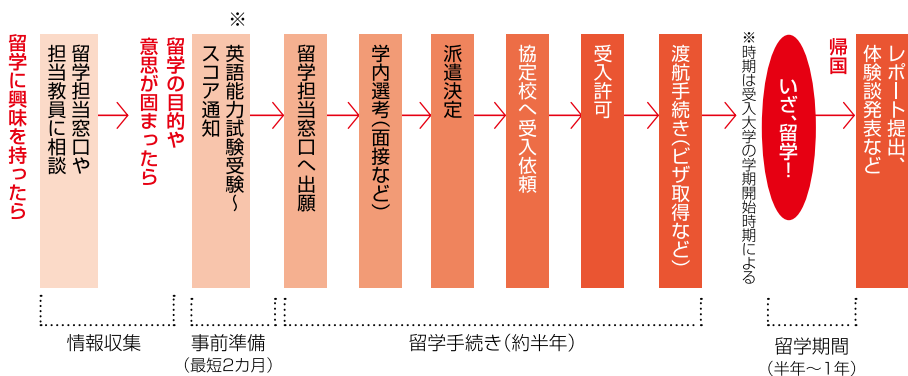


▶ 留学の種類

- **交換留学** 留学先の大学で取得した単位が高知大学の単位として認定されます。留学期間中は高知大学に授業料を納付します。留学先での授業料は必要ありません。期間は半年または1年間で、4年間で卒業も可能です。
- **私費留学** 高知大学を休学し、自分の希望する留学先で学びます。休学中は、高知大学の授業料は免除されますが、留学先で授業料等の費用が発生します。

▶ 留学の流れ — 協定校への留学 —

留学の種類や期間、行き先によって要件や手続きの流れは異なります。



※ 英語圏の大学への留学は、英語能力をはかる試験で一定以上のスコアをクリアする必要があります。主にTOEFLかIELTSのスコアが用いられます。

TOEFL

英語を母語としない人の英語能力をはかるテストです。リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングのテストからなります。

IELTS

海外留学や研修のための英語力を証明するテストです。英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界中で受験者が増え続けています。高知大学でも年2回受験できます(平成29年度)。

▶ 海外留学説明会

協定校への交換留学を希望している学生に対し、手続きや奨学金などについての説明会を開催しています。先輩学生の留学体験談や海外経験豊富な先生からの危機管理についての講義のほか、個別相談も行っています。



▶ 国際交流基金

高知大学では、国際交流基金という独自の奨学金制度があり、複数の事業で毎年多くの学生を助成しています。そのうちの一つが海外へ留学する学生への奨学事業で、海外の大学で学ぶ日本人学生に奨学金を支給しています。海外で生活するうえでの負担を少しでも軽減しよう、という趣旨のもとで行っています。(実績:平成28年度14人)



海外での経験はあなたの人生をきっと豊かなものにしてくれるはず。勇気を出して挑戦してみませんか？

▶ 国際連携推進センター

国際連携推進センターでは、外国人留学生に対する修学上及び生活上の指導助言を行うとともに、交換留学を希望する学生に対して、説明会や留学相談の実施をはじめ、協定校の情報提供、留学先の修学上及び生活上の指導助言を行っています。個人相談も受け付けています。

また、「海外留学メーリングリスト」に登録すると、留学に関する情報をメールで受け取ることができます。なお、2階の国際交流スペースでは、実際に交換留学を経験した先輩学生の留学体験レポートや、協定校のパンフレットを閲覧できます。



国際交流スペース



学内で世界に触れる

留学生の受け入れ

ジュライラ・ゴンサルブス

JALILAH GONSALVES

ロードアイランド大学
(アメリカ)からの
交換留学生



高校の授業で日本語に触れる機会があり、ひらがなと漢字を使う言語に興味を持ち独学で勉強を始めました。その後大学で日本語を学び、さらに日本語を上達させたいと、生活するのに日本語が欠かせない環境である高知への留学を決めました。高知は、景色もきれいだし、地元の人がよく話しかけてくれたり、困っていたら助けてくれたりして、とても生活しやすいです。

日本の歴史や政治・経済、アメリカとの関係にも興味を持っていて、留学生向けの語学の授業の他に、日本語で行われる歴史や経済の授業も受講しています。授業やバレーボールサークルで日本人学生と接することも多いですが、もっと仲良くなりたいですね。この夏は、よさこいにも挑戦したいです。



友人の家でクリスマスパーティ。留学生と日本人学生が集まって色んな国の料理を持ち寄って、楽しみました。



チャン スンフン

張 昇勳

JANG SEUNGHOON

人文学部3年
韓国からの留学生



高校の時に日本語に触れ、発音や語順が韓国語と似ていることから親しみを覚えて、日本語の勉強を始めました。長崎にある短期大学を卒業後、日本語や日本文化をもっと学びたいと思い、3年次編入で高知大学に入学しました。

3年生からの編入は、すでに周りが仲良くなっていて、最初は不安でした。でも、意識して自分から積極的に声をかけたところ、周りの皆もすぐ受け入れてくれて、今ではゼミ仲間とは家族のように仲良しになりました。OASISのパートナーシップで知り合った日本人学生や留学生たちと四万十へ遊びに行ったのもいい思い出です。

日本も日本文化も大好きなので、将来は貿易や観光、通訳など、日本と韓国をつなぐような仕事をしたいですね。



第1回学長杯留学生による日本語スピーチコンテストに「日韓の懸け橋に」をテーマに出場し、最優秀賞に選ばれました。

キャンパスで異文化交流

高知大学では、世界19ヶ国146人の外国人留学生在が学んでいます(2016年10月1日現在)。授業やサークル、キャンパスで見かけたら思い切って話しかけてみましょう!



カルチャーカフェ



カルチャーカフェは、日本人、外国人、学生、先生、誰でも参加OKなカフェです。みんなでお茶を飲みながら、国際交流を楽しみます。みなさんも入学したらぜひ一度、カフェに顔を出してみてください。

活用しよう!

自律学習支援センター(OASIS)

オアシス

語学学習の教材を備えた「OASIS」では、IELTS対策講座のほか、日本人学生と留学生の交流活動を支援しています。
(OASISについては64ページをご覧ください。)

▶ パートナーシッププログラム

外国語を学びたい日本人学生と日本語の上達を目指す留学生との間で行われている交流活動がパートナーシッププログラムです。英語⇔日本語、中国語⇔日本語など、自分の学びたい言語を話す留学生とペアになって互いの言葉を教え合います。会話が上達するにつれて、より深い考えや意見を交換することができるようになります。



▶ 学生の自発的な活動をサポート

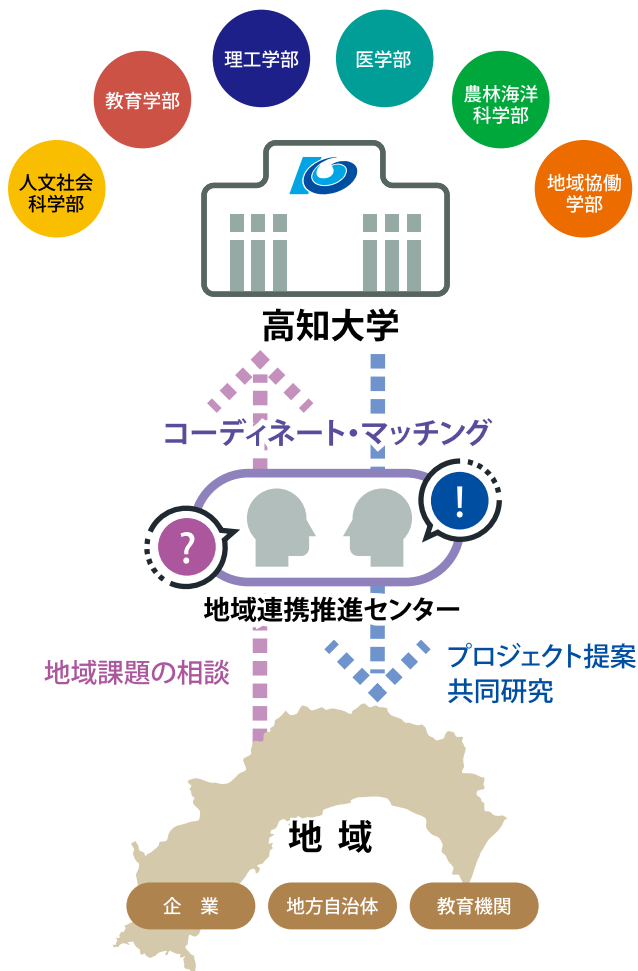
語学に関する企画をサポートします。過去には、英語で異文化交流を行う英会話クラブや、短期のTOEIC対策講座を開催しました。まずは、お気軽にご相談ください。



地域との連携 Collaboration with the Region

■ 地域連携推進センターの概要と役割

地域連携推進センターは「地域を敬い、人を愛する 一敬地愛人一」の理念を掲げ、地域発展のために人材育成、イノベーション創出、科学の発展、技術開発および産業活性化への貢献を目的としています。



地域と教育研究の現場をつなぎ、共に解決の道を探る

地域を支える本学のプロジェクトとして「土佐フードビジネススクリエーター (FBC) 人材創出」、「高知大学 インサイド・コミュニティ・システム (KICS)」、「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム (TS i)」を展開しています。これらは地域に根差す大学として機能させてきた取組であり、関係機関からも高い評価を得ています。

KICSでは、高知県全域の企業や自治体、教育機関等、あらゆる組織からの総合窓口としての仕組みを構築し、産学官民マッチングを図っています。産学官連携事業として、室戸海洋深層水の機能性評価を実施しています。また、TS i では、地方創生推進士育成科目を履修した学生を「地方創生推進士」として認定するとともに、インターンシップ等を通じて地域企業と学生のマッチングを行うことで、卒業生の県内就職を支援しています。

■ 事例紹介



土佐フードビジネススクリエーター (FBC) 人材創出

食品産業の知識・技術の習熟を志す社会人や学生が共に学ぶ専門講座です。



室戸海洋深層水の機能性評価事業

室戸海洋深層水の飲用による健康面の効果を医学部とともに検証、商品開発へ活用します。



就職に役立つ地方創生推進士の称号付与

地域への理解と自律協働能力を養う教育を受けた学生に称号が付与されます。

▶ 詳細は84ページ

教育研究施設 Facilities

■ 学内施設



学術情報基盤図書館 中央館

▶ 朝倉キャンパス

メディアの森

外観が特徴的な「メディアの森」。図書館と情報センターの機能を備えています。館内は無線・有線LANが整備されていて、図書・雑誌はもとより、電子ジャーナルやデータベースも利用できます。ひとり静かに学習したり、グループでディスカッションしたり、備え付けのパソコンを利用したりと多様な学習環境を提供しています。



勉強用なら出力無料

学生の学習を支援するため、学術研究用のプリントアウトは年間上限枚数まで無料です。



▶ レファレンスカウンター

図書館利用を支援するサービスを行っています。図書館資料の利用方法や情報検索指導、資料の所在調査等の相談に応じるほか、高知大学にない本や論文のコピーなどを学外から取り寄せることもできます。

▶ グループ学習室 個人用キャレル

1人用学習スペースと、3人から10人で利用できるグループ学習室があります。

▶ 雑誌コーナー

話題の新刊や一般雑誌も豊富です。

▶ 情報コンセントコーナー

備え付けのパソコンや自分のノートパソコンからネットワークプリンタへの印刷が可能です。

▶ 教育端末室

情報関連授業で利用されています。授業時間外では、自習使用することが可能です。

▶ アクティブラーニングフロア

学生が集まって、グループディスカッションやグループワークができるスペースです。可動式のテーブルやイス、ホワイトボードがあり人数や目的に合わせてレイアウトを変更して利用できます。

▶ 開架閲覧室

蔵書は2階から5階まで分野別に並んでいます。



キャレル



アクティブラーニングフロア



総合案内

学術情報基盤図書館 医学部分館

▶ 岡豊キャンパス

時計台が目印になる岡豊キャンパスの図書館です。

勉学に熱心な医学部生のために、閉館後も許可制のカードキーを使用すれば、入退館可能です。

また県内の医療関係者を支援し、地域貢献の役割も担っています。



専門図書閲覧室

- ▶ 開架閲覧室
- ▶ 情報検索コーナー
- ▶ グループ学習室・個室
- ▶ 雑誌室

学術情報基盤図書館 物部分館

▶ 物部キャンパス

物部キャンパスに通う学生のみならず、共同研究ならびに近隣の研究者もよく利用する地域に開かれた図書館です。



南閲覧室

- ▶ 南・北閲覧室
- ▶ 情報コンセントブラウズ室
- ▶ 雑誌コーナー
- ▶ グループ学習室
- ▶ 多目的室

interesting & useful!



オアシス

自律学習支援センター(OASIS)

Open-Access Center for Self-regulated Independent Study

▶ 朝倉キャンパス

主に語学についての教材貸出しや自学自習を目的としたスペースで、人文社会科学部棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語学習や留学生との交換レッスンなど、自律的な学習を支援しています。

語学教材は10,000点以上!

IELTS、TOEIC、英検などの各種検定試験対策問題集や、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・韓国語・日本語や日本語教育関連の教材、月刊誌などがそろっています。

▶ 自習コーナー

メディアの森と並んで利用度の高い学習スペースです。センター内は無線LANが整備されています。語学学習用のCDプレイヤーを使って、発音練習などもできます。映画のDVDやDVDプレーヤーも多数あり、常時視聴が可能です。



自習コーナー

▶ マルチメディア教室

定員20名のグループ学習室には各種視聴覚機器やプロジェクターなどが設置されており、IELTS講座やグループ学習、授業などにも利用されています。



マルチメディア教室

▶ 個別学習室・ペア学習コーナー

パートナーシッププログラム(留学生との交換レッスン)や少人数での学習で利用できます。



useful!



保健管理センター

▶ 朝倉キャンパス ▶ 岡豊キャンパス ▶ 物部キャンパス



朝倉キャンパス 保健管理センター

学生や教職員が健康で安全な大学生活を送れるようサポートしているのが保健管理センターです。何かの時にはすぐに対応できるよう内科の医師と看護師が常駐し*

、婦人科の専門医も定期的に医療相談を行っています。二次対応が必要な場合は、症状に合わせて医学部附属病院や近隣の病院を紹介します。また近年は身体の健康だけでなく心の健康——メンタルヘルスにも力を注いでおり、精神科の専門医や臨床心理士が、学生や教職員の心の不調や悩みの相談にのれる体制を整えています。

さらに、より積極的に学生の健康増進や病気の予防に関わろうと、食生活や生活習慣も含めたトータルな視点で学生をサポートしているのも大きな特徴です。

定期的に取り組んでいること

- 健康診断: 全学生対象
- 特殊健診: 実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- 心電図検査: インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- 骨密度検査
- 感染症対策、予防接種のチェック
- メンタルヘルスに関するアンケート調査: 新入生が対象
- メンタルヘルス講演会
- イベント: 料理づくり、ヨガ教室、アルコールパッチテストなど

*物部キャンパスは看護師のみ常駐

research!



総合研究センター

総合研究センターは、海洋部門、生命・機能物質部門からなり、①海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域貢献、②生命・機能物質部門に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域連携の2つの機能を担っています。

- 海洋部門: 海洋生物研究教育施設(65ページ参照)
- 生命・機能物質部門: 遺伝子実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、動物実験施設

遺伝子実験施設 ▶ 物部キャンパス

遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のための施設として重要な役割を果たしています。



実験実習機器施設 ▶ 岡豊キャンパス

形態系、生化学系、免疫系、生理系の各系に、それぞれの研究分野で必要な大型の共通利用機器が完備されています。共通利用機器の使用指導、実験技術の指導、受託解析等を通じて高知大学を中心とした県内の生命科学関連研究の遂行をサポートしています。



動物実験施設 ▶ 岡豊キャンパス

生命科学分野の教育・研究の推進は、実験動物の尊い命の犠牲の上に成り立っています。このことを踏まえ、実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。





理工学部附属水熱化学実験所

▶ 朝倉キャンパス

100℃、1気圧よりも高温、高圧の水が関与する水熱反応を専門に研究を行う世界でも希な施設です。この水熱反応を利用して、機能性セラミックス材料や高活性触媒の合成、セルロースなどからの高付加価値有機物への変換、有害物質や産業廃棄物の処理・処分に関する研究を行っています。卒業論文、修士論文、博士論文を作成するための学生や国内外の共同研究者に、実験の場を提供しています。



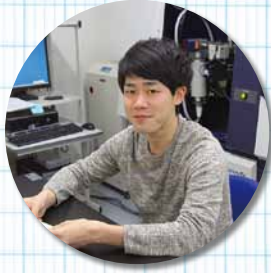
水熱反応の準備、生成物の分離、洗浄などの作業を行います。

田北直也

理学部応用理学科応用化学コース4年(大分県立大分高校出身)

私は、熱電材料について研究しています。熱電材料とは、熱を電気エネルギーに直接変換できる材料のことで、例えば自動車から発生し使わずに捨てられてしまっている熱(廃熱)から発電できるため、新たなクリーンな発電技術として期待されています。これまでに実用化された熱電材料は、毒性があり、資源的にも問題がありました。そこで私は、無毒性で豊富な元素からなる環境に優しい新たな熱電材料と注目されているカルコパイライトという化合物を、水熱反応を用いて合成することにより、熱電材料としての特性を向上させるために研究を行っています。

Voice 学生の声



理工学部附属高知地震観測所

▶ 朝倉キャンパス

地震観測や測地計測に基づいて地震の発生、地球内部構造、地殻変動等の研究を行っています。四国内8ヶ所に定常地震観測点を展開するとともに、気象庁や他大学、他機関の地震波形記録もリアルタイムで収録しています。併せて、高知県内の地震災害に関する資料の収集、場所と期間を限定した機動観測を随時実施しています。学生の実験実習や四国内の地震観測研究の拠点として使用されます。



海洋生物研究教育施設

▶ 高知県土佐市宇佐

当施設は、黒潮分岐流・仁淀川河口汽水域・リアス式内湾およびサンゴ群落の多様な環境に囲まれ、海洋生物学および水産科学に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用設備、海洋観測機器類(水温・塩分・濁度・溶存酸素・クロロフィル、流向・流速)、海洋調査実習船「豊旗丸」(19t)、「ねぶちゅーん」(5t)、「はまゆう」(2t)および船外機船を所有し、フィールド調査、飼育実験および臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。



東島昌太郎

総合人間自然科学研究科 修士課程農学専攻2年(静岡県立韮山高校出身)

海洋生物研究教育施設がある宇佐は、田舎ですが、土佐節発祥の地で、ジョン万次郎が出港したことで有名な高知屈指の漁港です。施設は多様な環境に囲まれており、実習船豊旗丸をはじめとする調査機材や設備も充実し、先生方も自ら乗船して、私たちの世界に向けた研究を後押ししてくれます。私は魚類の初期生活史について研究していますが、海に出て塩分、水温等を調べ、網を曳くことで、自然を科学的に研究することの難しさや面白さを日々、学んでいます。海洋生物に興味がある、海に関する研究がしたい方には是非お勧めの場所です。

Voice 学生の声



研究試料となる海洋生物の幼魚を飼育している水槽。

research! 海洋コア総合研究センター

▶ 物部キャンパス



海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的とし、全国共同利用施設として設立されました。2004年から海洋研究開発機構(JAMSTEC)と共同運用を行っています。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際共同研究プロジェクトである統合国際深海掘削計画[2013年10月～国際深海科学掘削計画](IODP)における世界三大拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定され、2016年1月には、第2期(平成28年度～平成33年度)の拠点認定を受け、引き続き地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究の推進を図ることとしています。



海洋コア総合研究センターは、高知大学と国の研究機関(海洋研究開発機構)が共同運用する世界屈指の地球科学分野の研究所です。

Voice 学生の声

武田大海

総合人間自然科学研究科 修士課程理学専攻地球科学分野1年
(高知県 私立高知学芸高校出身)

共通教育の講義で古地磁気を習い、面白そうだったからと研究対象にすると海洋コア総合研究センターで研究することになりました。たまたまやって来たここは世界でも有数の研究施設。目の前にあるたくさんの貴重な海洋コア試料と様々な最先端の分析機器の数々。そんな環境をどれだけ活かすことができるかは自分次第。想像力とやる気さえあればどんな研究も思うがまま。そして周りにいるのはプロの研究者。プロの持つ空気を肌を感じ、研究に対する姿勢を見習いながら、他ではできない研究をする数年間は貴重な経験になっています。



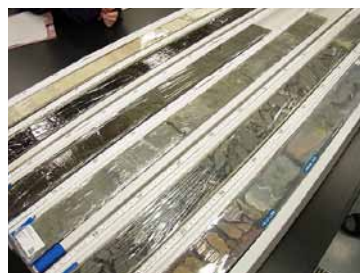
海外の研究者と触れ合えるチャンスが多いことも魅力です。

column



今、「資源」がキーワードに

海洋コア総合研究センターのもう一つのキーワードは「資源」です。そこには、研究材料としての海底の堆積物から、レアメタルをはじめとする海底資源、未知の海洋生物やその遺伝資源まで幅広い分野が含まれています。持続可能な未来社会に欠かせないこれらの研究に、高知大学の恵まれた環境で取り組んでみませんか？



海洋コア試料。海水面変動、地磁気の変化、海流系の変動、水温変化といった過去の地球環境変動が記録されています。

世界の海を研究できる!

Voice 教員の声

池原実 教授

高知大学海洋コア総合研究センター 専門分野:古海洋学、有機地球化学

地球の歴史を紐解く

海底の堆積物には、過去から現在までの海洋や気候の変化の痕跡が連続的に記録されています。それを分析・復元し、将来の環境変化の予測につなげるのがこの分野の大きな目的。日常とは全く違う時間・空間スケールで、世界をまたにかけた研究が行われています。

学生も研究船に乗って世界の海へ

高知大学の学生も、当センターが保管する世界の海底コア試料や最新設備を利用して研究を行ったり、海洋調査実習船に乗って世界の海に調査航海に出たりすることができます。必要なのは、積極性と熱意! 興味がある人はぜひ、関連する授業を受講してみてください。



研究紹介 白鳳丸の挑戦!

2016年11月11日から11月28日の18日間、北西太平洋において学術研究船「白鳳丸」による航海(国際共同研究)が行われ、本学からも多くの学生が研究者の一員として参加しました。航海中は、複数地点から海洋コアを新たに採取。約2万年前の最終氷期以降の黒潮と深層水循環の変動を復元し、東アジアの気候変動との関係の解明に取り組みました。



高知大学からは学部生や大学院生も参加。



現場を経験することが、何より大きな学びになる。



キャンパスライフ Campus Life

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
詳しくは90ページ



Year Calendar 2017-18

4

Apr.

- 入学式
- オリエンテーション
- 第1学期授業開始

入学後すぐは新入イベントが
たくさん!好きなことを見つけてよう!

5

May

各種スポーツ大会
イベント

6

June

7

July

- 演習林トレイルランニングレース
- 医学部附属病院七夕コンサート

11

Nov.

- 黒潮祭(11/3-4)
- 物部キャンパス一日公開

●室戸貫歩

室戸岬まで約90kmの道のりを歩く高知大学伝統行事!

10

Oct.

- 第2学期授業開始
- 南風祭(10/7-8)

学祭は大盛り上がり必至!
物部キャンパスではあかうしのふれあいも!

9

Sep.

- 第2学期履修登録

8

Aug.

よさこい祭り
8/10・11

- 第1学期試験期間

一度踊ったらハマる人多教!
本場のよさこいを体験してみませんか?

12

Dec.

- 医学部体育祭
- 学長杯争奪駅伝

文化系・芸術系の発表会や展示会も

1

Jan.

- 寒中水泳

2

Feb.

- 第2学期試験
- 卒論発表会

3

Mar.

- 卒業式

高知大生の毎日を
教えてください！

わたしが
お答えします！



図書館

テスト期間中には、図書館の勉強スペースをよく利用しています。周りの人が勉強していると、自分もがんばらなきゃとやる気になります。グループ学習室を借りて、友達と話し合いながら課題をすることも。

2階のPCスペースは、レポートを書くのによく使います。勉強用の資料を印刷するのに、無料でコピー機が利用できるのでもって便利！

高尾 和紗 さん

人文学部国際社会

コミュニケーション学科2年

大阪府 私立清教学園高校出身



朝から晩までいろいろ使える学食

「鶏ほん唐揚げ」は
高知大学生協
不動の人気No.1!



高知大学生協

IKUS

朝倉キャンパスの営業時間(日・祝日休み)

平日:8:00~22:00 土曜:11:00~19:00

※営業時間はキャンパスによって異なります。

私は寮生なので、基本的に食事は寮で取ります。でも、カフェテリアがお気に入り、美味しそうなものはないかなとよく見に行きます。おすすめは、クッキーシュー！大好きで、頑張った次の日のご褒美に週1で食べています。ミールカードを持っている友達が、食堂の「1円朝食」を利用しているのが羨ましいです。午前11時まで利用することができるので、1限目の授業が終わったあとに遅めの朝食を食べることもできるとか。

ミールカード

年間決まった額を先に支払うことで1日定められた額(コースによって1,200円、1,000円、600円)まで食堂メニューが食べ放題になるカードのことです。「マイページ」というリアルタイムで食事歴がわかるインターネット上のサービスもあります。また1円朝食とは、ミールカードの利用者を対象に251円の朝食メニューを250円引きで利用できるサービスのことで。



高知には
魅力的な人や自然が
たくさん!!



学食でも
カツオのたたきから始まり、色んなお刺身を美味しく食べられるようになりました。食べ物は何でも美味しいんです。

高知大生の約75%以上が高知県外から来ています 高知に住んでみてどうですか？

Q 寮での生活ってどうですか？

楽しいです！一緒に過ごす時間が長いので、友達がすぐにできるのが良いですね。ホームシックにもなりません。私の住むかつら寮では、平日の昼と夜に寮食が出るので、食についても安心です。

Q 授業以外は何をしていますか？

週4でラクロス部の活動、その後にはバイトが入っていたりして、スケジュールはみっちり詰まっています(笑)。

オフの日には、友達とカフェに行くことが多いかな。高知にはおしゃれなカフェが多いので、次はどこに行こうかとよく話しています。レンタカーを借りて四万十川や室戸ジオパークなどへ遠出もしたいですね。

Q 高知の魅力は何ですか？

生魚が食べられなかったのに、食べられるようにカツオのたたきから始まり、色んなお刺身を美味しく食べられるようになりました。食べ物は何でも美味しいんです。

相談できる場所があるのはホントに安心...



困ったことがあったら

学生何でも相談窓口

履修方法、成績、課外活動、就職、人間関係など学生生活の悩みでどこに相談したらよいか分からない時は、ひとまずこちらへ。気軽に利用してください。

受付時間:8:30~17:15

(土・日・祝日を除く)

☎ 朝倉:088-888-8010

☎ 岡豊:088-880-2786

☎ 物部:088-864-5116

✉ gsoudan@kochi-u.ac.jp

保健管理センター

それぞれのキャンパスに医師・看護師(物部キャンパスは看護師のみ)が常駐し、安全な生活をサポート。病気やケガの応急手当てから、健康やメンタルヘルスに関する相談にもついています。友達づくりなどのイベントも行っていますので参加してみてくださいね。

サークル活動

大学生活において学業を人間形成の縦糸とするならば、サークルや同好会での活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横糸のようなもの。同じ時間と思いを共有した仲間は、きっと一生の宝物になるはずです。

Club Activities

全国制覇を目指し、
合言葉は「挑戦」!

体育会サッカー部

主将 下園 直輝 教育学部3年 (福岡県 東海大学付属第五高校出身)
高知大学サッカー部は、2016年総理大臣杯16年連続26回、インカレ23年連続32回の出場を果たしました。2017年度はさらに高みを目指して部員一同練習に励んでいきます。2016年度は、川田新監督のもと、新チームスタートを切りました。総理大臣杯、全日本大学サッカー選手権とともに、全国大会に出場することができました。2017年は、天皇杯王者奪還すべく部員全員で切磋琢磨し、「挑戦」していきます。また、地域の子どもたちにサッカー指導をする少年少女サッカー教室などの地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



サークル一覧

体育系サークル

朝倉キャンパス 陸上競技部、水泳部、ヨット部、サイクリング部、Free Climbing Club、ワンダーフォーゲル部、ダンス部、硬式庭球部、ソフトテニス部、体育会サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、男女ハンドボール部、硬式野球部、バドミントン部、アメリカンフットボール部、ソフトボール部、ライフル射撃部、柔道部、剣道部、合気道部、空手道部、少林寺拳法部、弓道部、洋弓部、体育会卓球部、体操競技部、武道空手部、バスケットボール部、軟式野球部、フットサル部、ラクロス部

岡豊キャンパス 医学部合気道部、居合道部、医学部空手道部、医学部弓道部、医学部剣道部、医学部硬式庭球部、医学部ゴルフ部、医学部サッカー部、医学部自転車部、医学部蹴球会、医学部柔道部、医学部準硬式野球部、医学部ソフトボール部、医学部卓球部、医学部ダイビング部、医学部バスケットボール部、医学部バドミントン部、医学部バレーボール部、医学部ヨット部、医学部ラグビー部、医学部ワンダーフォーゲル部、水泳部、陸上競技部

硬式野球部

硬式野球部は現在選手が38名、マネージャー5名で活動しています。監督、コーチ2名、部長の指導のもと、全国で勝つことを目標に日々練習に取り組んでいます。また、野球を通しての人間の成長も大切にしています。



陸上競技部

陸上競技部では、陸上競技における技術の向上はもちろん、陸上競技を通しての豊かな人間関係の形成を目指しています。また、高知県内における陸上競技の振興活動、陸上競技を通しての地域貢献なども大きな目標として積極的な活動を行っています。



サイクリング部

サイクリング部は、高知県内の海や川、山などの豊かな自然を自転車で楽しむことを目指し、日々様々な場所へ足を運んでいます。特定の練習日などはありませんが、部員同士の都合が合えば自由に出かけています。



ヨット部

近藤 拓実 理学部2年
(岐阜県立大垣東高校出身)

みなさん、ヨットって何か想像できますか?馴染みない方が多いかと思いますが、とても魅力的な乗り物です。ヨットとは、風のみを頼りに海を滑走する原始的な乗り物です。その象徴に近代最古の国際スポーツ大会がヨットレースという歴史があります。また、部員の9割以上が大学生から始めるスポーツで、全国大会の出場も夢ではありません。一度乗れば、ヨットの虜になります。ぜひ海でお会いしましょう。

大学でしか
経験できないLIFEが
太平洋にはある!

医学部ゴルフ部

高知医科大学設立の頃から続く伝統あるゴルフ部。部員約40名。練習場で週2回の活動のほか、毎週土曜日は黒潮カントリークラブでボール拾いなどのお手伝いをする代わりに無料でラウンドさせていただいています。





高知大学のサークル数は100以上!
このほかに個性的な同好会もたくさんあります。
詳しい情報は、高知大学のホームページを
チェックしてみてください!

スマホの
カメラでは撮れない
一枚をぜひ
撮ってみませんか?

写真部

行平 壮秀 人文社会科学部1年
(大阪府 私立初芝富田林高校出身)

高知大学写真部には、カメラを触るのがはじめての方からベテランまで、様々な部員が所属しています。

また、写真の勉強会やカメラの貸し出しも実施しているので、カメラを持っていない人でも安心して活動できます。写真部全体での活動としては、週に1回の部会、月に1回の野外ロケ、そして年に1回の撮影合宿を行っています。

また、撮った作品を展示する部展も年に2回行っています。



文化系サークル

朝倉キャンパス 高知大学交響楽団、吹奏楽団、合唱団、ギターマンドリンクラブ、邦楽部、フォークソング部、FOLK FOLK、軽音楽サークルBLUESKY、SEA BREEZE、美術部、表千家不白流茶道部、裏千家茶道部、囲碁将棋部、演劇研究会、天文系サークル星の会、野生生物研究会、写真部、子ども倶楽部、ニューシネマ☆パラダイス、総合映像研究会、放送研究会JAKKU、園芸部、奇術部Trick or Treat、Hand to hand、文芸創作サークル海老銃、環境サークルESWIQ、防災すけっと隊、ジャズ研究会ゆずジャズ
岡豊キャンパス アウトドア・HAM・サークル、ACT-K、ACLS南国、医学部アジア僻地医療を支援する会、医学部ESS、医学部囲碁・将棋部、医学部裏千家茶道部、医学部映画研究会、医学部小原流華道部、医学部合唱団、医学部管弦楽団、医学部漢方研究会(うどん部)、医学部軽音楽部、医学部写真部、医学部ジャズ研究会、医学部ダンス部、医学部天文部、医学部美術部、地域医療研究会ARMS、パソコンサークルDOS/V、Peer部、フィールド医学研究会、Mental Health Care Club、医学部まんが研究部、医学部災害医療研究会

合唱団

コンクール、定期演奏会を中心に大学公式行事の演奏や訪問演奏など幅広く活動する高知で唯一の大学合唱団。宗教曲からポップス、流行歌など様々な曲を歌っています。初心者も、経験者も、高知大生も、他大学生も一緒になって音楽を楽しんでいます。



ジャズ研究会ゆずジャズ

ゆずジャズは、県内外の演奏会に積極的に参加しています! 今年も、大学生による大きなジャズフェスを高知で初めて開催するため、より一層演奏に力が入る年です。笑いあり、ぶつかり合いあり、全員で一つの音楽を作っています! 高知のジャズと一緒に盛り上げていきませんか?



表千家不白流茶道部

各人が自由な趣向で人をもてなし、もてなされる。それが、茶道の真髄です。部員全員が、「お茶で友達をもてなしてみたい」「茶道の魅力を知ってもらいたい」と、そう思えるような茶道部にしていきたいと思えます。



奇術部 Trick or Treat

マジックやジャグリングを楽しく練習する部活です。テレビで見たすごいマジック、ボールやボウリングのピンを器用に操るジャグリング…。何とそれが自分のできるようになります! さらにそれを保育園や地域のお祭りなどいろんな場所で披露しています。



吹奏楽団

団長 足達 春花 理学部2年 (高知県立安芸高校出身)

1回生から院2回生、高知大学生だけでなく、県立大生や社会人の方も多く活動しており、先輩後輩の枠を越えて活動外でも仲が良いサークルです。メインイベントの定期演奏会に、地域の依頼演奏、他大学との合同演奏会など楽しいイベント満載です! 初心者・未経験者大歓迎!

バイトなどをしている人もいるので、自分のペースに合わせて気軽に活動することができます!

高校とは
一味違う吹奏楽、
してみませんか?



Asakura 朝倉キャンパス

所在地
高知市曙町2-5-1

アプリをダウンロードして
スマホで
読み込もう

▶詳しくは
90ページ



充実キャンパスでのびのびライフ

1. メインストリート

メインストリートにそびえるワシントンヤシは、キャンパスのシンボル。おしゃれなパラソルの下は、勉強にもおしゃれにもびったりの場所です。



2. 高知大学生協 IKUS

朝倉キャンパスの学食にはカフェテリアとベーカリーが併設されています。特に焼き立てパンは種類も多くて大人気！季節ごとのアイデア商品も登場します。



ノートパソコンは授業で使うので必須です。生協で購入できますので、お問い合わせください。生協では、サポート修理も受付。安心です。

学生が多く、にぎやかなキャンパスです。メインストリートのヤシの木が南国土佐らしい！

3. hocco sweets

ホッコ・スイーツ

特別支援学校に通う生徒の就労支援の場でもある菓子工房「hocco sweets」。キャンパス内で、絶品ロールケーキや本格ドイツ菓子が食べられるのはここだけかも?!



4. メディアの森

試験前の勉強やレポート作成は「メディアの森」で。

メディアの森とは、朝倉キャンパス学術情報基盤図書館の愛称です。新聞閲覧コーナーやアクティブラーニングフロア、グループ学習室など、様々な環境が整っています。資料や専門書も、もちろん、充実。



5. トレーニング室・武道館

2013年に新設されたトレーニング室と、2014年に完成した武道館。授業でも使用しますが、特にスポーツをしている学生からは、体づくりに役立つと好評です。



学生さんに聞きました!

キャンパス周辺ガイド

周辺はスーパーやドラッグストアが多い住宅街。学生向けの食堂やカフェも多く、過ごしやすい環境です。



Watching ASAKURA campus



シンボルツリー「おうちの木」

おうち 檜クラブ学生ラウンジ ほっとステーション

建物の前面にウッドデッキや池のある広い庭があるなど、開放的で明るい空間のフリースペースです。ここちよい風や四季を感じながら、友達とのおしゃべり・ミーティング・ランチ・勉強など自由な時間を過ごしてください。

※檜(おうち)=センダン

Oko
岡豊キャンパス

所在地
高知県南国市岡豊町小蓮

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
詳しくは90ページ



医学部生は勉強も遊びも真剣！

キャンパス内にある附属病院には、2014年に屋上ヘリポートを備えた第二病棟が完成。救急医療や災害時医療など、地域の期待が大きい病院での実習には自然と身が入ります。



研究施設

勉学編

医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大学医学部の魅力です。



イベント

課外活動編

毎年10月に行われる学祭「南風祭」のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭も開催。イベントを通してみんなが仲良くなれます。勉強のストレスも発散できます！



Shop情報



1 学生食堂



2 書店



3 ホスピタルローソン



4 タリーズコーヒー



医学科ロビー



看護学科ロビー

生活編

学食はメニュー豊富でボリュームも満点。さらにリーズナブルなので、一人暮らしにはうれしい味方。キャンパス内には、患者さんのためにつくられたタリーズコーヒーや、ホスピタルローソンもあって便利です！



学生さんに聞きました！

キャンパスに面した川にはかわせみや鴨もいて、散歩すると和みますよ。また、敷地内には附属病院があり一般の方がたくさん来られます

キャンパス周辺ガイド

キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している大津周辺や一宮（御座・薮野）周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

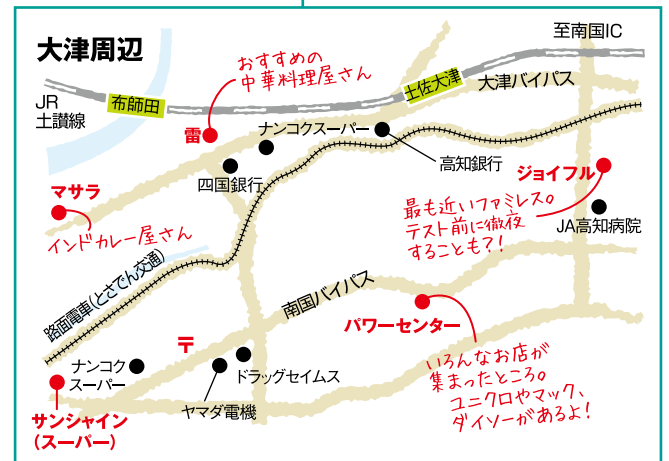
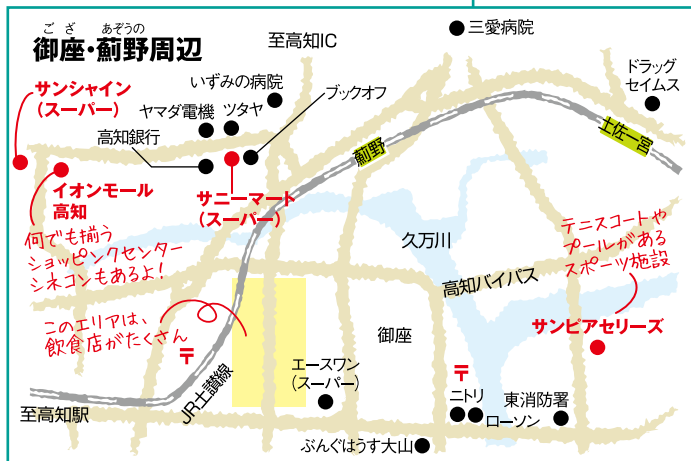
生活エリアは、ほかに南国エリアもあります。

▶ 詳しくは、物部キャンパス76ページ参照

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。



車通学には、大学からの許可証が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないで、ご注意ください。

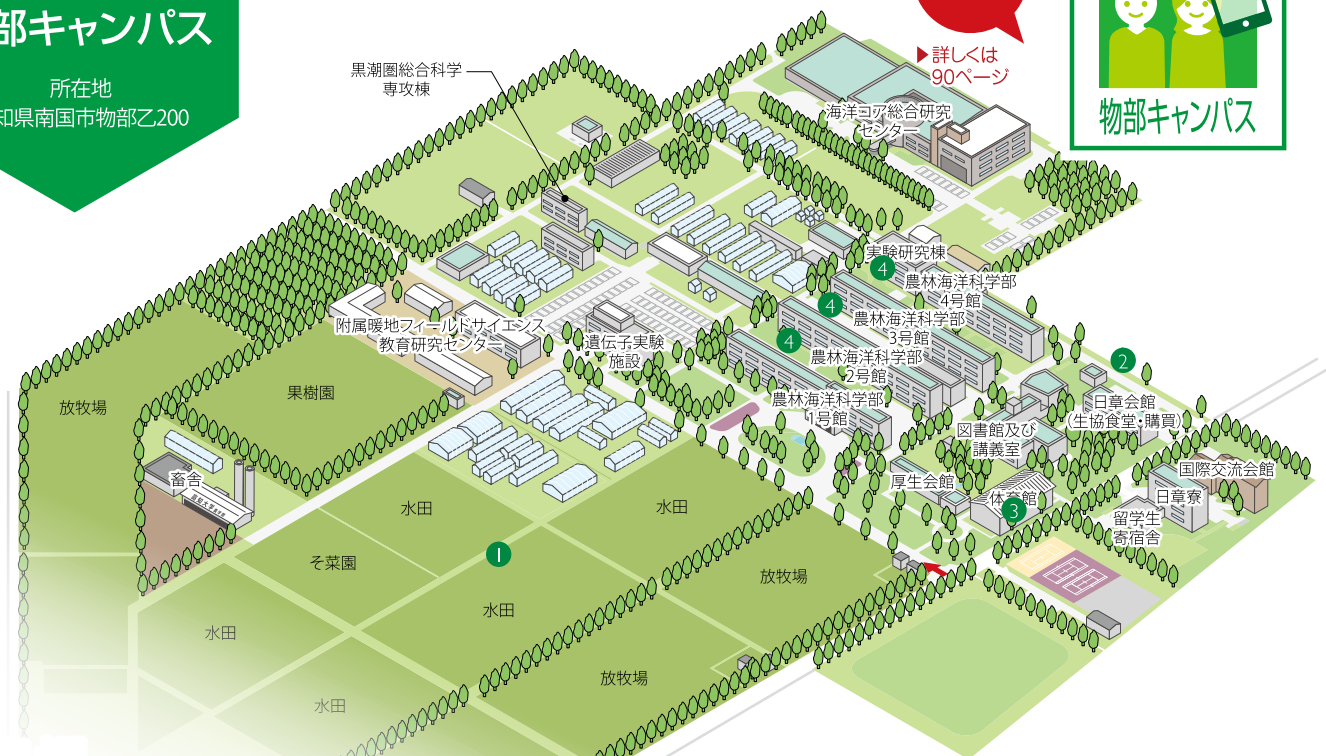


Monobe 物部キャンパス

所在地
高知県南国市物部乙200

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは90ページ



広大な農場

教室のすぐ前に広がる農場。ここで栽培されたお米や季節の野菜を構内で販売しています。安くておいしいと評判ですよ。

周囲に海、山、川。 大自然がキャンパス

学習・研究・厚生施設

グラウンドやテニスコート、体育館も申請すれば自由に使える。アクティブな生活が満喫できます!



カフェテリア

福利厚生施設



研究室



キャンパス内にある農場には、牛がたくさん。構内に農場がある大学は珍しいと思いますよ!

高知全体がフィールド

海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶ最高のフィールドといえます。自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。

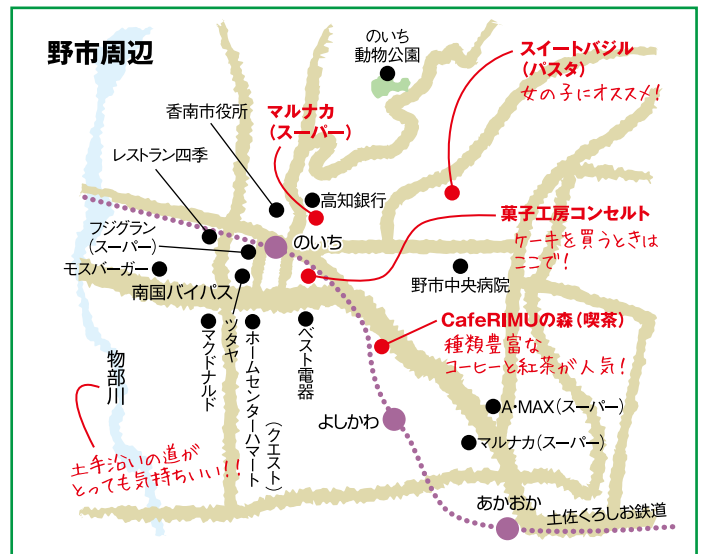


1 キャンパスに隣接する農場は、なんと東京ドーム4個分もの広さ！ 2 農場では田植え体験や、様々な農作物の栽培環境を学ぶ授業などがある 3 土佐あかうしの触れ合いや飼育管理の体験も！ 4 高知県の山は森林率日本一。亜熱帯から亜寒帯までの幅広い植生が特徴だ 5 水質日本一の仁淀川、四万十川、キャンパス横を流れる物部川など流域環境も多様 6 シュノーケリングや釣りを通じて海と触れ合う授業や、実習船で水質調査を行う授業も！ 7 海底コア研究の最先端に触れ、太古の地球から未来へと思いを馳せる 8 食や環境、土壌中に見られる様々な微生物を生育させる作業と観察を行う



キャンパス周辺ガイド

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が大空へと飛び立つ迫力の景色も堪能できます！学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



地域協働学部生 Presents!

高知、知っちゅう?

～高知県ってこんなところ～

あしも
おるぜよ

坂本龍馬



わたしたちが
紹介しま〜す!!

皆さんは、高知には何もないと思っていませんか?
高知は、海・山・川がすぐ近くにあり、
皆さんが思っているよりも魅力がたくさんあります。
高知をアクティブに駆け回る地域協働学部の私たちが実習や
普段仲間たちと訪れる場所から、高知のえいところを
厳選して紹介します。



山田彩人くん

古川森さん

岡上あさひさん



土佐の川では
このほりも泳ぐぞね!

日曜市



やきたての
カキオのたきか
最高!



ひろめ市場

高知といえ
ば、まずはここ!
高知の旬のうまいもんと活気がギュッと
集まっています。自然の恵みと高知の
おもてなしを楽しんで。

仁淀川



こんなに澄んだ
青見たことない!
これが仁淀ブルー。
BBQやラフティング
を楽しむなら、朝倉キャンパ
スから車で20分の仁淀川で!



大豊町



初めて訪れた時は、
異国の地に来た
ように感じました。

空に近い町。体いっぱい自然を感じることができ
ます。ここで見る星空は、感動もの。ゆとりとパーク
では、キャンプやアスレチックを楽しめます。



よさこい祭り

8月に行われるよさこい祭り。
高知で最も暑い日です。あな
たも絶対踊りたくなる。高知
大学にもよさこいサークルが
たくさんあります。



やー!!



室戸
ジオパーク

雄大な海、
広がる水平線、
大地の動きを感
じる地形。ここでしか見ら
れない風景があります。

黒潮町



太平洋沿岸に面し、サーフィンやホエール
ウォッチングなどマリネレジャーが人気の町。
白浜が約4km続く入野海岸では、1年を通して様々
なイベントが開催されます。
毎年5月に開かれるTシャツアート展は必見!

高知にはまだまだ
魅力あふれる場所、
人、ものがたくさん!

ぜひ、高知に来て
あなたのお気に入りの
場所を見つけてね

3人の出身校: 山田くん(愛媛県立今治北高校出身)、古川さん(島根県立隠岐島前高校出身)、岡上さん(高知県立高知追手前高校出身)

Cost of Living



収入

仕送り 10,000円+家賃
アルバイト 20,000円

支出

・住居費 39,000円
・食費、光熱費 12,000円
・交通、交際費 10,000円
・雑費 5,000円

アパートで暮らす

川崎 智生 | 人文社会科学部1年 | 大阪府立三国丘高校出身 |

部屋探しやPC購入は、生協が便利!

僕は騒々しくない自然豊かな場所で学びたくて高知大学に来ました。このアパートは生協管理物件で、静かな環境が気に入っています。大学生協には、部屋探しだけでなくパソコンの購入などでもお世話になりました。今はその恩返しをしたいと、自分も生協のサポーターになってアルバイトをしています。一人暮らし・勉強・アルバイト、うまく両立して自立した学生生活を送りたいと思っています。

体にも財布にもやさしいミールカード

学食やカフェテリアで使えるミールカードは、一人暮らしの強い味方です。週ごとに替わる学食メニューは常に200種類ほどあり、毎日食べても飽きません。また、1円で朝食が食べられる特典もあっておすすめです! ▶ミールカードの詳細情報は、P68へ

一人暮らしの仲間同士、助け合える

高知大学は県外出身者が多く、みんな一人暮らし。図書館で勉強した後は、いつも誰かのところに集合です(笑)。友達づくりの機会も多いので、遠方から一人で来て心配はいりません。僕は、仁淀川でバーベキューをした新入生歓迎会がとても印象に残っています。みんなでおいしいお肉を食べ、川で泳いで、仲良くなれましたね。

大学生の自活ってどんな感じ?



山下さんの生活費

写真左から佐藤さん、山下さん

収入

仕送り 30,000円
アルバイト 15,000円

支出

・寮費 19,000円
(食費・光熱費込み)
・食費 10,000円
・交通、交際費 10,000円
・雑費 3,000円

学生寮で暮らす

山下 耀子 | 教育学部3年 | 香川県 市立 高松第一高校出身 |

佐藤 尚 | 農林海洋科学部1年 | 広島県立福山葦陽高校出身 |

寮母さんや先輩・後輩と一緒に、安心!

山下: 私が寮を選んだ一番の理由は「安心」です。帰宅時に灯りが点いていて誰かがいるというのは、やっぱりすごく安心します。お母さん代わりの寮母さんの存在も大きいです。「いつてらっしゃい」も言ってもらえます(笑)。

佐藤: そうですね。寮費も安いし、おいしいご飯も付いています。病気になった時はおかゆを作ってくれたり、親身に接してくれるのもありがたいですね。

手作りごはんは、“母の味”

山下: 寮母さんお手製のご飯は、和洋中いろいろあってボリュームも十分。

佐藤: 私は麺類が大好きなので、水曜日の麺の日が毎週楽しみで仕方ないです(笑)。

山下: 自立が基本なので、夜は寸胴鍋を洗ったり点呼をとったり、交代で当番をします。

佐藤: 掃除も、部屋は各自、共有部分は寮母さんという分担なので、大変ではないですね。

何より絆ができる!

山下: 試験前は、同じ授業を取っている人が集まって食堂で勉強したり、先輩からもらった資料で対策をしたり。そういうところも寮のよさです。

佐藤: 新歓、寮祭、追いコンなど伝統行事も楽しい(笑)。誰でも仲間になれる雰囲気です。

入学料・授業料と奨学金制度について

Entrance fee, Tuition, Scholarship

入学料・授業料

高知大学の初年度納付金は、学部・プログラムに関わらず817,800円です。授業料の納付は、第1学期分については、5月中、第2学期分については11月中と決められていますが、経済的理由により入学料または授業料の納付が困難な場合は、入学料・授業料免除及び徴収猶予の制度があります。

▶ 初年度納付金 **817,800円**
(入学料+授業料)

区分	金額	納入期日
入学料	282,000円	入学手続きの時
授業料	第1学期	267,900円
	第2学期	267,900円
	年額	535,800円

※入学料および授業料について改定が行われた場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

■ 入学料・授業料に関するお問い合わせ先
財務部経理室出納係 TEL 088-844-8125

支援制度

経済的理由による授業料免除及び徴収猶予

新入生で、入学前1年以内に学費負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により、入学料の納付が困難である学生は、申請により入学料の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって、授業料の納付が困難で、かつ学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

がんばる学生をサポート!

卓越した学業等成績優秀者授業料免除

学業成績が特に優れている学部生・大学院生に対して、各学部、専攻からの推薦により授業料の年額が免除されることがあります。また、大学院生を対象に、授業料年額の4分の1が免除される制度もあります。どちらも推薦時期は、9月を予定しており、各学部・専攻で定めた選考基準により決定されます。

■ 入学料・授業料減免制度に関するお問い合わせ先
学務部学生支援課(入学料・授業料免除担当) TEL 088-844-8146

奨学金制度

学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により学資の支弁が困難と認められる学生は、奨学金制度の申請が可能です。奨学金制度としては、日本学生支援機構の奨学金が主なものですが、そのほかに地方公共団体や民間育英団体等の奨学金があります。

▶ 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金には、無利息の第一種奨学金と利息付の第二種奨学金があり、両方を併用することも可能です。貸与月額は下表に示した中から選択することができます。また、入学時特別増額貸与奨学金制度も利用できます。

(学部奨学生)

種類	貸与月額		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種	①30,000円	①30,000円 } 選択 ②45,000円 } できる	無利息
	②51,000円		
第二種	①30,000円	③80,000円 } 選択 ②50,000円 } できる	利息付
	⑤120,000円		
		④100,000円	

▶ 入学時特別増額貸与奨学金制度

初回基本月額に、10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の利息付奨学金を増額して貸与する制度です。

この奨学金は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を希望したが、融資を受けられなかった世帯の学生を対象とし、第1学年(編入学生の入学年次を含む)において、希望により第1回目振込み時の月額に10万円・20万円・30万円・40万円・50万円を増額して貸与(利息付)を受けることができます。

▶ 年収・所得の上限額について [家計の基準について]

- 家計支持者(父及び母、又はこれに代わって家計を支えている者)の年収・所得金額(申込の前年1年分)が対象となります。
- 表の「年収・所得の上限額」は平成29年度に奨学生に採用される場合の額です。
- 表の「年収・所得の上限額」はあくまで目安です。世帯の人数・事情により増減します。
- 「給与所得世帯」の上限額は、源泉徴収票の「支払金額(税込)」です。
- 「給与所得以外の世帯」の上限額は、「確定申告書等の所得金額(税込)」です。

▶ 奨学金申込資格

第一種奨学金(無利息)

区分	学力 (1年次に在学する者)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安)	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立 (自宅通学)	高校2~3年の成績が3.5以上の者	742万円程度	345万円程度

第二種奨学金(利息付)

区分	学力 (1年次に在学する者)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安)	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立 (自宅通学)	① 高等学校等における成績が平均水準以上の者 ② 特定の分野において、特に優れた資質能力があると認められる者 ③ 学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者	1,096万円程度	688万円程度

▶ その他 給付型奨学金、所得連動返還方式 など

新たな奨学金制度も始まります。詳しくは日本学生支援機構のホームページを確認してください。
<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

■ 奨学金制度に関するお問い合わせ先
朝倉キャンパス 学生支援課 TEL 088-844-8565
岡豊キャンパス 学生課 TEL 088-880-2268
物部キャンパス 物部総務課学務室 TEL 088-864-5116

住居・学生寮

アパートやマンションの情報提供は、高知大学生生活協同組合が行っています。賃料は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。



南湊寮



かつら寮



ときわ寮



日章寮

▶相場の目安

アパート(6畳～8畳 1K・ワンルーム)
月額:約25,000円～約50,000円

生活費の内訳例

アパートで一人暮らしの場合

収入	
仕送り	56,000円
奨学金・アルバイト他	54,000円
計	110,000円
支出	
住居費・光熱費	42,000円
食費	23,000円
教材費(学費を除く)	3,000円
交通・交際費(携帯電話・インターネット含む)	18,000円
その他	3,000円
貯金・繰越	21,000円
計	110,000円 (学生生活実態調査より)

学生寮情報

寮名	性別(定員)	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南湊寮	男子 (242人)	約20,000円 (食費含む)	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約5分
かつら寮	女子 (60人)	約19,000円 (食費含む)	2人部屋(和室) 昼・夕 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約10分
ときわ寮	女子 (82人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	朝倉キャンパス正門まで 自転車で約10分
日章寮	男子 (60人)	約10,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	物部キャンパスに隣接

■日章寮を除く学生寮に関するお問い合わせ先 学務部学生支援課(学生寮担当) TEL 088-844-8091
■日章寮に関するお問い合わせ先 物部総務課学務室学生支援係 TEL 088-864-5116

国際交流会館

外国人留学生・研究者専用住居として、平成5年度末に国際交流会館が、岡豊キャンパスと物部キャンパスに設置されました。



岡豊キャンパス



物部キャンパス



■高知大学生生活協同組合 TEL 088-844-1501

※高知大学生協では、大学生のための物件情報をホームページでご案内しています。
<https://vsign.jp/kouchi/>

学生教育研究災害傷害保険(学研災)・学研災付帯賠償責任保険(学研賠)制度

この保険制度は、大学で学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故により身体に被った被害を救済(学研災)し、また正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復において他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償(学研賠)するための保険制度です。学生は安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

高知大学だけの奨学金制度

▶高知大学修学支援基金奨学金

高知大学に在学する経済的理由により修学が困難な学生の修学を支援し、高知県及び我が国の将来を支える人材育成に資することを目的とする、寄附金に基づく「高知大学修学支援基金」を原資とした返還義務を必要としない奨学金です。

▶高知大学地方創生人材育成基金奨学金

高知の将来を考え、高知に根ざし、高知のために真に貢献しようとする学生を対象に奨学金を給付することにより、将来に渡り高知で生計を立て、その発展に貢献する人材の育成に資することを目的とする奨学金(給付)です。

▶高知大学医学部岡豊奨学会奨学金制度

医学部に在学する学資の支弁が困難な学生(外国人留学生を除く)に対して奨学金を1年間支給するものです。

▶高知大学池知奨学金

農学部農学科森林科学コース及び農林海洋科学部農林資源環境科学科に在学し、将来林業の振興に貢献しようとする学術優秀、志操堅実等であって、学資の支弁が困難で他から奨学金を受けない学生に対して支給する奨学金です。

▶土佐さきがけプログラム奨学事業

土佐さきがけプログラムの学生で、学業成績等一定の基準を満たした者に対し、グリーンサイエンス人材育成コースの修士課程における留学や授業料、国際人材育成コースにおける留学、生命・環境人材育成コースにおける国内及び国際学会への参加、スポーツ人材育成コースにおける各種競技会への遠征等にかかる経費の支援を行います。

▶国際交流基金

詳しくは、国際交流ページ(60ページ)をご覧ください。



就職活動支援 Career Support

社会への扉を開く

学生の皆さんが実社会に自分の力を発揮できる場を見出し、大きく羽ばたいていけるよう、学生総合支援センターキャリア形成支援ユニットと学務部学生支援課就職室が連携して就職活動をサポートしています。

きめ細やかな就活サポート 就職室を上手に利用しよう!

サポート 1 Support. 1

いつでも、どんなことでも、
専門スタッフが相談に応じます

就活に漠然とした不安を感じる、進路が定まらない、面接の練習がしたい...など何でも気軽に声を掛けてください。スタッフがいつでも相談に応じます。

私たちが全力で
サポートします!!



経験豊富な就職相談員がいるので心強い!

高知大学の就職室にはスタッフ以外にも丁寧に相談に乗ってくれる経験豊富な外部の就職相談員が数多くいます。就職活動は社会状況や雇用状況などの就職環境を知ること、自分自身を知ること、採用する相手先を知ることが基本です。就職相談員は相談以外にも履歴書・応募書類・エントリーシートへの添削や個人面接の練習なども行ってくれます。

また、外部相談員以外にも「ハローワーク高知」の大卒ジョブサポーターが常駐していますし、「ジョブカフェこうち」のキャリア・カウンセラーが大学に来てくれます。このように充実した進路・就職相談体制がありますので気軽に相談に来てください。

▶ 就職相談員からのメッセージ

「自分」の編集をサポート
します!

国光 ゆかり ひなた編集室 代表

編集の仕事は、対象物のいいところを見出して輝かせること。就職活動での自己アピールも、<編集>の視点が活かせます。自分が本来持っているいいところを見つけ出し、整理し、魅力的に表現する...こうした「自分」を編集する作業は、将来の方向性を見つけるヒントになり、他者に自分をアピールする自信にもつながります。



サポート 2 Support. 2

今すぐ役立つ、
オリジナルガイドブックを配付!

学部3年生と大学院1年生に、就活支援ガイドブック「Ambition」を配付しています。就活の基本的な流れやそれぞれの段階におけるポイント、書類作成や面接のコツなど役立つ情報が満載で、学生に好評です。



サポート 3 Support. 3

話題の就活本や、
過去の「就職活動報告書」が
閲覧できます!



就職室には、話題の書籍や新聞など最新の就活資料がいっぱい! また、就職活動(内定)報告書には先輩たちが受けた企業の採用スケジュールや試験内容、ポイントなどが詳細に記録されており、就活生は必見です!

サポート 4 Support. 4 インターンシップの窓口として 学生と企業をつなぎます

インターンシップには様々な種類がありますが、就職室では皆さんが自分の目的に合ったインターンシップを果たせるよう、情報提供や事前指導を行っています。

インターンシップの種類

- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- 正課外で行うインターンシップ(「企業研修(インターンシップ)」として単位認定)
- 企業が主体となって開設するインターンシップなど

サポート 5 Support. 5

大学に来た求人情報もPCや携帯から簡単に閲覧!

大学に届いた求人情報は、「高知大学就職ナビ」からいつでも簡単に確認できます。就職セミナーや会社説明会などの開催情報も学内システム(KULAS)で案内しており、携帯に転送設定しておけば大事な情報も逃しません。

就活力を高めるプログラム

理論系・実践系のセミナーを活用して、動ける自分に出会えるはず！

THINKING

社会での自分の役割を自己分析から考え、就職活動を楽しめるような意味づけをしていきます。

ACTION

多彩な実践セミナーで、経験から得た気づきを今後の行動に活かせるようにサポートしています。

皆さん、ぜひ積極的に活用してくださいね！

就活セミナー (理論編)

外部から講師を招聘して、就職活動に対する基本的な知識・スキルを座学で身につけます。

平成29年度スケジュール

- 5月 就活スケジュール・スタートアップ・就職室の活用術
- 10月 教養・適性試験対策
- 11月 エントリーシート対策
- 12月 グループディスカッション対策
- 2月 直前対策講座



面接対策指導



学内写真撮影会

就活セミナー (実践編)

理論編と連動しながら、実践的な対策を行っています。

平成29年度スケジュール

- 10月 U・ターン就職相談会
- 11月 教養・適性試験対策実践
- 12月 エントリーシート実践
- 11月～2月 面接対策特訓
- 1月 グループディスカッション実践
- 10月～2月 学内業界研究セミナー
- 3月 学内合同企業説明会
- 3月～4月 バスツアー支援
- 随時 セカンドキャンパス(首都圏・関西圏などの就活拠点)の設置
- 随時 個別企業説明会、個別就職相談

就活生の強い味方！

関西圏・岡山 バスツアー

「希望する地域や、あこがれの企業の説明会に参加したい。でも遠方へ何度も出向くのは金銭的にも大変…」そこで、高知大学では就活生とご家族を応援するため、関西圏・岡山エリアへの格安バスツアーを催行しています。



教職・公務員 セミナー

教職・公務員に特化したセミナーも実施しています。

平成29年度のスケジュール

- 5月 採用試験の概要と対策(教職・公務員)
- 10月 自己理解のススメ(教職)
- 11月 合格者報告・座談会(教職)
- 10月～11月 国家公務員セミナー(公務員)
- 12月 人物評価の対策(教職・公務員)
- 1月 人物評価実践指導(教職・公務員)

就活生の強い味方！

セカンドキャンパス 東京 大阪 広島 福岡

慣れていない都市でも、安心して利用できる高知大学の拠点「セカンドキャンパス」です。

セカンドキャンパスでできること

1. ラウンジ利用
インターネットやコピー機などが無料で利用できます。
2. 荷物の一時的預かり
キャリアバッグなどを無料で預けることができます。
3. 更衣室完備
私服やスーツへの着替えができる更衣室を備えています。
4. セミナーの実施
スキルアップセミナーや対策講座が受けられます。(要予約)
5. 休憩・情報交換
休憩や就活中の他学生との情報交換の場として活用できます。

学生証提示で
利用無料
予約不要

自己分析・理解 セミナー

就職活動の軸となる自己アピールポイント抽出のために自己理解を実践するセミナーです。

平成29年度のスケジュール

- 6月・10月・2月 自己分析・理解セミナー

インターンシップ 支援プログラム

就職活動が本格化する前に業界・企業、『働くこと』を考えるキッカケとしてインターンシップに参加することをおススメしています。事前のセミナーや様々な地域のインターンシップ情報が得られる相談会を実施します。

平成29年度のスケジュール

- 6月 インターンシップ準備セミナー
西日本各県のインターンシップ担当者によるブース形式の相談会
中四国の企業中心のマッチングセミナー
高知県企業マッチングセミナー
- 7月 インターンシップスタートアップセミナー



学生たちの就職活動を最も身近で支えている就職室。そのスタッフに高知大学の就職の「今」について聞いてみました。

Q 県外出身者です。高知県以外の地方や都市圏への就職状況はどうなのでしょう？

高知大学は全国から多くの皆さんが入学してきます。入学生の約75%（年により若干変動します）は県外出身者です。そのため就職でも首都圏・関西圏や出身の都道府県への就職希望は多く、毎年、7割以上は県外企業等（大手企業を含め、公務員や教員など）に就職しています。「全国から集まり、全国へと羽ばたく」それが高知大学です。大都市圏・地方圏を問わずOB、OGが活躍していますので、県外への就職も強いのです。

Q 就活といっても、よくわかりません。大学では就職情報の提供や説明会などは行っているのでしょうか？

高知大学では様々な就職支援を行っている就職室があり、以下のようなサービスを提供しています。①就職等進路に関する相談 ②就職ガイドブックの配布 ③就職支援セミナーの実施 ④就職情報検索用のパソコンの設置 ⑤企業の求人票・会社案内の閲覧 ⑥公務員試験問題集などの参考図書や雑誌の閲覧・貸出 ⑦企業説明会の開催などです。1年生でも大歓迎ですのでどしどし利用してください。

Q 高知大学には学生の就職支援に携わる人はどのくらいいるのでしょうか？

就職室の専門スタッフの他、各学部の就職委員などを含めると50名以上になり、1学年1,000名規模の大学でこの人数はかなり多いと聞きます。ご安心ください。例えば、県外で就活中に悩みや相談したいことが出てきた場合も電話で対応しています。

Q 高知県外に就職希望です。県外の就活セミナー会場に行くのは交通費など負担が大きくなりそうで心配なのですが…

就活バスツアーをご利用ください。大学主催で大阪・岡山行き的高速バスをチャーターしており格安料金で現地の合同企業説明会に参加できます。このほか、首都圏・関西圏などに就活拠点（セカンドキャンパス）を設けていますので、学生証を提示すれば、施設などを無料で利用できます。

Q 教員志望です。教員採用試験対策は行われていますか？

高知大学では教育学部以外の学部にも教員志望者がいます。このため教員採用試験対策として外部講師を招いてのセミナーの開催・採用面接実践指導、合格者による報告会・座談会や教員を目指す学生のための合宿の開催など様々な支援を行っています。

Q セミナーやイベント以外に、個別のサポートなどはありますか？

要望にできるだけ対応しています。例えば、面接やグループディスカッションの練習がしたいという申し出があれば、相談員が面接官役になって練習することも可能です。また、採用活動のピークを過ぎても就職活動を継続している学生や求職中の既卒者に対して「未内定者マッチング支援」を行っています。学内説明会に参加いただいた企業・団体から未内定者へのスカウトを受ける形で未内定者とのマッチングを実施しています。

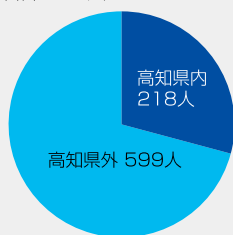
Q 物部キャンパスでのサポート体制はどうなっていますか？

物部キャンパスでは学務室の中に就職担当があり、セミナーの開催や就職相談を行っています。また朝倉キャンパスで行った全てのセミナーのDVDを物部キャンパスで視聴できます。

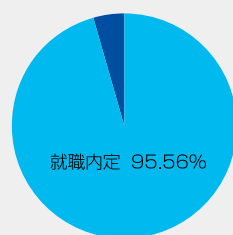
就職関連データ

■グラフ1
就職先の県内外比率
(平成27年度卒業生)

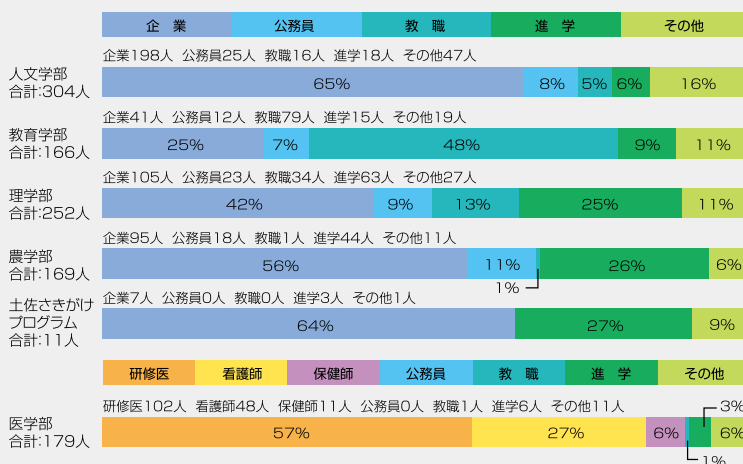
合計:817人



■グラフ2
就職希望者数に対する
就職内定者率
(平成27年度卒業生)



■グラフ3 学部別就職状況 (平成27年度卒業生)



先輩たちの就活体験



企業 自ら行動し、望む未来を手に入れよう!

今城 楽 人文学部4年 | 三菱商事株式会社内定 | 高知県立高知南高校出身

大学は自由度が高い反面、勉強も時間の使い方もすべてが自己責任、自ら動かないと何も手に入りません。それに気づき、行動を起こせるかどうかが自分の望む未来への第一歩——そう感じています。

正直言うと入学当初の僕は、明確な目的意識もなくただ受け身で毎日を過ごしている学生でした。転機となったのは、安穏とした現状に危機感を抱き、2年生終了後に休学して実行した10ヶ月間の海外渡航。3ヶ国目に訪れたマレーシアで、海外の大学生たちが真剣に将来を考え勉強に取り組んでいる様子を見て、今のままの自分ではだめだ、もっと高い意識を持たなくてはと衝撃を受けました。

その後、僕はマレーシアに滞在して英語力を鍛え、学内選抜を経て、翌年スウェーデンのイエテボリ大学に交換留学しました。一年間、経済学や移

民政策など様々な学問や社会文化を学ぶなかで、将来はダイバーシティの豊富な環境で働きたいというキャリアイメージも見えてきました。帰国後は、東京で長期インターンシップにも挑戦し、海外で広げた自分の視野や能力を社会でどう活かしていけるかを考え、就職活動につなげていきました。

企業面接で僕がアピールしたのは、語学力と豊富な海外経験です。語学は授業で習得した英語と中国語、渡航中に磨いたイタリア語。そして、海外渡航とインターンシップで得た経験を伝えました。企業からは、自分が持つ力と可能性、両方を評価いただいたと感じています。

振り返ると、ひとつ挑戦することに次へ、次へと可能性が広がった大学時代。高知の柔軟な環境と、先生方の温かいサポートに感謝しています。

公務員 「自分だけの何か」を見つけよう

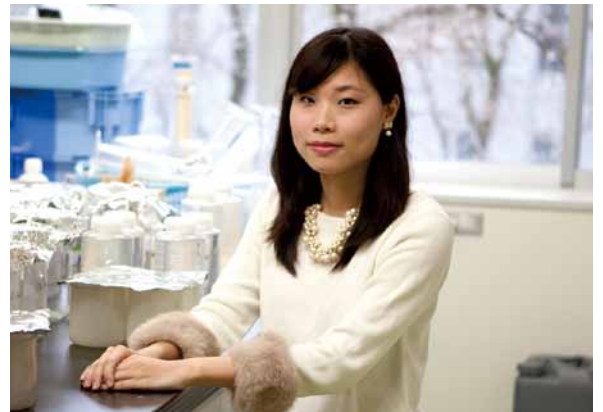
横畠 里沙 理学部4年 | 徳島県庁内定 | 徳島県立脇町高校出身

高校1年生の時に東日本大震災が発生し、それがきっかけで災害科学に興味を持ちました。私の地元・徳島県も、次の南海トラフ地震では大きな被害が想定されています。大好きな故郷に貢献したいという思いから、公務員の道を目指しました。

私に取り組んだ研究は、四国の成り立ちや南海トラフ地震の起こり方を砂箱で再現し、CTスキャンを使って内部構造を調べる研究です。私は物部キャンパス内にある海洋コア総合研究センターの設備をお借りし、この研究に挑みました。海洋コア総合研究センターは、JAMSTEC(海洋研究開発機構)をはじめ世界中の科学者が集まる、海底地質学研究の世界三大拠点の一つ。そんな最先端の環境で学生のうちから学ぶことができたのは、とても恵まれていたと思います。

一方で、課外活動では「防災すけっと隊」という学生団体に所属し、大学生や地域の人たちに向けて様々な防災活動にも参加しました。特に、「耕活」という、サツマイモや玉ねぎなど備蓄できる野菜を地域の人と一緒に植えて収穫する取組や、4連のお菓子をクルッと回して百均のチャックを付け、中に飴やライトを入れることのできる“非常持ち出し袋”、通称「お菓子ポーチ」を広める取組に力を入れました。いろいろな世代の人と関わるなかで、コミュニケーション力も身につきました。

授業や研究では災害の専門知識を、課外活動ではその実践を経験した密度の濃い4年間。公務員試



験の面接でも、これらの経験談は興味を持って聞いていただきました。せっかくの大学時代、みなさんも「自分だけの何か」に、ぜひ取り組んでください。それがきっかけで、未来につながると思います。

こちらも注目

地域で活躍したい学生には・・・

大学・行政・経済団体がタッグを組んで学生の意欲を後押し!

地方創生推進士



学部を問わず、大学の教育課程で地域住民と積極的に触れ合い、地域の課題解決に取り組んだ学生、高知県への理解と愛情を持ち、地域に貢献したいと考える学生に与えられる称号が「地方創生推進士」です。地方創生推進士と県内企業とのマッチングやインターンシップなど、意欲ある学生が高知県で活躍できる機会を増やす取組を行っています。

—— 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)



■平成29年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										AO入試						推薦入試										
			前期日程					後期日程					AO入試Ⅰ			AO入試Ⅱ			推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ							
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)					
人文社会科学部	人文科学コース	94	59	259	223	75	3.0	5	123	43	7	6.1									30	73	30						
	国際社会コース	83	38	116	102	47	2.2	10	126	46	10	4.6									A選抜	20	38	22					
	社会科学コース							5	103	38	5	7.6	8	29	10						B選抜	15	23	15					
		小計	275	157	680	611	188	3.3	20	352	127	22	5.8	8	29	10						90	192	92					
教育学部	幼児教育コース	130	6	31	29	6	4.8																		4	10	4		
	教育科学コース																												
	教科教育コース		52	113	85	67	1.3	5	68	15	5	3.0										8	29	9	21	51	21		
	特別支援教育コース																						4	12	4				
	音楽教育コース		2	19	17	2	8.5																3	4	3				
	美術教育コース		2	5	4	3	1.3																3	1	1				
	保健体育教育コース		6	38	34	6	5.7																6	12	6				
	小計		130	68	206	169	84	2.0	5	68	15	5	3.0				8	5	5				24	58	23	25	61	25	
理工学部	数学物理学科	240	19	117	113	20	5.7	2	27	19	3	6.3									数学受験	10	23	13					
	情報科学学科		15	126	117	19	6.2														理科受験	8	5	4					
	生物科学学科		16	154	140	18	7.8	3	26	17	8	2.1									10	14	10						
	化学生命理工学科		29	211	197	34	5.8	5	54	27	6	4.5										10	25	11					
	地球環境防災学科		46	354	331	51	6.5	10	68	29	13	2.2										13	22	13					
	小計	240	144	1,095	1,021	164	6.2	25	211	116	36	3.2	7	13	8							59	98	59					
医学部	医学科	110	65	292	261	65	4.0						30	195	30										15	75	15		
	看護学科	60	25	55	53	26	2.0	10	64	13	11	1.2										25	84	26					
	小計	170	90	347	314	91	3.5	10	64	13	11	1.2	30	195	30							25	84	26	15	75	15		
農林海洋科学部	農林資源環境科学科	90																											
	暖地農学主専攻領域																						2	4	2	4	13	4	
	自然環境学主専攻領域													3	10	2										3	7	3	
	森林科学主専攻領域																												
	森林科学主専攻領域(一般推薦)																										5	4	4
	森林科学主専攻領域(専門推薦)																										1	0	0
	生産環境管理主専攻領域																					4	8	5	4	4	4		
	農芸化学科	45	35	95	88	38	2.3	5	76	19	13	1.5														5	9	2	
	海洋資源科学科	65											7	122	53	8	6.6												
	海洋生物生産学コース		18	48	43	20	2.2																						
	海洋生物生産学コース(一般推薦)																											6	26
海洋生物生産学コース(専門推薦)																										2	1	1	
海底資源環境学コース	9		54	47	11	4.3																				5	9	5	
海洋生命科学コース	14	63	52	17	3.1																				4	15	3		
小計	200	126	390	344	139	2.5	24	345	138	39	3.5	3	10	2							8	15	9	39	88	34			
地域協働	地域協働学科	60	35	115	100	39	2.6						15	73	16							10	20	10					
	小計	60	35	115	100	39	2.6						15	73	16							10	20	10					
プロダクティブイノベーション	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)	(5)	11	10	5	2.0																						
	国際人材育成コース	(10)											(10)	19	10														
	生命・環境人材育成コース	(10)														(10)	4	1											
	小計	(25)	(5)	11	10	5	2.0						(10)	19	10	(10)	4	1											
合計	1,075	620	2,844	2,569	710	3.6	84	1,040	409	113	3.6	63	339	76	8	9	6	216	467	219	79	224	74						

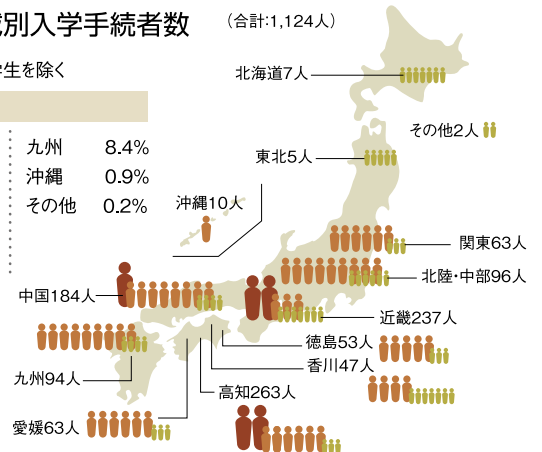
- は募集なし
- 地域協働学部地域協働学科では、欠員補充第2次募集を実施
志願者=33名、合格者1名
- 社会人入試志願者=1名、合格者=1名
- 私費外国人留学生入試は、志願者=60名、合格者=12名
- 実質倍率=受験者数/合格者数
- 平成29年度医学部医学科(前期日程)では、第1段階選抜を実施していない
- 入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数は含まない
- 追加合格者は含まない
- 農林海洋科学部農林資源環境科学科暖地農学主専攻領域の推薦入試Ⅰは専門推薦

■平成29年度の地域別入学手続者数 (合計:1,124人)

地域別入学手続者数 *私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 0.6%	中国 16.4%	九州 8.4%
東北 0.4%	徳島 4.7%	沖縄 0.9%
関東 5.6%	香川 4.2%	その他 0.2%
北陸・中部 8.5%	愛媛 5.6%	
近畿 21.1%	高知 23.4%	



平成28年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										AO入試					推薦入試								
			前期日程					後期日程					AO入試I		AO入試II			推薦入試I			推薦入試II					
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)		
人文社会科学部	人文科学コース	94	59	252	216	78	2.8	5	91	38	10	3.8						30	90	30						
	国際社会コース	83	38	70	62	46	1.3	10	165	56	15	3.7						A選抜	20	40	22					
	社会科学コース	A選抜	55	101	96	60	1.6												B選抜	15	31	16				
		B選抜	5	23	22	6	3.7							8	25	9				25	43	25				
小計	275	157	446	396	190	2.1	20	458	176	33	5.3	8	25	9				90	204	93						
教育学部	学校教育教員養成課程	130	幼児教育コース	6	29	24	6	4.0															4	13	5	
	教育科学コース																									
	教科教育コース		52	348	321	69	4.7	5	172	69	8	8.6							8	24	8		21	52	21	
	特別支援教育コース																			4	5	4				
	音楽教育コース		2	3	3	3	1.0													3	2	2				
	美術教育コース		2	0	0	0	0.0													3	2	1				
	保健体育教育コース		6	18	17	6	2.8													6	16	6				
	小計		130	68	398	365	84	4.3	5	172	69	8	8.6				8	5	3	24	49	21		25	65	26
理学部	理学科・応用理学科	240	数学受験	36	149	141	48	2.9										数学受験	13	35	13					
	理科受験		100	363	342	118	2.9	26	86	85	36	2.4						理科受験	45	89	45					
	情報受験		9	24	21	13	1.6											情報受験	9	11	9					
小計	240	145	536	504	179	2.8	26	86	85	36	2.4						67	135	67							
医学部	医学科	110	65	291	231	65	3.6						30	202	30							15	70	15		
	看護学科	60	25	61	58	25	2.3	10	139	45	10	4.5						25	73	25						
	小計	170	90	352	289	90	3.2	10	139	45	10	4.5	30	202	30			25	73	25		15	70	15		
農林海洋科学部	農林資源環境科学科	90	暖地農学専攻領域	50	63	52	42	1.2	12	71	24	19	1.3						2	3	2		4	12	5	
	自然環境学専攻領域													3	15	3							3	7	5	
	森林科学専攻領域																							5	5	3
	森林科学専攻領域(一般推薦)																							1	0	0
	森林科学専攻領域(専門推薦)																							4	5	4
	生産環境管理学専攻領域																			4	10	5		4	5	4
	農芸化学科	45	35	99	84	37	2.3	5	67	22	7	3.1											5	6	3	
	海洋資源科学科	65	海洋生物生産学コース																					6	29	8
	海洋生物生産学コース(一般推薦)		18	61	54	20	2.7																	2	1	0
	海洋生物生産学コース(専門推薦)																							5	5	5
海底資源環境学コース	9		14	10	10	1.0																	4	8	4	
海洋生命科学コース	14	89	85	17	5.0																		4	8	4	
小計	200	126	326	285	126	2.3	24	175	59	36	1.6	3	15	3				8	19	10		39	78	37		
学部地域協働	地域協働学科	60	35	86	78	40	2.0						15	75	16				10	31	10					
	小計	60	35	86	78	40	2.0						15	75	16				10	31	10					
土佐さきがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)															(5)	1	1							
	国際人材育成コース	(10)											(10)	22	10											
	生命・環境人材育成コース	(10)												(10)	9	6										
	小計	(25)											(10)	22	10	(15)	10	7								
合計	1,075	621	2,144	1,917	709	2.7	85	1,030	434	123	3.5	56	339	68	8	15	10	224	511	226		79	213	78		

- □ は募集なし
- 農林海洋科学部農林資源環境科学科では、欠員補充第2次募集を実施。志願者=140名、合格者2名
- 社会人入試は志願者なし
- 私費外国人留学生の選抜は、志願者=39名、合格者=13名
- 実質倍率=受験者数/合格者数
- 医学部医学科(前期日程)の受験者数は、第1段階選抜実施後の数
- 入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数は含まない
- 追加合格者は含まない
- 農林海洋科学部農林資源環境科学科暖地農学専攻領域の推薦入試Iは専門推薦

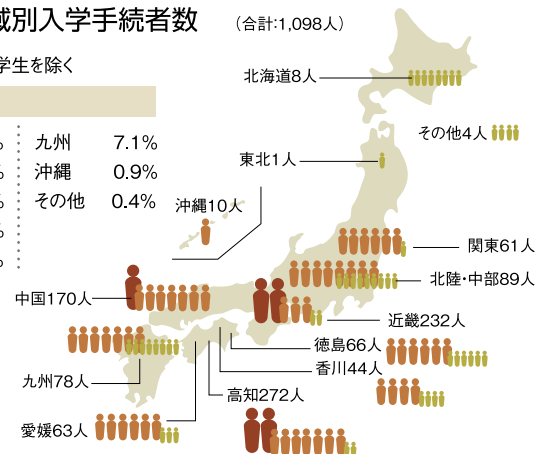
平成28年度の地域別入学手続者数

(合計:1,098人)

地域別入学手続者数 *私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 0.7%	中国 15.5%	九州 7.1%
東北 0.1%	徳島 6.0%	沖縄 0.9%
関東 5.6%	香川 4.0%	その他 0.4%
北陸・中部 8.1%	愛媛 5.7%	
近畿 21.1%	高知 24.8%	



合格者の最高得点率・最低得点率・平均得点率（一般入試）

平成29年度

前期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点	
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
	人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		82.9%	66.8%	73.8%	77.5%	64.7%	68.8%	800
			国際社会コース		81.9%	66.6%	73.5%	77.6%	66.2%	69.5%	700
			社会科学コース	A選抜	71.9%	58.7%	64.7%	75.4%	58.5%	61.4%	1,200
	教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	B選抜	-	-	-	-	-	-	1,200
			教育科学、教科教育、特別支援教育		76.3%	55.0%	63.3%	80.6%	56.5%	64.7%	1,150
			音楽教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
			美術教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
			保健体育教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
	理工学部	数学物理学科	数学受験		73.4%	55.7%	61.8%	67.4%	56.8%	59.3%	1,300
			理科受験		67.1%	52.4%	58.4%	73.8%	60.7%	63.9%	1,300
			情報科学科		65.0%	43.1%	55.1%	68.5%	56.0%	60.2%	1,300
			生物科学科		69.8%	56.4%	59.8%	70.5%	62.2%	64.2%	1,300
			化学生命理工学科		76.6%	53.1%	60.5%	80.3%	63.4%	66.2%	1,300
			地球環境防災学科		69.0%	51.0%	57.9%	69.1%	60.6%	63.3%	1,300
	医学部	医学科		91.3%	80.3%	84.8%	80.0%	73.0%	75.4%	1,900	
看護学科			76.6%	65.9%	69.4%	77.8%	68.4%	70.7%	790		
農林海洋科学部	農林資源環境科学科	農林資源環境科学科		81.1%	56.7%	63.7%	79.1%	60.0%	65.3%	800	
		農芸化学科		79.7%	64.4%	68.9%	79.0%	67.2%	70.6%	700	
	海洋資源科学科	海洋生物生産学コース		73.6%	64.4%	68.0%	74.9%	67.0%	69.5%	900	
		海底資源環境学コース		67.3%	53.0%	60.4%	73.1%	56.5%	64.8%	1,400	
		海洋生命科学コース		75.4%	61.3%	66.4%	78.2%	63.3%	67.0%	1,300	
地域協働学部	地域協働学科		75.9%	59.0%	66.3%	77.6%	64.1%	67.6%	900		
土佐さがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース		-	-	-	-	-	-	1,000		
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点	
	人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		-	-	-	-	-	-	700
			国際社会コース		83.5%	74.6%	77.6%	83.2%	77.0%	79.0%	700
			社会科学コース		-	-	-	-	-	-	700
	教育学部	学校教育教員養成課程	教育科学、教科教育、特別支援教育		-	-	-	-	-	-	1,000
	理工学部	数学物理学科	数学物理学科		-	-	-	-	-	-	1,000
			情報科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
			生物科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
			化学生命理工学科		78.1%	54.7%	62.9%	76.9%	57.3%	63.7%	900
			地球環境防災学科		-	-	-	-	-	-	1,000
	医学部	看護学科		75.1%	59.5%	68.5%	76.7%	58.4%	68.1%	790	
		農林資源環境科学科		73.8%	57.9%	64.7%	74.2%	63.5%	67.9%	900	
	農林海洋科学部	農芸化学科	農芸化学科		75.7%	56.7%	63.9%	76.8%	60.7%	66.9%	700
			海洋資源科学科		-	-	-	-	-	-	800

平成28年度

前期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点	
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
	人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		90.8%	67.6%	75.7%	83.8%	68.8%	72.3%	800
			国際社会コース		85.1%	63.1%	74.9%	76.6%	62.5%	68.2%	700
			社会科学コース	A選抜	70.6%	56.6%	64.8%	72.8%	60.8%	65.5%	1,200
	教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	B選抜	-	-	-	-	-	-	1,200
			教育科学、教科教育、特別支援教育		72.0%	56.8%	63.2%	74.7%	63.2%	65.5%	1,150
			音楽教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
			美術教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
			保健体育教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
	理学部	理学科・応用理学科	数学受験		69.0%	52.4%	61.0%	69.5%	58.0%	63.3%	1,300
			理科受験		73.2%	47.8%	61.8%	74.4%	59.7%	63.2%	1,300
			情報受験		61.5%	48.4%	54.5%	68.8%	54.7%	59.8%	1,300
	医学部	医学科		90.7%	80.2%	85.4%	84.2%	76.5%	78.6%	1,790	
		看護学科		76.5%	65.3%	70.2%	78.5%	68.9%	71.8%	790	
	農林海洋科学部	農林資源環境科学科	農林資源環境科学科		76.7%	49.5%	61.2%	77.5%	52.1%	63.7%	800
			農芸化学科		70.8%	60.3%	64.1%	71.4%	63.5%	66.2%	700
海洋資源科学科		海洋生物生産学コース		76.0%	66.8%	70.0%	76.5%	68.2%	70.4%	900	
		海底資源環境学コース		66.5%	34.5%	53.4%	68.7%	28.3%	51.4%	1,400	
		海洋生命科学コース		74.5%	58.5%	66.8%	74.6%	63.4%	67.5%	1,300	
地域協働学部	地域協働学科		86.2%	59.3%	68.8%	78.1%	64.5%	68.9%	900		
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点	
	人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		86.0%	71.8%	76.4%	83.5%	73.4%	76.9%	700
			国際社会コース		83.8%	71.3%	77.5%	84.0%	75.2%	77.6%	700
			社会科学コース		-	-	-	-	-	-	700
	教育学部	学校教育教員養成課程	教育科学、教科教育、特別支援教育		-	-	-	-	-	-	1,000
	理学部	理学科・応用理学科		86.5%	56.7%	70.0%	86.5%	56.7%	70.0%	800	
	医学部	看護学科		78.1%	67.3%	71.6%	77.7%	71.0%	73.4%	790	
		農林資源環境科学科		80.4%	51.2%	62.1%	80.3%	57.9%	66.2%	900	
	農林海洋科学部	農芸化学科	農芸化学科		-	-	-	-	-	-	700
			海洋資源科学科		74.6%	52.0%	60.5%	74.3%	54.9%	61.8%	800

注:1 追加合格者は含んでいません。 注:2 合格者が10人未満の学科等については公表しません。 注:3 平均点は小数第2位を四捨五入する。

2012~2017年度入学者出身校一覧 ※学校名は入学時の名称

■ **北海道**
釧路湖陵、函館ラサール、札幌薬岩、札幌南、札幌旭丘、旭川西、旭川北、北見北斗、札幌稲雲、札幌第一、札幌クラーク記念国際、苫小牧工業高等専門学校、札幌北、札幌北陵、千歳、札幌清田、小樽湖陵、岩見沢東、岩見沢西、旭川東、室蘭栄、静内、土上幌、中標津、北広島、札幌新川、札幌国際情報、函館、登別明日、立命館慶祥、遺愛女子、北星学園都市

■ **青森**
三本木、青森山田

■ **岩手**
前沢、福岡

■ **宮城**
仙台第三、仙台向山、泉、仙台二重、泉館山、東北学院

■ **秋田**
本荘

■ **山形**
山形西、新庄北、日本大学山形、基督教独立学園

■ **福島**
磐城、富岡、郡山、福島東

■ **茨城**
牛久米進、古河第三、江戸川学園取手、日立第一、水戸第一、緑岡、土浦日本大学、鹿島学園、水戸第二、土浦第一、土浦第二、竜ヶ崎第一、藤代、牛久、水戸桜ノ牧、並木、茨城キリスト教学園、茨城、水城、清真学園、常総学院

■ **栃木**
真岡、鹿沼、大田原、宇都宮、宇都宮女子、宇都宮中央女子、石橋、足利南、足利女子、真岡女子、烏山、大田原女子、作新学院、那須高原海城

■ **群馬**
前橋(県立)、太田(県立)、太田女子、富岡、勢多農林、桐生、桐生女子、沼田、中之条、高崎北、藤岡中央、東京農業大学第二

■ **埼玉**
開智、春日部、松山、浦和第一女子、熊谷女子、大宮開成、春日部共栄、開智未来、浦和(県立)、熊谷、川越、本庄、蕨、越谷北、川口北、川越南、和光国際、聖望学園、武南、大妻嵐山、浦和明の星女子、城西大学付属川越、浦和学院、獨協埼玉、西武学園文理、川越東、東京農業大学第三、栄北

■ **千葉**
千葉(県立)、鎌子(市立)、東葛飾、佐原、長生、千葉英和、日本大学習志野、渋谷教育学部幕張、市原中央、木更津総合、千葉東、船橋東、流山おおたかの森、佐倉、佐原白鶴、匝瑳、木更津、千葉西、幕張総合、敬愛大学八日市場、成田、千葉敬愛、麗澤、東邦大学付属東邦、専修大学松戸、日本体育大学柏、東京学館浦安、昭和学院秀英

■ **東京**
城北(私立)、芝、田園調布、西、佼成学園、巢鴨、多摩大学附属聖ヶ丘、東京学芸大学附属、大泉、駒場、三鷹、麻布、広尾学園、開成、八王子学園八王子、日本放送協会学園、聖徳学園、東京工業大学附属科学技術、筑波大学附属、お茶の水女子大学附属、東京大学教育学部附属、東京工業高等専門学校、青山、江戸川、園分寺、柏江、小松川、戸山、八丈、一橋、日比谷、富士、府中、町田、武蔵(都立)、目黒(都立)、八王子、小川、東大前、世田谷泉、科学技術、日野台、小金井北、国際、新宿山吹、多摩科学技術、曉星、海城、成城、早稲田、國學院、桐朋女子、都文館、京華、東洋女子、文京学院大学女子、成立学園、安田学園、江戸川女子、関東第一、東京、駒澤大学、駒場東邦、世田谷学園、東京農業大学第一、東京都市大学等々力、日本大学第三、杉並学院、光塩女子学院高等科、日本大学第二、立教女学院、武蔵(私立)、自由学園高等科、錦城、吉祥女子、成蹊

■ **神奈川県**
鎌倉学園、生田、横須賀(県立)、湘南、大和、山手学院、湘南学園、逗子開成、横浜隼人、横浜翠嵐、横浜平沼、横浜緑ヶ丘、柏陽、金井、川崎(県立)、横須賀大津、追浜、平塚江南、小田原、鶴瀬、厚木、伊志田、戸塚、東、菅、横浜賀明光、横浜サイエンスフロンティア、横浜雙葉、聖光学院、横浜創英、高木学園女子、桐蔭学園、湘南白百合学園、日本大学藤沢、神奈川大学附属、桐光学園、森村学園高等部、公文国際学園高等部

■ **新潟**
長岡、東京学館新潟、新潟、新潟南、新潟江南、新潟西、巻、高田北城、柏崎翔洋、新潟明訓、新潟第一、日本文理

■ **富山**
魚津、富山東、高岡、高岡西、富山、八尾、氷見、高岡南、呉羽、片山学園

■ **石川**
金沢桜丘、小松、飯田、金沢錦丘、金沢泉丘、金沢二水、鹿西、小松明峰、金沢、星埴、金沢学院、小松大谷

■ **福井**
北陸、若狭、美方、武生東、高志、武生、勝山、敦賀

■ **山梨**
韮崎、甲府第一、巨摩、吉田、富士河口湖、山梨英和

■ **長野**
松本嶽ヶ崎、飯田、松本県ヶ丘、長野吉田、長野(県立)、上田、諏訪清陵、諏訪二葉、伊那弥生ヶ丘、佐久長聖、須坂、長野西、屋代、沢野北、岡谷南、伊那北、松本美須ヶ丘、松本深志、豊科、中野西、松商学園、文化学園長野、長野日本大学、東海大学付属諏訪

■ **岐阜**
長良、岐阜、岐阜中、岐阜農林、大垣南、大垣東、多治見、恵那、益田清風、藤津瑞浪、岐阜北、加納、加茂、妻太、可兒、鷺谷、中京、大垣北、海洋明誠、多治見北、各務原西、岐阜東、多治見西、帝京大学可兒

■ **静岡**
清水東、三島北、静岡城北、掛川西、浜松湖南、磐田南、浜松西、伊東、吉原、富士、清水西、藤枝東、袋井、浜名、富士宮西、韮山、沼津西、伊豆中央、下田、加藤学園暁秀、静岡北、御殿場南、静岡南、焼津中央、島田、榛原、掛川東、浜松北、濱松南、浜松湖東、静岡市立、浜松市立、浜松日体、聖隷クリニックフアー、三島南、沼津東、静岡、掛川工業、磐田北、静岡西、富士市立、富士東、清流館、静岡学園、静岡聖光学院、藤枝順心、常葉学園菊川、磐田東、浜松学芸、静岡県西女子学園、藤枝明誠

■ **愛知**
東海、愛知、滝、岡崎西、瑞穂、五条、国府、旭丘、横須賀、刈谷北、愛知淑徳、千種、松蔭、昭和、旭野、一宮、西尾、岡崎北、豊田西、高蔵寺、小牧南、半田東、南山、中部大学春日丘、名古屋東、東郷、津島、半田、刈谷、西尾東、岡崎東、豊橋南、成章、天白、菊里、一宮南、豊田南、大府東、名春、春日井南、東邦、名古屋、愛知工業大学名電、桜丘、豊川、名古屋大学教育学部附属、愛知教育大学附属、熱田、中村、鳴海、春日井、長久手、豊明、小牧、丹羽、一宮西、大府、碧南、知立、鶴城丘、吉良、岡崎、松平、田口、小坂井、東海南、向陽、緑、中央、春日井東、津島東、西春、阿久比、豊田北、日進西、美和、豊田、豊野、知立東、大同大学大同、中京大学附属中京、名古屋女子大学、中部大学第一、桜花学園、名城大学附属、星城、聖霊、清林館、岡崎城西、光ヶ丘女子、藤ノ花女子、海陽

■ **三重**
四日市市、神戸、津西、高田、桑名、津東、宇治山田、川越、晩、皇学館、名張西、四日市、四日市南、津、伊勢、上野、尾鷲、木本、鈴鹿、三重、ウィッツ青山学園

■ **滋賀**
東大津、膳所、彦根東、水口東、光泉、米原、虎姫、石山、八日市、河瀬、安曇川、草津東、近江兄弟社、ECC学園

■ **京都**
福知山、西舞鶴、鳥羽、京都成章、亀岡、寛道、大谷、洛南、京都教育大学附属、山城、桃山、宮津、峰山、洛西、嵯峨野、東宇治、園部、網野、西京、堀川、日吉ヶ丘、西城陽、南陽、城南菱刈、東山、京都女子、桂、須知、海洋、紫野、龍谷大学付属平安、京都橘、京都産業大学附属、福知山成美、洛北、向陽、綾部、東舞鶴、塔南、京都学園、洛星、立命館、京都文教、京都聖母学院

■ **大阪**
清風、池田、泉陽、鳳、開明、明星、高槻、清風南海、清教学園、東海大学付属仰星、大阪教育大学附属野野、今宮、関西大倉、金蘭千里、茨木、三島、三國丘、大阪学芸、浪速、四天王寺、大阪桐蔭、寝屋川、大阪市立、槻の木、桃山学院、帝塚山学院、泉ヶ丘、四天王寺羽曳丘、箕面、大手前、四條畷、高津、夕陽丘、東住吉、東、北千里、プール学院、興園、近畿大学附属、大阪国際大和田、初芝富田林、春日丘、枚方、布施、八尾、生野、河内、和泉、岸和田、堺、上宮、大阪星光学院、大谷、追手門学院、大阪学芸、大阪教育大学附属天王寺、豊中、豊島、千里、港、牧野、清水谷、天王寺、住吉、富田林、泉

北、佐野、刀根山、桜宮、南、扇町総合、都島工業、狹山、香里丘、山田、八尾翠翔、淀川工科、咲くやこの花、追手門学院大手前、賢明学院、大阪商業大学、大阪信託学院、初芝立命館、関西大学第一、大阪信愛女学院、羽衣学園、大阪蕨英女学院、常翔学園、常翔啓光学園、向陽台、大阪商業大学堺、関西創価、近畿大学泉州、大阪青凌、金光八尾、上宮太子、天王寺学館、YMCA学院

■ **兵庫**
津名、三田祥雲館、八鹿、姫路飾西、龍野、川西緑台、小野、三木、御影、姫路南、洲本、明石城西、加古川西、相生、西宮(市立)、姫路、明石北、白陵、神戸商業、篠山鳳鳴、滝川、神戸、夢野台、長田、星塚、兵庫県立大学附属、神戸星城、兵庫、伊丹(県立)、柏原、明石、豊岡、須磨東、宝塚北、北摂三田、六甲学院、淳心学院、北須磨、西宮(県立)、西宮北、明石南、加古川東、西脇、姫路東、香寺、淡路三原、須磨学園、雲雀丘学園、柳学園、近畿大学附属豊岡、尼崎北、社、赤穂、佐用、姫路商業、東播磨、加古川北、尼崎小田、伊丹北、有馬、明石西、姫路西、福崎、山崎、西宮東、尼崎稲園、須磨友が丘、伊川谷北、神戸鈴蘭台、報徳学園、三田学園、東洋大学附属姫路、鳴尾、芦屋(県立)、尼崎(県立)、上郡、出石、高砂南、須磨翔園、神戸龍谷、仁川学院、甲陽学院、賢明女子学院、滝川第二、神戸甲北、伊川谷、北条、農業、播磨農薬、伊和、姫路工業、和田山、西宮今津、宝塚西、伊丹(市立)、明石商業、琴丘、網干、明石清水、三木北、川西北陵、播磨南、三田西陵、六甲アイランド、国際、甲南、灘、神戸山手女子、親和、神戸女子学院大学附属、神戸国際

■ **奈良**
帝塚山、奈良学園、高田、高田商業、智辯学園、桜井、青羽、平城、奈良北、西大和学園、畝傍、一条、天理、橿原、五條、奈良女子大学附属、奈良、生駒、香芝、登美ヶ丘、奈良育英、天理教科学園、智辯学園奈良カレッジ高等部、奈良学園登美ヶ丘

■ **和歌山**
田辺、桐蔭、向陽、開智、日高、近畿大学附属和歌山、海南、星林、和歌山信愛、近畿大学附属新宮、智辯学園和歌山、新宮、橋本、耐久、神島、串本古庄、初芝橋本、那賀、和歌山北

■ **鳥取**
倉吉東、鳥取西、鳥取東、米子東、八頭、倉吉西、米子西、境、鳥取城北、鳥取中央育英、倉吉北、鳥取工業、米子松蔭、倉吉農業、米子

■ **島根**
出雲、松江南、大社、浜田、松江東、松江北、益田、大田、隠岐島前、平田、安来、三刀屋、石見智翠館、大東、飯南、江津、矢上、隠岐、島根中央、開星、松江西、出雲西

■ **岡山**
倉敷南、岡山一宮、岡山芳泉、岡山城東、津山、総社南、岡山操山、倉敷天城、倉敷古城池、玉島(県立)、岡山学芸館、瀬戸、岡山大安寺、倉敷吉陵、総社、岡山朝日、勝山、西大寺、岡山白陵、高梁、新見、林野、井原、就実、明誠学院、岡山理科大学附属、金光学園、玉野光南、玉野、関西、岡山、津山東、笠岡、邑久、矢掛、岡山県作陽、備前緑陽、岡山工業、津山商業、岡山大安寺、創志学園、岡山県美作、興譲館、おかやま太陽、朝日登壇、岡山東商業、岡山南、倉敷中央、倉敷商業、笠岡商業、和気閑谷、岡山後楽館、倉敷鷺羽、倉敷翠松、岡山龍谷

■ **広島**
府中、福山誠之館、広島国泰寺、修道、広島皆実、尾道北、大門、廿日市、神辺旭、尾道東、広島、広島学院、広島なごさ、広島大学附属、安古市、福山、広島城北、広島大学附属福山、賀茂、西条農業、舟入、海田、三原、基町、広島井口、園北、銀河学院、五日市、尾道商業、庄原格致、三次、沼田、安田女子、福山庭の星女子、近畿大学附属広島(東広島校)、呉、呉三津田、安芸府中、美鈴ヶ丘、比治山女子、広島女学院、ノートルダム清心、窪速、近畿大学附属広島(福山校)、如水館、呉宮原、福山明玉台、呉、高陽、安佐北、因島、崇徳、広島県瀬戸内、広島国際学院、広島文教女子大学附属、広島観音、御調、福山葦陽、油木、吉田、西、戸、山崎、山陽、AICJ、広島工業大学、武田、広島三育学院

■ **山口**
徳山、山口、小野田、豊浦、下関南、華陵、岩国、防府、宇部、長府、下関西、下関、大津緑洋、野田学園、サビエル、光、下松、厚狭、大津、萩、青嶺、高水、宇部フロンティア大学付属香川、早鞆

■ **徳島**
城北、脇町、富岡西、城南、富岡東、池田、阿波、城東、徳島市立、徳島北、城ノ内、川島、海部、小松島、徳島文理、徳島科学技術、那賀、鳴門、鳴門渦潮、辻、新野、名西、阿波西

■ **香川**
高松桜井、観音寺第一、三本松、高松第一、丸亀、坂出、高松西、高松北、高松商業、三木、香川中央、香川誠院、高松東、坂出商業、高松、香川県大手前高松、善通寺第一、香川県大手前、小豆島、観音寺中央、英明、高松中央、高瀬、土庄、坂出工業、丸亀城西、坂出第一、香川県藤井、高松南、尽誠学園

■ **愛媛**
三島、今治北、宇和島東、西条、松山北、八幡浜、松山中央、今治西、新居浜西、松山南、川之江、大洲、松山西、新居浜東、松山東、清美、宇和島南、愛光、南宇和、伊予、小松、松山商業、今治東、今治南、川之石、三好、愛媛大学附属、丹原、松山工業、上淳穴、野村、新田、弓削、今治明徳、松山聖徳、清美平成、土居、東温、宇和、吉田、北宇和、新居浜商業、聖カタリナ学園、新田青雲

■ **高知**
高知追手前、高知学芸、高知西、高知小津、土佐、土佐塾、中村、土佐女子、高知南、高知商業、安芸、高知丸の内、岡豊、高知、山田、高知工業、須崎、明徳義塾、室戸、高知農業、宿毛、高知東、春野、橋原、幡多農業、嶺北、高知北、中芸、高岡、窪川、清水、大方、高知東工業、伊野商業、佐川、四十万、高知工業高等専門学校、宿毛工業、高知江の口養護、高知女子

■ **福岡**
筑紫、戸畑、東福岡、田川、九州国際大学付属、福岡大学附属大濠、自由ヶ丘、小倉、八幡、城南、修猷館、明善、久留米、北筑、明治学園、八女学院、小倉南、宗像、福岡、筑紫丘、福岡中央、香住西、西南学院、筑紫北、大牟田、久留米大学附設、育徳館、京都、八幡南、東筑、糸島、佐賀館、三池、嘉穂、鞍手、福岡、小倉東、光陵、筑前、小郡、輝翔館、門司学園、西南女子学院、敬愛、常磐、近畿大学附属福岡、精華女子、上智福岡、筑紫女学園、福岡女学院、福岡工業大学附属城東、福岡雙葉、東海大学付属福岡

■ **佐賀**
伊万里、鳥栖、佐賀北、佐賀西、唐津西、鹿島、白石、致遠館、東明館、唐津東、小城、武雄、佐賀商業、弘学館

■ **長崎**
長崎南、猶興館、五島、諫早、西彼、佐世保北、長崎東、佐世保西、島原、川棚、上五島、長崎北陽台、長崎西、長崎北、佐世保南、小村、杵崎、海星、口加、清峰、対馬、島原翔南、長崎南山、純心女子、長崎日本大学、精道三川台

■ **熊本**
熊本、熊本西、人吉、東稜、第二、鹿本、玉名、大津、八代、真和、清々巖、第一、熊本農業、熊本本島北、宇土、水川、水保、熊本信愛女学院、熊本大学付属

■ **大分**
日田、大分西、佐伯鶴城、大分雄城台、中津南、大分舞鶴、大分豊府、別府鶴見丘、国東、高田、大分鶴崎、中津北、宇佐、大分、梓葉、竹田、安心院、大分明豊、別府青山、大分上野丘、大分商業、臼杵、森、大分南、爽風館、藤蔭

■ **宮崎**
延岡、高鍋、延岡星雲、日向、宮崎北宮、宮崎南、宮崎西、都城泉ヶ丘、小林、宮崎北、宮崎第一、妻、都城西、佐土土、五ヶ瀬、翔翔、宮崎商業、日向学院、高千穂、延岡商業、富島、日南、日南振徳、宮崎学園、宮崎日本大学、延岡学園、都城東、日南学園、聖心カトリック学園

■ **鹿児島**
武岡台、鹿児島中央、中央、鹿児島玉龍、ラサール、甲南、川辺、加治木、鹿屋、松浦、池田学園池田、川内、志布志、鳳凰、尚志館、鶴丸、錦江湾、指宿、加世田、伊集院、出水、園分、古仁屋、種子島、鹿児島実業、樟南、鹿児島、鹿児島情報、村学学園高等部、出水中央、鹿児島第一

■ **沖縄**
向陽、那覇、首里、球陽、普天間、読谷、開邦、那覇国際、コザ、沖縄尚学、糸満、宜野座、名護、興南、知念、石川、北山、宮古、八重山、与勝、昭和薬科大学附属、ヒューマンキャンパス

入試 Q&A

Q 高知大学の推薦入試について教えてください。

高知大学など国立大学の推薦入試(以下、AO入試も同じ)は「公募制」です。私立大学に見られる「指定校制」とは全く異なるため、出願資格(評定〇以上など)を満たしていれば全国どの高校からも受験可能です。そのため、概して志望倍率は高めで、当日の試験の出来によって合否が決まると言っても過言ではありません。入試科目は面接や作文、あるいは教科試験や口頭試問が課される学部学科もありますので、事前に学生募集要項などで必ずお確かめください。

Q 高知大学の合格偏差値はどれくらいですか？

難しい質問ですね。というのも、偏差値などの入試難易度は大手予備校等が独自の方法で算出しているため、大学側に質問されても全く分からないのが正直なところ。高校の先生に聞いたり、受験情報誌で調べてみてください。

Q 高知大学(国立大学)と私立大学の違いを教えてください。

国立大学は学費等の条件がどこもほぼ同じなので、「高知大学と私立大学」ではなく、「国立大学と私立大学」との違い、でお答えします。国立大学は、私立大学と比べて①学費(授業料等)が安いこと、②教員一人あたりの学生数が少ないという特徴があります。

①学費(授業料など)は年間535,800円で、一般に私立大学文系学部の約半分、同系系学部の3分の1程度とされています。国立大学の学費は、学部学科に関係なく同じ額なので医学部ではもっと違いが出ることもあります。

②大学の授業は1~2年次では大人数の教室などで一斉に受講しますが、高学年になると研究室(ゼミナール)に配属され、専門性を身につけます。国立大学の多くで、いち研究室あたりの指導学生数は5人前後と言われています。教員一人あたりの学生数が少ない=教員と学生の距離が近く、一人ひとりの学生に対してきめ細かく指導できると言えるでしょう。

インターネット出願サイトについて

平成30年度からインターネットを利用する出願のみの受付となります。

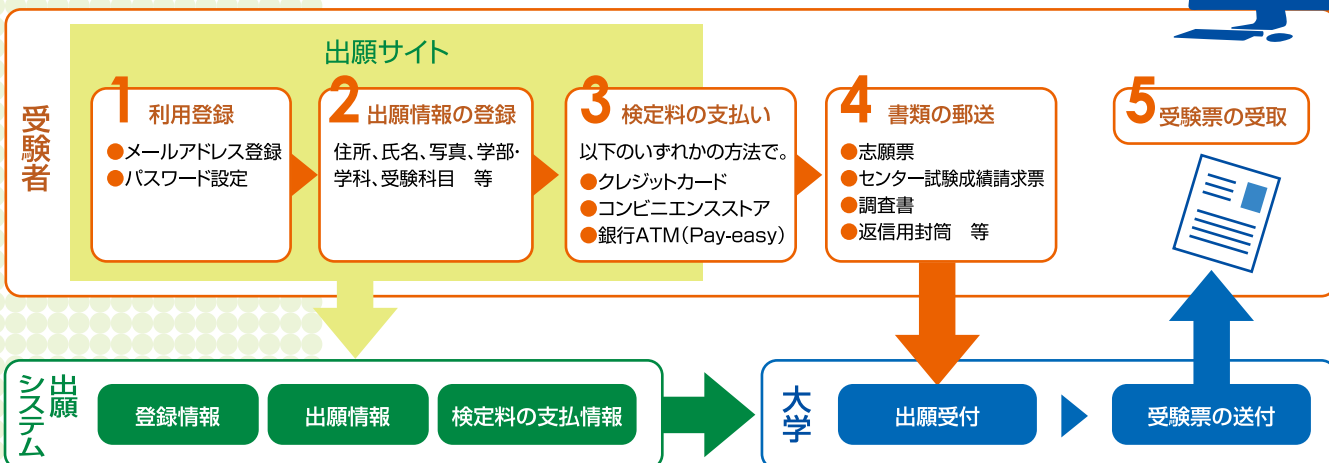
※私費外国人留学生、社会人入試、編入学を除く

四国の5国立大学(高知大学、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学)共通の出願サイトです。

- 紙の願書は取り寄せ不要
- 記入漏れ防止のチェック機能つき
- 24時間、出願データの送信が可能
- 検定料はクレジットカードやコンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easy)での支払いが可能
- 検定料の支払手数料が無料
- 本人写真のプリントが不要
- 願書の受付状況がインターネットで確認できる

進学支援サイト「今ログ」開設!

高校生活や学校外の活動記録を「今ログ」に記録できます。記録データは、進路に関するアイデアの整理や大学出願時の検討など、様々な活用ができます。大学側は閲覧やデータ利用ができない仕組みとなっていますので、安心してご活用ください。



オープンキャンパス

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。
高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参加して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。



	8月5日(土)	8月6日(日)	
		午前	午後
朝倉 キャンパス	10:00~15:00 人文社会科学部 理工学部 地域協働学部 土佐さきがけプログラム (生命・環境人材育成コースを除く)	朝倉 キャンパス	10:00~15:00 教育学部、地域協働学部
		岡豊 キャンパス	10:00~12:30 医学部看護学科 13:00~16:30 医学部医学科
		物部 キャンパス	10:00~15:00 農林海洋科学部 土佐さきがけプログラム(生命・環境)



プログラム

各学科/コース紹介、入試相談、模擬授業、ミニゼミ、キャンパスツアー
在学生の体験談/質問コーナーなど

※プログラムによっては事前予約が必要な場合があります。
申込み方法等については大学HPをご覧ください。

[お問い合わせ先] 入試課入試広報室

☎ **088-844-8766** FAX 088-844-8147

高知大学入試情報サイト <http://nyusi.kochi-u.jp/>

大学案内・学生募集要項等の請求方法

高知大学ホームページをご覧ください。

<http://www.kochi-u.ac.jp/>

または

▶ 入試情報

▶ 学生募集要項等の
請求方法

一般入試、AO入試、推薦入試の各募集要項は、インターネット出願への移行に伴い、Web閲覧のみとなります。

お問い合わせ先

- 入試情報サイト。入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています!

<http://nyusi.kochi-u.jp/>

- モバイル端末からのアクセスはこちらから。
メールマガジンも配信中!

<http://daigakujc.jp/kochi-u/>



メールマガジン

大学の入試情報や
キャンパスライフについて
配信中!

キャンパスライフ

に関するお問い合わせ先

学務部学生支援課

TEL 088-844-8149

E-mail gs03@kochi-u.ac.jp

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

入学者選抜

に関するお問い合わせ先

学務部入試課

TEL 088-844-8153

E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

LINE LINEで情報配信中!
[@kochi-univ.adm](https://line.me/tv/@kochi-univ.adm)

高知大学アドミッションセンターのLINE@アカウントができました。オープンキャンパス情報や、入試情報などを配信していくので、ぜひ「友だち」登録してご活用ください。

【登録方法】

LINEアプリから右のQRコードを読み取るか、「友だちをIDで検索」より「@kochi-univ.adm」を検索してください。



スマートフォン用アプリ

「高知大学AR」ができました!

1. 大学案内の中から、マーカースを探そう

スマホで読み込もう このマークが添えられている「マーカース」を探してください。

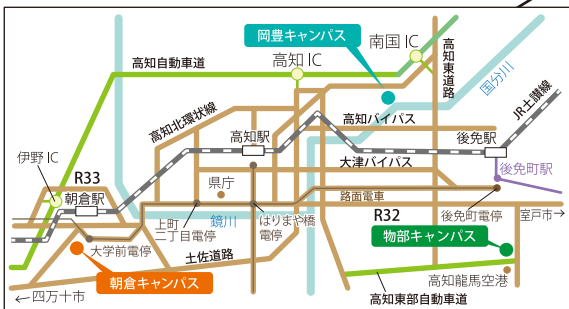


2. ARカメラを起動して、
マーカースにかざしてみよう

先輩からのメッセージや大学構内、周辺の様子が動画でご覧になれます。またこのアプリは、ARカメラ以外にもラジオや広報誌等の情報にもアクセスできます。ダウンロードは無料ですので、ぜひご利用ください!!

アプリストアで「高知大学」と検索!





【キャンパス間の所要時間】



■ **朝倉キャンパス**: 人文社会科学部・教育学部・理工学部・地域協働学部・土佐さきがけプログラム 高知市曙町2-5-1

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約40分
空港連絡バスで約35分「はりまや橋」又は、約40分「JR高知駅」下車後、バス、路面電車又はJR土讃線へ乗換え
車で約20分又はバスで約25分
- 高知駅から 路面電車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

■ **岡豊キャンパス**: 医学部 南国市岡豊町小蓮

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約20分
- 高知駅から 車で約20分
バスで約30分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約10分

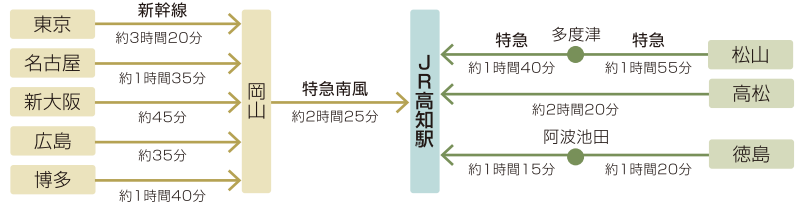
■ **物部キャンパス**: 農林海洋科学部・土佐さきがけプログラム生命・環境人材育成コース 南国市物部乙200

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

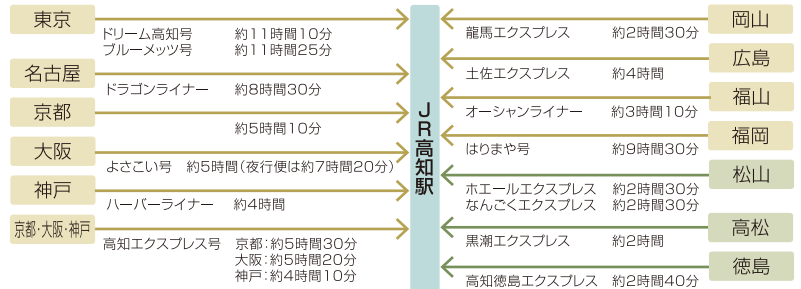
- 高知龍馬空港から 徒歩約15分
- 高知駅から 車で約30分
空港連絡バスで約35分、「高知龍馬空港」下車、徒歩約15分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分
- 後免駅から 車で約15分

高知県までの交通アクセス

▶ **JR** ※乗換時間は含みません



▶ 高速バス



▶ 車



▶ 飛行機



高知大学案内

発行日 2017年6月 / 発行 高知大学総務課
〒780-8520 高知市曙町2-5-1 TEL 088-844-8643 E-mail kh13@kochi-u.ac.jp